



BMW Motorrad



駆けぬける歓び

Rider's Manual R 1200 R

モーターサイクル / ディーラーのデータ

モーターサイクルデータ

モデル

車両識別番号シャリ ヨウシキベツバンゴウ

カラー

初度登録

ライセンスプレート

ディーラーデータ

アフターサービス担当者

氏名

TEL

ディーラー所在地 / 電話 (スタンプ)

BMW の世界へようこそ

BMW Motorrad をご購入いただき、ありがとうございました。世界中で多くの熱狂的なファンを持つBMW Motorrad のライダーの一員となられたことを、心から歓迎いたします。あらゆる交通状況のなかで、安全にライディングを楽しんでいただくためには、購入された車両をよく理解し、親しんでいただくことが大切です。

本書について

新しいBMW モーターサイクルを使用される前に、まず本書をお読みください。本書には、BMW モーターサイクルを操作し、あらゆる機能を十分に活かすための情報が掲載されています。また、ライダーの安全やモーターサイクルの信頼性を確保し、愛車の価値を末永く維持するための整備と手入れに関する情報が掲載されています。

お問い合わせ

モーターサイクルについて疑問に思われることが生じたり、アドバイスが必要になられた場合には、BMW Motorrad ディーラーのスタッフにお気軽にお問い合わせください。

BMW と共に、安全で快適なライディングをお楽しみください。

BMW Motorrad

01 49 8 563 418



目次

1 一般的な情報	5
全体図	6
記号と意味	6
装備	7
テクニカルデータ	7
本書の記述について	7
2 全体図	9
左側面	11
右側面	13
シート下	14
左コンビネーションス イッチ	15
右コンビネーションス イッチ	17
メーターパネル	18
3 表示	19
警告灯 / インジケーター	20
マルチファンクションディ スプレイ (Full 表示)	22
マルチファンクションディ スプレイ (Sport 表示)	24

マルチファンクションディス プレイ (Touring 表示)	25
警告表示	26
サービス表示	41
フューエルリザーブ容量	42
オイルレベル注意	42
外気温度	43
タイヤ充填圧	43
シフトアップ推奨	44
回転域レッドゾーン	44
4 取扱方法	47
イグニッション	48
Keyless Ride によるイグ ニッション	50
イグニッションキルス イッチ	55
ライト	55
ハザードランプ	57
ウインカー	58
マルチファンクションディ スプレイ	58
盗難警報装置	65

アンチロックブレーキシス テム	68
オートマチックスタビリ ティコントロール	69
電子調整式サスペンション (ESA)	70
走行モード	72
クルーズコントロール	74
グリップヒーター	76
5 調整	79
ミラー	80
ヘッドライト	80
クラッチ	81
ブレーキ	82
フロントおよびリヤシ ート	82
スプリングプリロード	83
ショックアブソーバー	84
6 走行	87
安全に関する注意事項	88
チェックリストを確認し、 遵守する	90
始動	91

慣らし走行	93	リヤホイールスタンド	118	長期保管	172
ギヤチェンジ	94	エンジンオイル	119	保護コーティング	172
ブレーキ	95	ブレーキシステム	120	再使用	173
駐車する	96	クラッチ	125	11 テクニカルデータ	175
給油	97	クーラント	125	トラブルシュー	
モーターサイクルを搬送用		リムとタイヤ	126	ティング	176
に固定します	101	ホイール	127	ネジ止め部	177
7 技術情報	103	マフラー	134	エンジン	179
一般的な情報	104	バルブ	135	燃料	180
アンチロックブレーキシス		始動補助	146	エンジンオイル	181
テム	104	バッテリー	148	クラッチ	181
オートマチックスタビリ		ヒューズ	152	ギヤボックス	182
ティコントロール	106	9 アクセサリー	155	リヤホイールドライブ	183
ダイナミックトラクション		一般的な情報	156	サスペンション	183
コントロール	108	電源ソケット	156	ブレーキ	184
Dynamic ESA	109	ケース	157	ホイールとタイヤ	184
走行モード	110	トップケース	159	電装システム	186
タイヤ空気圧コントロ		ナビゲーションシス		フレーム	188
ール	111	テム	162	盗難警報装置	188
シフトアシストPro	112	10 お手入れ	169	寸法	189
8 メインテナンス	115	ケア用品	170	重量	190
一般的な情報	116	洗車	170	性能	190
ツールキット	116	損傷しやすい車両部品の			
フロントホイールス		お手入れ	171		
タンド	116	塗装のお手入れ	172		

12 サービス 191

リサイクリング 192

BMW Motorrad サービス 193

BMW Motorrad モバイル
サービス 194

メインテナンス作業 194

メインテナンススケジュー
ール 197

BMW サービス基準 198

点検記録 199

一般整備記録 204

13 付録 207

電子式エンジン始動ロック
システム用認証 208

キーレスエントリー用
認証 210

タイヤ圧コントロール用
認証 212

14 索引 213

一般的な情報

全体図	6
記号と意味	6
装備	7
テクニカルデータ	7
本書の記述について	7

全体図

本書は、使いやすさを重視して作成されています。特殊な項目についてお探しの際には、索引もご利用ください。まず、このモーターサイクルについての概要から知りたい場合は、第2章をご覧ください。第12章には、実施されたメンテナンスおよび修理作業がすべて記録されます。

保証期間が満了した後で修理や点検を依頼される場合に、それまで定期的に整備されていたことが必要条件になります。

Rider's Manual は、モーターサイクルにとって重要な構成部品のひとつです。将来、もしご使用の BMW モーターサイクルを売却される場合には、本書も一緒にお渡しくださいますようお願いいたします。

記号と意味



注意 低リスクレベルの危険。回避を怠ると軽度・中度の怪我につながるおそれがあります。



警告 中リスクレベルの危険。回避を怠ると重症、あるいは死亡事故につながるおそれがあります。



危険 高リスクレベルの危険。回避を怠ると重症、あるいは死亡事故につながります。



重要事項 特別な警戒・注意を喚起。回避を怠ると車両や装備品の損傷を招き、保証の対象外になる可能性があります。



注意事項 モーターサイクルの制御、点検、調整などの手順に関する個々の情報と、お手入れについての一般的な情報を示します。



注意事項の末尾を示します。



作業内容の指示を示します。



作業の結果を示します。



説明のある参照ページを示します。



アクセサリや装備に関する情報の末尾を示します。



締付けトルク。



仕様（諸元）。



アンチロックブレーキシステム。

ASC	オートマチックスタ ビリティコントロール (ASC)。
DTC	ダイナミックトラクショ ンコントロール (オプ ション装備は走行モード Pro との組み合わせでの み)。
DWA	盗難警報装置。
ESA	Electronic Suspension Adjustment (電子調整 式サスペンション)。
EWS	電子式イモビライザ ー。
RDC	タイヤ空気圧コントロー ル。

OE	オプション装備。 BMW Motorrad オプ ション装備は、モーター サイクルの製造時に工場 で装着されます。
OA	アクセサリ。 BMW Motorrad アクセ サリーのご購入およ び取り付けにつきましては、BMW Motorrad ディーラーにて承りま す。

装備

お客様のBMW Motorrad のご購入に際しましては、それぞれ
お選びいただいたご希望の装備
が装着されたモデルとなってい
ます。本書では、BMW がご用
意しているオプション (OE)
および選択されたアクセサリ
(OA) について説明されていま
す。そのため、あなたのモー
ターサイクルには装着されてい
ない装備についての説明が含ま

れている場合がございますこと
をご了承ください。同様に、国
別の仕様により、図示されてい
るモーターサイクルと異なる場
合があります。

お客様のモーターサイクルに、
本書に説明されていない装備が
含まれている場合は、独立した
マニュアルの中に説明が記載
されています。

テクニカルデータ

本書に掲載されている寸法、重
量、性能に関する情報はすべて、
DIN (ドイツ工業規格) およびそ
の許容差規定に基づいて表記さ
れています。国によって仕様が
異なる場合があります。

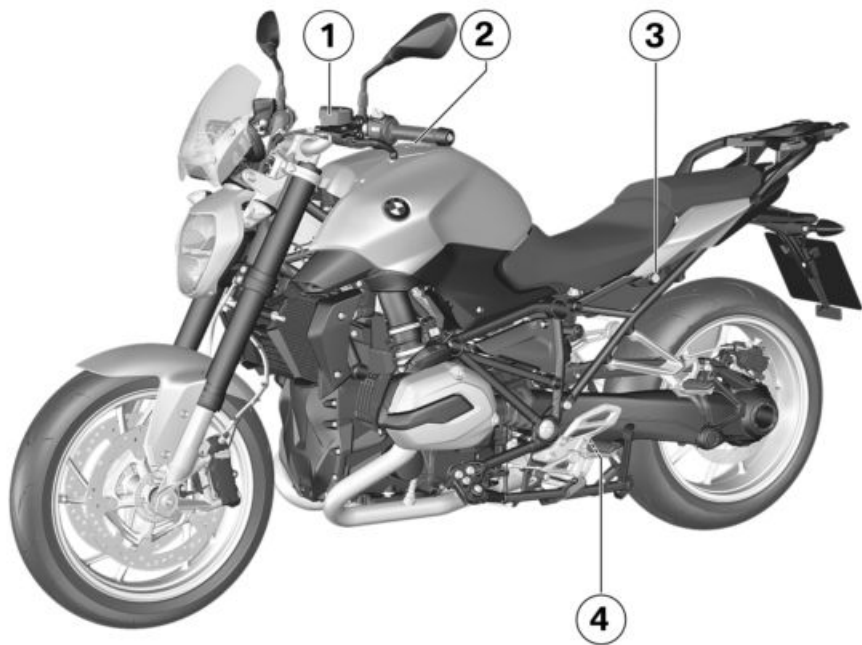
本書の記述について

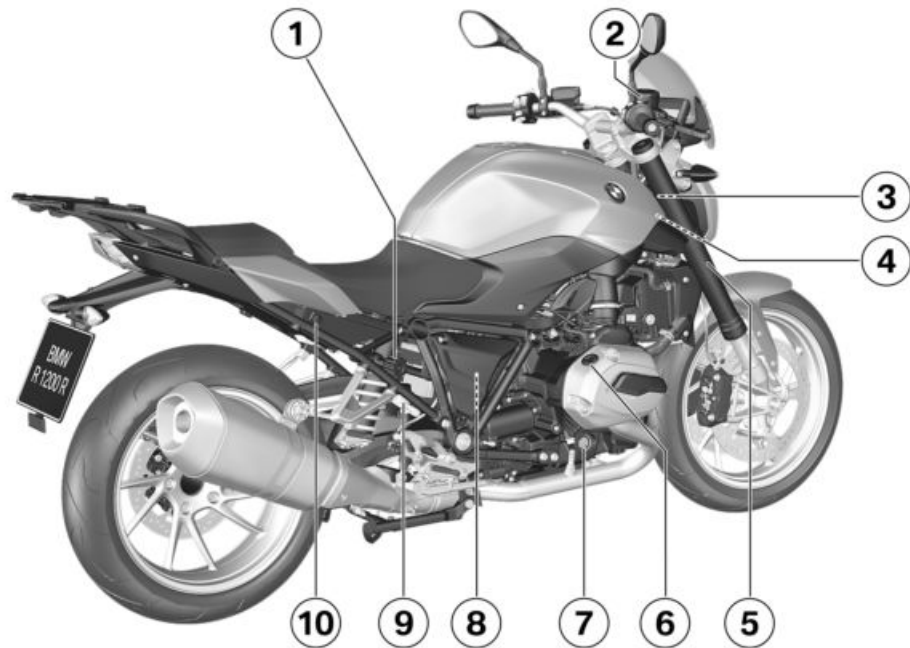
BMW Motorrad の高い安全性お
よび品質は、デザイン、装備、
アクセサリに関する絶え間な
い開発によって支えられてい
ます。そのため、本書の記述

が実際のモーターサイクルとは異なる場合があります。また、BMW Motorrad はそのような誤りを完全に排除することはできません。したがって、記載内容や図、説明について責任を負いかねる場合がありますことをご理解くださいますようお願い申し上げます。

全体図

左側面	11
右側面	13
シート下	14
左コンビネーションスイッチ	15
右コンビネーションスイッチ	17
メーターパネル	18



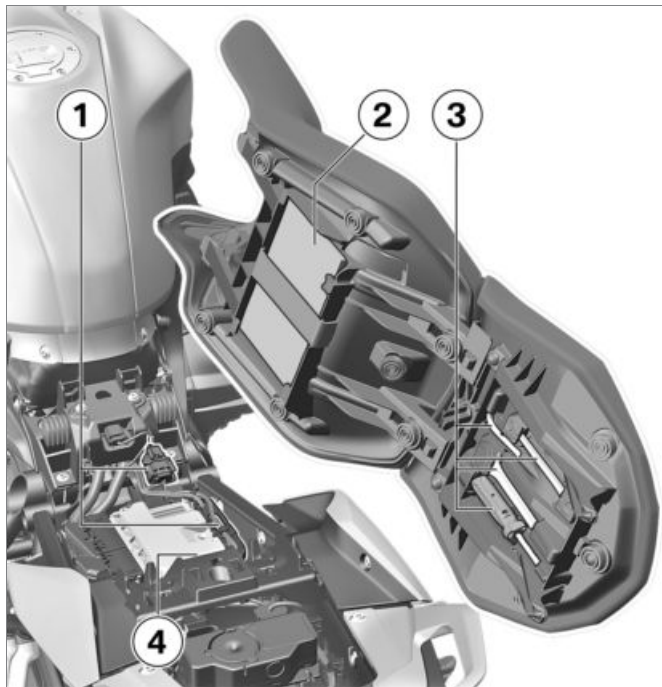


右側面

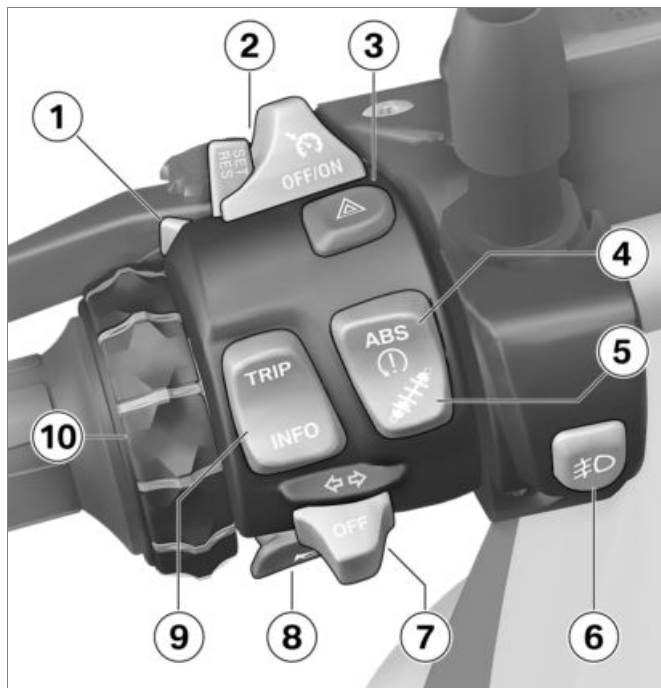
- 1 - Dynamic ESA^{OE}非装備
リヤスプリングプリロード
の調整 (■▶ 83)
- 2 フロントブレーキフルード
リザーバータンク (■▶ 123)
- 3 車両識別番号 (ステアリン
グヘッド右)
型式プレート (ステアリン
グヘッド左)
- 4 クーラントレベル表
示 (■▶ 125)
クーラントタンク (■▶ 125)
- 5 タイヤ充填圧表
- 6 オイル注入口 (■▶ 120)
- 7 エンジンオイルレベル表
示 (■▶ 119)
- 8 バッテリー (サイドフェア
リングの後ろ) (■▶ 148)
バッテリーサポートポイン
ト (サイドフェアリングの
後ろ) (■▶ 146)
- 9 リヤブレーキフルードリ
ザーバータンク (■▶ 124)
- 10 電源ソケット (■▶ 156)

シート下

- 1 ヒューズ (➡ 152)
- 2 Rider's Manual
- 3 標準スペシャルツールキット (➡ 116)
- 4 積載荷重一覧



左コンビネーションスイッチ



- 1 ハイビームヘッドライトと
パッシングライト (➡ 56)
- 2 - クルーズコン
ロール^{OE}装備
クルーズコン
ロール (➡ 74)
- 3 ハザードランプ (➡ 57)
- 4 ABS (➡ 68)
ASC (➡ 69)
- ダイナミックトラ
クションコン
ロール
(DTC)^{OE}装備
DTC (➡ 69)
- 5 - Dynamic ESA^{OE}装備
ESA (➡ 70)
- 6 - LED 補助ヘッ
ドライト^{OA} 装備
LED 補助ヘッ
ドライト (➡ 56)
- 7 ウィンカー (➡ 58)
- 8 ホーン

- 9** マルチファンクションディスプレイ (▶▶▶ 59)
- 10** -ナビゲーションシステム用取付けキット^{OE}装備 Multi-Controller (▶▶▶ 164)

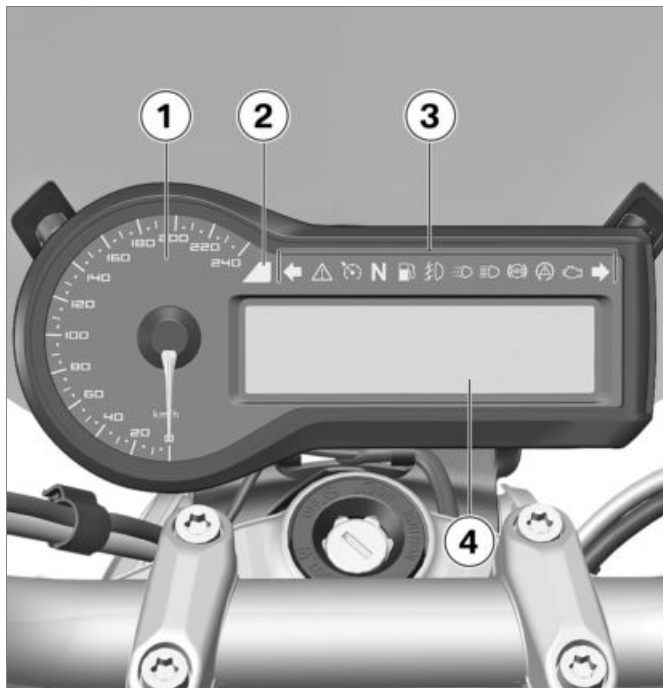


右コンビネーションスイッチ

- 1 ーグリップヒーターOE
装備
グリップヒーター (▶▶▶ 77)
- 2 走行モード (▶▶▶ 72)
- 3 イグニッションキルスイッチ (▶▶▶ 55)
- 4 エンジンを始動する (▶▶▶ 91)

メーターパネル

- 1 スピードメーター
- 2 マルチファンクションディスプレイの明るさの調整
- 盗難警報装置 (DWA)^{OE} 装備
DWA 警告灯
- Keyless Ride^{OE} 装備
無線キー用インジケータ
警告灯 / インジケータ
- (▶▶ 20)
- 3 マルチファンクションディスプレイ
3 種類のディスプレイ表示
間で切り替えることができます:
Full 表示 (▶▶ 22)
Sport 表示 (▶▶ 24)
Touring 表示 (▶▶ 25)

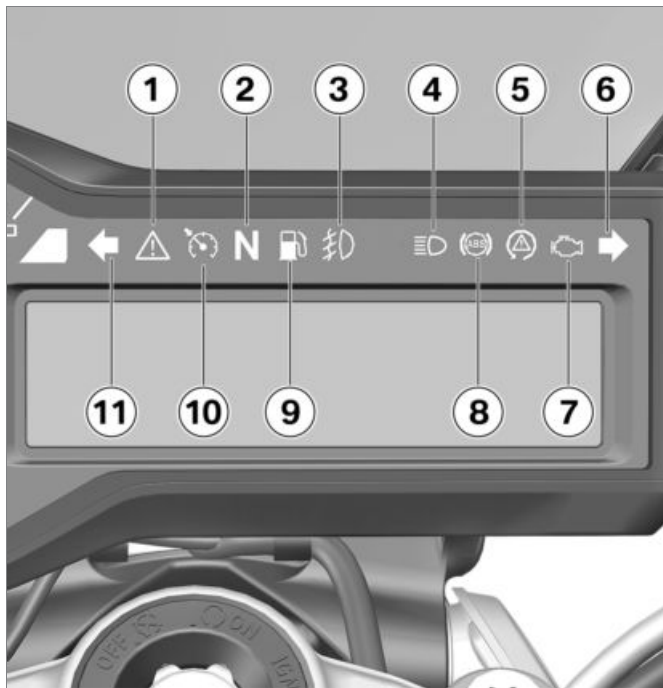


表示

警告灯 / インジケーター	20
マルチファンクションディスプレイ (Full 表示)	22
マルチファンクションディスプレイ (Sport 表示)	24
マルチファンクションディスプレイ (Touring 表示)	25
警告表示	26
サービス表示	41
フューエルリザーブ容量	42
オイルレベル注意	42
外気温度	43
タイヤ充填圧	43
シフトアップ推奨	44
回転域レッドゾーン	44

警告灯 / インジケーター

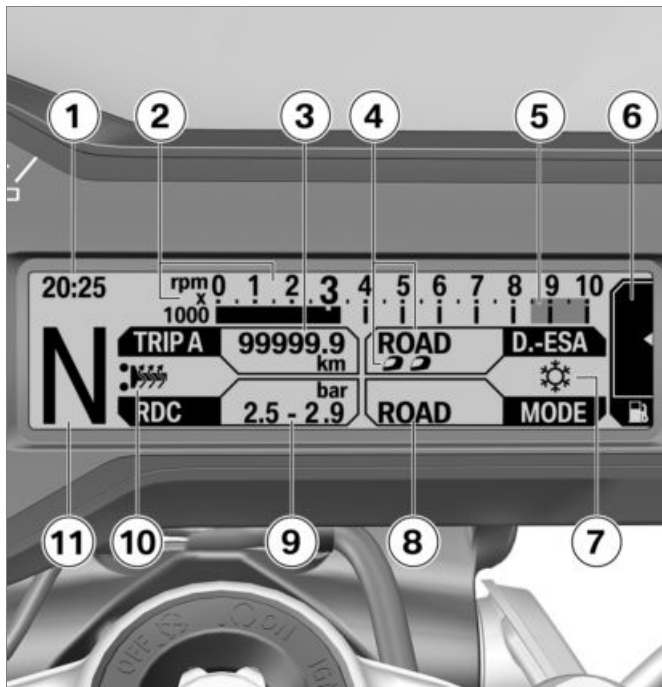
- 1 ジェネラル警告灯 (ディスプレイ内の警告マークとの組み合わせによる) (▶▶▶ 26)
- 2 ニュートラル位置 (アイドルリング)
- 3 -LED 補助ヘッドライト OA 装備
補助ヘッドライト (▶▶▶ 56)
- 4 ハイビームヘッドライト (▶▶▶ 56)
- 5 ASC 警告灯 (▶▶▶ 69)
-ダイナミックトラクションコントロール
(DTC)^{OE}装備
DTC 警告灯 (▶▶▶ 69)
- 6 右側ウインカー
- 7 エンジン電装用警告灯 (▶▶▶ 33)
- 8 ABS 警告灯 (▶▶▶ 68)
- 9 フューエルリザーブ容量 (▶▶▶ 42)



- 10 クルーズコントロール^{OE}装備
クルーズコントロール (74)
- 11 左側ウインカー

マルチファンクションディスプレイ (Full 表示)

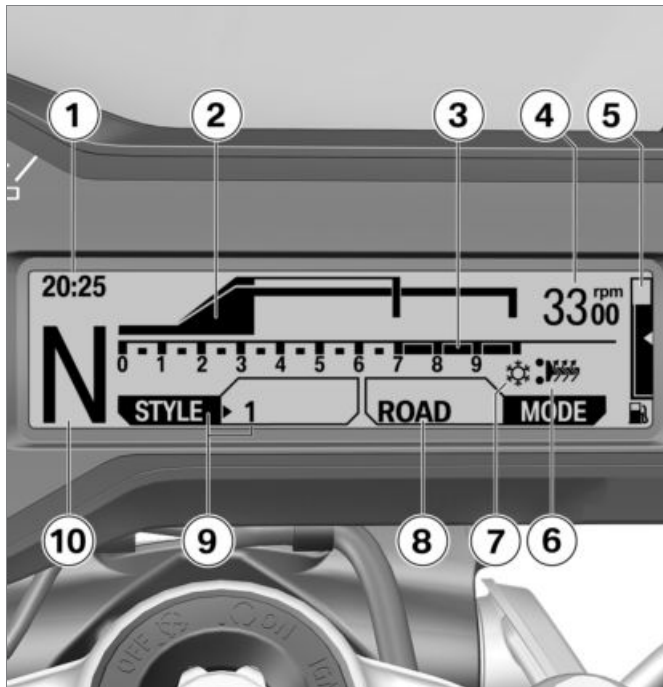
- 1 時計 (▶▶▶ 62)
- 2 エンジン回転数表示
- 3 トリップメーター距離
オンボードコンピューター
表示 (▶▶▶ 59)
- 4 - Dynamic ESA^{OE}装備
ESA 調整 (▶▶▶ 70)
- 5 回転域レッド
ゾーン (▶▶▶ 44)
- 6 フューエルレベル
- 7 路面凍結警告 (▶▶▶ 43)
- 8 走行モード (▶▶▶ 72)
- 9 タイヤ空気圧コントロール
オンボードコンピューター
表示 (▶▶▶ 59)
- 10 - グリップヒーター^{OE}
装備
グリップヒーターレベル
(▶▶▶ 77)



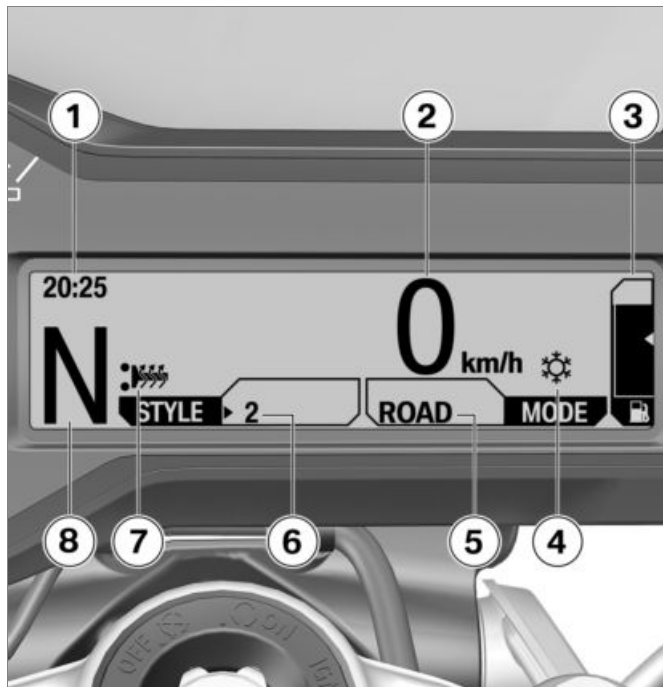
- 11** ギヤインジケーター、
ニュートラル位置で「N」
(アイドリング) が表示さ
れる

マルチファンクションディスプレイ (Sport 表示)

- 1 時計 (▶▶▶ 62)
- 2 エンジン回転数バー表示
- 3 回転域レッドゾーン (▶▶▶ 44)
- 4 エンジン回転数
- 5 フューエルレベル
- 6 ーグリップヒーターOE
装備
グリップヒーターレベル (▶▶▶ 77)
- 7 路面凍結警告 (▶▶▶ 43)
- 8 走行モード (▶▶▶ 72)
- 9 オンボードコンピューター
表示 (▶▶▶ 59)
- 10 ギヤインジケーター、
ニュートラル位置で「N」
(アイドリング) が表示される



マルチファンクションディスプレイ (Touring 表示)



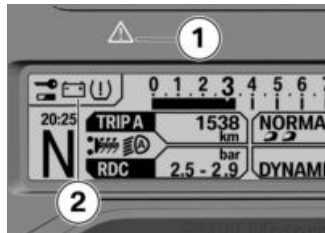
- 1 時計 (▶▶▶ 62)
- 2 スピードメーター
- 3 フューエルレベル
- 4 路面凍結警告 (▶▶▶ 43)
- 5 走行モード (▶▶▶ 72)
- 6 オンボードコンピューター表示 (▶▶▶ 59)
- 7 グリップヒーターOE
装備
グリップヒーターレベル (▶▶▶ 77)
- 8 ギャインジケーター、
ニュートラル位置で「N」
(アイドリング) が表示される

警告表示

表示

警告は対応する警告灯により表示されます。

複数の警告がある場合には、最も優先順位の高い 3 個の警告が表示されます。以降のページに警告表示の一覧があります。



専用の警告灯のない警告は、ジェネラル警告灯 **1** と 3 個以内の警告マークと共に、ポジション **2** に右から左へ表示されます。これらは優先順位に従った配置で表示されます。最も優先順位が高いのは右側です。警告の緊急性に応じて、ジェネラル警告灯が赤または黄に点灯します。

警告表示一覧

警告灯 / インジケーター

ディスプレイの警告記号

意味

			が表示される	路面凍結警告 (■▶▶ 31)
	点灯する (黄)		が表示される	EWS ON (■▶▶ 31)
	点灯する (黄)		が表示される	無線キーが受信範囲外 (■▶▶ 31)
	点灯する (黄)		が表示される	無線キーのバッテリーを交換する (■▶▶ 32)
	点滅する (赤)		が表示される	クーラント温度が高すぎる (■▶▶ 32)
			が表示される	エンジンがまだ作動温度に達していない (■▶▶ 32)
	点灯する (黄)		が表示される	エンジンがエマージェンシーモードになっている (■▶▶ 33)
	点滅する (黄)		が表示される	エンジンコントロールの重度の不具合 (■▶▶ 33)

意味

	が表示される	エンジンオイルレベルが低すぎる (➡ 34)
	点滅する (赤)	
	が表示される	タイヤ充填圧が許容範囲外にある (➡ 34)
	点灯する (黄)	
	が表示される	センサーの故障またはシステムエラー (➡ 34)
	「--」または「-- --」が表示されます。	
	「--」または「-- --」が表示されます。	伝送障害 (➡ 35)
	点灯する (黄)	
	が表示される	タイヤ充填圧センサーのバッテリーが弱い (➡ 35)
	点灯する (黄)	
	が表示される	ライトの故障 (➡ 36)
	点灯する (黄)	
	が表示される	フロントライトの故障 (➡ 36)
	点灯する (黄)	
	が表示される	リヤライトの故障 (➡ 37)

警告灯 / インジケーター	ディスプレイの警告記号	意味
	 が表示される	回路電圧が低い (▶▶▶ 37)
 点灯する (黄)	 が表示される	車両電装システム電圧が限界値 (▶▶▶ 37)
 点灯する (赤)	 が表示される	バッテリー充電電圧が不十分 (▶▶▶ 38)
	 が表示される	DWA バッテリーが弱い (▶▶▶ 38)
 点灯する (黄)	 が表示される	DWA バッテリーが空になっている (▶▶▶ 38)
 短時間点灯する (黄)	 が表示される	サービス期限が切れている (▶▶▶ 39)
 点滅する		ABS 自己診断が終了していない (▶▶▶ 39)
 点灯する		ABS 故障 (▶▶▶ 39)
 点灯する		ABS が OFF になっている (▶▶▶ 39)

路面凍結警告



が表示されます。

考えられる原因:



モーターサイクル付近
で測定された外気温度 <

約 3 °C



警告

3 °C を超えており、路面凍結警告がない場合でも、路面が凍結している危険。

凍結した路面による事故を起す危険。

- 外気温度が低い場合、橋の上や陰になった暗い路面は凍結しているおそれがあることを考慮してください。◀
- よく注意して走行してください。

EWS ON



点灯します (黄)。



が表示されます。

考えられる原因:

使用されたキーに始動する権限がないか、キーとエンジンマネジメントシステム間の交信が妨げられています。

- イグニッションキー付近にある他のキーを外します。
- スペアキーを使用します。
- 故障したキーは、BMW Motorrad ディーラーで交換してください。

無線キーが受信範囲外

– Keyless Ride^{OE}装備



点灯します (黄)。



が表示されます。

考えられる原因:

無線キーとエンジンエレクトロニクス間の通信に障害が発生しています。

- 無線キーのバッテリーを点検します。
- 無線キーのバッテリーを交換する(▶ 54)。
- それ以上走行する場合には、スペアキーを使用します。
- 無線キーの紛失(▶ 53)。
- 走行中に警告マークが表示された場合も、落ち着いてください。走行は続行できます。エンジンは停止しません。
- 故障した無線キーはBMW Motorrad ディーラーで交換してください。

無線キーのバッテリーを交換する

－ Keyless Ride^{OE}装備



点灯します（黄）。



が表示されます。

考えられる原因:

- 無線キーのバッテリーがフル充電になりません。無線キーの機能が保証されるのは、限られた時間内のみです。
- 無線キーのバッテリーを交換する(➡ 54)。

クーラント温度が高すぎる



点滅します（赤）。



が表示されます。



重要事項

オーバーヒートしているエンジンでの走行。

エンジンの損傷

- 必ず下記の処置を順守してください。◀

考えられる原因:

クーラントレベルが低すぎます。

- クーラントレベルを点検する(➡ 125)。

クーラントレベルが低すぎる場合:

- BMW Motorrad ディーラーにクーラントの補給とクーラントシステムの点検を依頼してください。

考えられる原因:

クーラント温度が高すぎます。

- 可能であれば、エンジンを冷ますためにパーシャルロード域で走行してください。

- クーラント温度が頻繁に高くなりすぎる場合には、できるかぎり早く BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

エンジンがまだ作動温度に達していない



Touring 表示にのみ表示されます。

考えられる原因:

エンジンが作動温度に達していません。

エンジン温度が低すぎる場合:

- エンジンを停車状態で暖機させるのではなく、適切なエンジン回転数および速度で発進させます。
- 冷間エンジンは、適切なエンジン回転数および速度の場合に、最速で作動温度に達します。



作動温度に到達後、約 10 秒間、エンジンのマークが OK と共に表示されます。

» エンジンのマークが再びフェードアウトします。

エンジンがエマージェンシーモードになっている



点灯します (黄)。



が表示されます。



警告

エンジンのエマージェンシーモード時の通常と異なる走行特性。

事故の危険

- 走行スタイルを調整してください。
- 急激な加速や追い越しは避けてください。◀

考えられる原因:

エンジンコントロールユニットに故障が発生しています。最悪の場合、エンジンが停止し、その後始動できなくなります。その他の場合には、エンジンはエ

マージェンシーモードで作動します。

- 走行を続けることは可能ですが、通常どおりのエンジン性能は発揮できない可能性があります。
- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

エンジンコントロールの重度の不具合



点滅します (黄)。



が表示されます。



警告

エマージェンシーモード時のエンジンの損傷。

事故の危険

- 走行スタイルを状況に合わせてす：低速で走行し、急激な加

速や追い越しは避けてください。

- できれば車両を引き取りにきてもらい、専門の整備工場またはBMW Motorrad ディーラーに修理を依頼してください。◀

考えられる原因:

エンジンマネジメントシステムが重度の不具合につながるおそれが不具合を検出しました。エンジンはエマージェンシーモードにあります。

- 走行を続けることは可能ですが、推奨されません。
- 高負荷高回転数域での走行は、できるかぎり避けてください。
- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

エンジンオイルレベルが低すぎる



が表示されます。

考えられる原因:

電子式オイルレベルセンサーがエンジンオイルレベルが低すぎることを検知しました。次の燃料補給時に:

- エンジンオイルレベルを点検する(➡ 119)。

オイルレベルが低すぎる場合:

- エンジンオイルを補充する(➡ 120)。

オイルレベルが正常な場合:

- BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

タイヤ充填圧が許容範囲外にある

ー タイヤ圧コントロール (RDC)
OE 装備



点滅します (赤)。



が表示されます。



警告

タイヤ充填圧が許容範囲外にある。

車両の走行特性の低下。

- 走行スタイルを適宜調整してください。◀

考えられる原因:

測定されたタイヤ充填圧が許容範囲外にあります。

- タイヤが損傷してないか、走行に適した状態か点検します。
- タイヤがまだ使用可能な状態の場合:
- できるだけ早く、タイヤ充填圧を修正します。



注記

タイヤ充填圧を調整する前に、「技術情報」の章にある温度補

正および充填圧の調整に関する情報を参照してください。◀

- BMW Motorrad ディーラーに、タイヤが損傷していないか、点検を依頼してください。

タイヤの走行性に関して安全が確認できない場合:

- 走行を続けしないでください。
- エマージェンシーサービスに知らせます。

センサーの故障またはシステムエラー

ー タイヤ圧コントロール (RDC)
OE 装備



点灯します (黄)。



が表示されます。

「--」または「-- --」が表示されます。

考えられる原因:

RDC センサー非装備のホイールが装着されています。

- RDC センサー付きホイールセットを後付けします。

考えられる原因:

1 つまたは 2 つの RDC センサーが故障しているか、またはシステムエラーが発生しています。

- BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

伝送障害

ー タイヤ圧コントロール (RDC) OE 装備

「--」または「-- --」が表示されます。

考えられる原因:

車両が最小速度に達していませんでした (▶ 111)。



RDC センサーは OFF

min 30 km/h (最低速度を超過した後初めて、RDC センサーは信号を車両に発信します。)

- RDC 表示を、高速走行時に点検します。さらにジェネラル警告灯が点灯する場合には、継続している不具合があることを示します。このような場合には、
- BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

考えられる原因:

RDC センサーへの無線接続に障害が発生しています。原因としては、周辺に無線機器 / システム類があり、これらが RDC コントロールユニットとセンサー間の接続を妨害している、ということが考えられます。

- RDC 表示を、別の環境 / 状況で点検します。さらにジェネラル警告灯が点灯する場合には、継続している不具合があることを示します。このような場合には、
- BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

タイヤ充填圧センサーのバッテリーが弱い

ー タイヤ圧コントロール (RDC) OE 装備



点灯します (黄)。



が表示されます。



注記

このエラーメッセージは、短時間、Pre-Ride-Check (走行前点検) の直後にのみ表示されます。◀

考えられる原因:

タイヤ充填圧センサーのバッテリーがフル充電されていません。タイヤ充填圧コントロール機能が保証されるのは、ごく限られた時間内のみです。

- BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

ライトの故障



点灯します (黄)。



が表示されます。



警告

車両の照明バルブの不具合により、車両が気付かれずに見過ごされる。

安全に関わる危険

- 故障したバルブはできるかぎり早急に交換します。できれば、常に適切な予備バルブを携帯してください。◀

考えられる原因:

複数のライトの故障が発生しています。

- ロービーム / ハイビーム用バルブを交換する(▶▶▶ 135)。
- ポジションライト / パーキングライト用バルブを交換する(▶▶▶ 139)。
- フロント / リヤのウインカー用バルブを交換する(▶▶▶ 143)。
- LED ウインカーを交換する(▶▶▶ 146)。
- LED テールライトを交換する(▶▶▶ 146)。

フロントライトの故障



点灯します (黄)。



が表示されます。



警告

車両の照明バルブの不具合により、車両が気付かれずに見過ごされる。

安全に関わる危険

- 故障したバルブはできるかぎり早急に交換します。できれば、常に適切な予備バルブを携帯してください。◀

考えられる原因:

ロービーム、ハイビーム、ポジションライト / パーキングライト、補助ヘッドライト、デイルイトまたはフロントウインカーの故障。

故障しているバルブを交換する必要があります。

- ロービーム / ハイビーム用バルブを交換する(▶▶▶ 135)。
- ポジションライト / パーキングライト用バルブを交換する(▶▶▶ 139)。
- フロント / リヤのウインカー用バルブを交換する(▶▶▶ 143)。

- LED ウインカーを交換する(146)。
- LED 補助ヘッドライトを交換する(146)。

リヤライトの故障



点灯します (黄)。



が表示されます。



警告

車両の照明バルブの不具合により、車両が気付かれずに見過される。

安全に関わる危険

- 故障したバルブはできるかぎり早急に交換します。できれば、常に適切な予備バルブを携帯してください。◀

考えられる原因:

テールライトまたはリヤウインカーの故障。

テールライトまたはリヤウインカーを交換する必要があります。

- LED テールライトを交換する(146)。
- フロント / リヤのウインカー用バルブを交換する(143)。
- LED ウインカーを交換する(146)。

回路電圧が低い



が表示されます。

すべての電力消費機器に電源供給し、バッテリーに充電するには、オルタネーター出力が足りません。

考えられる原因:

ON になっている電力消費機器が多すぎます。特に低回転域およびアイドリング状態で車両電装システム電圧が低下します。

- 低回転域での走行時には、走行安全性に関係のないすべての電力消費機器を OFF にします (グリップヒーターや補助ヘッドライトなど)。

車両電装システム電圧が限界値



点灯します (黄)。



が表示されます。

すべての電力消費機器に電源供給し、バッテリーに充電するには、オルタネーター出力が足りなくなっています。始動性および走行性を確保するため、車両電装が、電源ソケットおよび補助ヘッドライトを OFF にします。極端なケースでは、シートヒーターおよびグリップヒーターも OFF になります。

考えられる原因:

ON になっている電力消費機器が多すぎます。特に低回転域およびアイドル状態で車両電装システム電圧が低下します。

- 低回転域での走行時には、走行安全性に関係のないすべての電力消費機器を OFF にします (グリップヒーターや補助ヘッドライトなど)。

バッテリー充電電圧が不十分



点灯します (赤)。



が表示されます。



警告

バッテリーの放電による、ライト、エンジン、ABS などのさまざまな車両システムの故障。

事故の危険

- 走行を続けしないでください。◀

バッテリーが充電されていません。走行を続けると、車両の電子機器がバッテリーを放電します。

考えられる原因:

オルタネーターまたはオルタネータードライブが故障、またはオルタネーターレギュレーター (電圧調整器) 用ヒューズが溶断しています。

- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

DWA バッテリーが弱い

— 盗難警報装置 (DWA)^{OE} 装備



が表示されます。



注記

このエラーメッセージは、短時間、Pre-Ride-Check (走行前点

検) の直後にのみ表示されません。◀

考えられる原因:

DWA バッテリーがフル充電にならない。車両バッテリーを外している場合、DWA の機能が保証されるのは、ごく限られた時間内のみです。

- BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

DWA バッテリーが空になっている

— 盗難警報装置 (DWA)^{OE} 装備



点灯します (黄)。



が表示されます。



注記

このエラーメッセージは、短時間、Pre-Ride-Check (走行前点

検) の直後にのみ表示されます。◀

考えられる原因:

DWA バッテリーの容量がまったくなくなっている。バッテリーを外している場合、DWA の機能は保証されなくなります。

- BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

サービス期限が切れている



が表示されます。



Pre-Ride-Check (走行前点検) の後に短時間点灯します (黄)。

考えられる原因:

必要なサービスがまだ実施されていません。

- 専門の整備工場またはBMW Motorrad ディーラーに、できるかぎり早くサービスの実施を依頼してください。

ABS 自己診断が終了していない



点滅します。

考えられる原因:

ABS 自己診断が終了していません

ABS は、自己診断が終了しなかったため、使用できません。(ホイール回転数センサーを点検するには、モーターサイクルが最低速度に達する必要があります: 5 km/h)

- ゆっくりと発進します。自己診断が終了するまでABS 機能が使用できないことに注意してください。

ABS 故障



点灯します。

考えられる原因:

ABS コントロールユニットが故障を検知しました。ABS 機能は使用できません。

- 走行を続行することは可能です。ABS エラーメッセージにつながりかねない特別な状況に関するその他の情報に注意してください (105)。
- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

ABS が OFF になっている



点灯します。

考えられる原因:

ABS システムは、ライダーによって OFF にされました。

- ABS 機能を ON にします。

ASC/DTC の介入



素早く点滅します。

ASC/DTC がリヤホイールの不安定な状態を検知し、トルクを制限します。警告灯は、ASC/DTC の介入よりも長く点滅し続けます。これにより、厳しい走行状態の後でも、ライダーは制御が正常に行われた旨のフィードバック表示を目にすることができます。

ASC/DTC 自己診断が終了していない



ゆっくりと点滅します。

考えられる原因:



ASC/DTC 自己診断が終了していません

ASC/DTC は、自己診断が終了しなかったため、使用できません。(ホイール回転数センサーを点検するには、モーターサイクルが最低速度に達する必要があります: 5 km/h)

- ゆっくりと発進します。数 m 走行後、ASC/DTC 警告灯は消灯しなければなりません。

ASC/DTC 警告灯が点滅し続ける場合:

- BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

ASC/DTC が OFF になっている



点灯します。

考えられる原因:

ASC/DTC 機能は、ライダーによって OFF にされました。

- ASC/DTC を ON にする(▶ 70)。

ASC/DTC の故障



点灯します。

考えられる原因:

ASC/DTC コントロールユニットが故障を検知しました。ASC/DTC 機能は使用できません。

- 走行を続けることは可能です。ASC/DTC 機能が使用できないことに注意してください。故障を引き起こしうる状況についての、詳細な情報をご確認ください(▶ 107)。
- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

ESA 故障

– Dynamic ESA^{OE}装備



点灯します (黄)。



が表示されます。

考えられる原因:

ESA コントロールユニットが故障を検知しました。モーターサイクルはこの状態では減衰力が非常に強くなり、路面状態が悪い所では特に走りが不快になります。

- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

燃料がリザーブ容量に達している



点灯します。



警告

燃料不足による不規則なエンジン回転またはエンジン停止。

事故の危険。触媒コンバーターの損傷。

- フューエルタンクを空にしないでください。◀

考えられる原因:

フューエルタンクには、リザーブ用フューエルがまだ最大容量入っています。

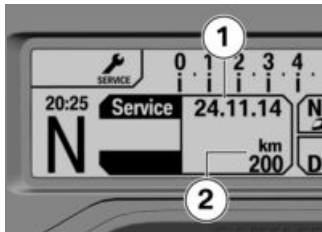


フューエルリザーブ容量

約 4 l

- 給油手順(▶▶ 97)。

サービス表示



サービスの実施までの期間が 1 カ月以内になると、サービス時期 **1** が表示されます。

サービスの実施までの距離が 1000 km (米国仕様 700 mls) になると、残りの走行距離 **2** が表示され、100 km (米国仕様 100 mls) 単位で減少していきます。表示は、Pre-Ride-Check (走行前点検) に引き続いて短時間行われます。



サービス時期を過ぎた場合には、期日または走行距離に関する指示を示すため、さらにジェネラル警告灯が黄色く点

灯します。サービス表示はずっと表示され続けます。



注記

サービス期日まで 1ヶ月以上あるのにサービス表示が表示されている場合、メーターパネルに設定されている日付を調整する必要があります。この症状は、バッテリーが長時間外されたままのときに発生することがあります。日付の調整に関しては、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。◀

フューエルリザーブ容量

燃料残量警告灯の点灯時に燃料タンク内に残っている燃料の量は、走行ダイナミクスに左右されます。タンク内の燃料が激しく動くほど（傾きの頻繁な変化、頻繁な減速および加速による）、リザーブ容量の測定は困難になります。この理由から燃料残量を正確に示すことはできません。

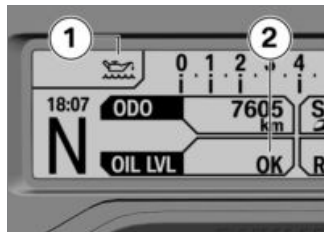


燃料残量警告灯を ON にすると、自動的に走行可能距離が表示されます。

このリザーブ容量で走行できる距離は、運転スタイル（燃費）と警告灯の点灯時点でまだ使用可能な燃料の量に左右されます（前の説明を参照）。

給油後に燃料の量がリザーブ容量より多くなると、燃料残量用の距離計はリセットされます。

オイルレベル注意



オイルレベル注意 2 では、エンジンオイルレベルに関する情報が提供されます。停車しているときのみ、呼び出しができます。

オイルレベル注意には、以下の条件が満たされている必要があります。

- － エンジンが作動温度に達していること
- － エンジンを 10 秒間以上アイドリングさせていること
- － サイドスタンドが格納されていること

ー モーターサイクルが平坦な場所に真っ直ぐに立っていること。

表示の意味：

OK：オイルレベルは正常です。

CHECK：次の燃料補給時にオイルレベルを点検してください。

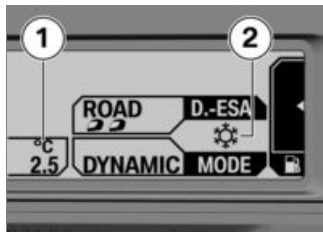
---：オイルレベルを測定できません（前述の条件が満たされていません）。



オイルレベルを点検する必要がある場合は、オイルレベルが正常だと検知されるまで、アイコン **1** が表示されます。

外気温度

停車している時には、エンジン放射熱により外気温度の測定に誤差が生じる場合があります。エンジン放射熱の影響が著しい場合には、一時的に「--」が表示されます。



外気温度が限界域を下回ると、氷結が発生する前に警告が表示されます。この温度を最初に下回った時点で、ディスプレイ設定の状態にかかわらず自動的に温度表示 **1** に切り替わり、表示された値が点滅します。



外気温度に関する限界域

約 3 °C



さらに氷結アイコン **2** が表示されます。



警告

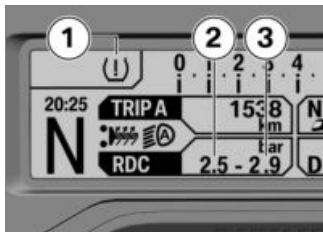
3 °C を超えており、路面凍結警告がない場合でも、路面が凍結している危険。

凍結した路面による事故を起こす危険。

- 外気温度が低い場合、橋の上や陰になった暗い路面は凍結しているおそれがあることを考慮してください。◀

タイヤ充填圧

ー タイヤ圧コントロール（RDC）
OE 装備



タイヤ充填圧は、マルチファンクションディスプレイ内で温度校正して表示されます。また、常に以下のタイヤ内の空気温度と関連しています：

20 °C

左の数値 **2** はフロントホイールの充填圧を、右の数値 **3** はリアホイールの充填圧を示しています。イグニッションが ON になるとすぐに、「-- --」が表示されます。



RDC センサーは OFF

min 30 km/h (最低速度を超えた後に初めて、RDC センサーは信号を車両に発信します。)



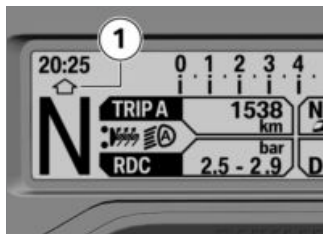
さらにアイコン **1** が表示される場合には、警告に関わる問題です。タイヤ充填圧が限界値に達すると点滅します。



該当する値が許容限界域にある場合には、さらにジェネラル警告灯（黄）が点灯します。測定されたタイヤ充填圧が許容範囲外にある場合には、ジェネラル警告灯（赤）が点滅します。

BMW Motorrad RDC に関する詳しい情報については、(111) のページを参照してください。

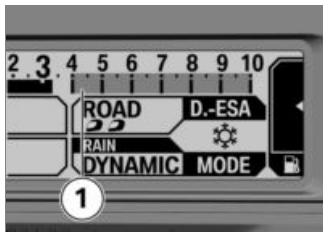
シフトアップ推奨



シフトアップ推奨 **1** はシフトアップに経済的に最良の時点で信号伝達します。

回転域レッドゾーン

回転数表示のレッドゾーンは、エンジン温度に応じて変化します。



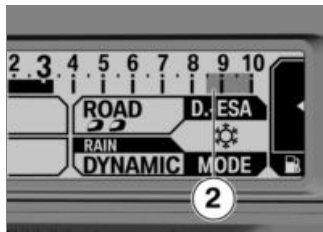
エンジンが冷たい状態

回転域レッドゾーン 1



エンジン作動温度にまだ達していません。

>4000 min⁻¹



エンジンが暖まっている状態

回転域レッドゾーン 2



エンジン作動温度に達しています。

>8500 min⁻¹

取扱方法

イグニッション.....	48
Keyless Ride によるイグニッション	50
イグニッションキルスイッチ.....	55
ライト	55
ハザードランプ.....	57
ウインカー	58
マルチファンクションディスプレイ	58
盗難警報装置	65
アンチロックブレーキシステム	68
オートマチックスタビリティコントロール	69
電子調整式サスペンション (ESA)	70
走行モード	72

クルーズコントロール.....	74
グリップヒーター	76

イグニッション キー

イグニッションキーは 2 本あります。

キーを紛失した場合には、電子式イモビライザー (EWS) (▶▶ 49) に関する注意事項に従ってください。

イグニッションスイッチ / ステアリングロック、タンクキャップ、シートロックは、1 本の同じキーで操作できます。

ご要望により、ケースおよびトップケースも車両キーで操作するようにできます。この件につきましては、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

ステアリングロックをロック する



重要事項

サイドスタンドで立てているときのハンドル位置が間違っている。

転倒によるコンポーネントの損傷。

- 平坦な路面では、ステアリングをロックする際に、必ずハンドルバーを左に回してください。
- そうでない場合には、ハンドルバーが左方向または右方向へ回るかどうか、路面の傾きを確認してください。◀
- ハンドルバーを左または右に回します。



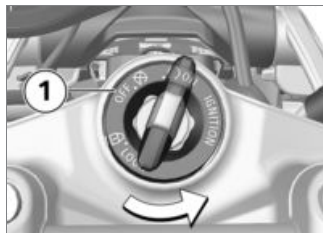
- ハンドルバーを少し動かしながら、キーをポジション 1 に回します。
- » イグニッション、ライトとすべての電気回路が OFF になります。
- » ステアリングロックがロックされます。
- » キーを抜き取ることができます。

イグニッションを ON にする



- 車両キーをイグニッションロックに差し込み、ポジション **1** に回します。
- » スモールライトおよびすべての電気回路が ON になります。
- ー LED 補助ヘッドライト^{OA} 装備
- » LED 補助ヘッドライトは ON の状態です。◁
- » Pre-Ride-Check が実行されます。(▶▶ 91)
- » ABS 自己診断が実施されます。(▶▶ 92)
- » ASC/DTC 自己診断が実施されます。(▶▶ 92)

イグニッションスイッチを OFF にする



- 車両キーをポジション **1** に回します。
- » イグニッションのスイッチをオフにすると、メーターパネルはもう少しの間 ON のままで、場合により故障メッセージを表示します。
- » ステアリングロックが解除されます。
- » 追加装備機器は限られた時間内で使用できます。
- » 電源ソケットからバッテリーの充電ができます。

» キーを抜き取ることができます。

ー LED 補助ヘッドライト^{OA} 装備
● イグニッションを OFF にした後、短時間で LED 補助ヘッドライトが消灯します。◁

電子式イモビライザー (EWS)

モーターサイクルの電子制御システムは、イグニッションロックのリングアンテナを介して、車両キーに内蔵されているデータを確認します。このキーが「権限あり」と認識されて初めて、エンジンマネジメントシステムがエンジンの始動を許可します。



注記

その他の車両キー（スペアキーなど）が始動用イグニッションキーと一緒に取り付けられていると、エレクトロニクスの機能に支障が生じ、エンジンの始動が許可されない場合があります。

す。マルチファンクションディスプレイに警告がキーマークで表示されます。

スペアキーは必ず車両キーと別に保管してください。◀

車両キーを紛失した場合は、BMW Motorrad ディーラーでこのキーを停止させることができます。

そのためには必ず、モーターサイクルに付属している他のすべてのキーもお持ちください。使用停止となったキーでエンジンを始動させることはできなくなります。しかし、使用停止となったキーを再度登録し直すことは可能です。

非常用および追加のスペアキーは、BMW Motorrad ディーラーからのみ入手できます。キーはセーフティシステムの一部ですので、ディーラーではお渡しする方の身元を確認させていただきます。

Keyless Ride によるイグニッション

– Keyless Ride^{OE}装備

キー



注記

無線キーをサーチしている間は、無線キー用インジケーターが点滅します。

無線キーまたはスペアキーが検知されると、消灯します。

無線キーまたはスペアキーが検知されない場合には、短時間点灯します。◀

お客様にお渡しするのは、無線キー 1 本ならびにスペアキー 1 本です。キーを紛失した場合には、電子式イモビライザー (EWS) (▶ 52) に関する注意事項に従ってください。

イグニッション、タンクキャップ、盗難警報装置は、無線キーを使用して制御します。シート

ロック、トップケース、ケースは手で操作することができます。



注記

無線キーが手に届く範囲にないと (ケース内またはトップケース内など)、車両を始動することはできません。

無線キーがない状態が続くと、バッテリーを保護するため、イグニッションが約 1.5 分後に OFF になります。

無線キーを身に着けておく (ジャケットのポケットなど) か、またはスペアキーを携行することをお勧めします。◀



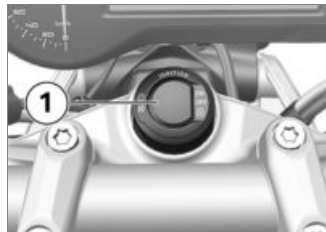
Keyless Ride の走行可能
距離無線キー

– Keyless Ride^{OE}装備

約 1 m<

ステアリングロックをロックする

前提条件：ハンドルバーは左または右に回されている状態です。
無線キーは受信範囲内です。



重要事項

サイドスタンドで立てているときのハンドル位置が間違っている。

転倒によるコンポーネントの損傷。

- 平坦な路面では、ステアリングをロックする際に、必ずハン

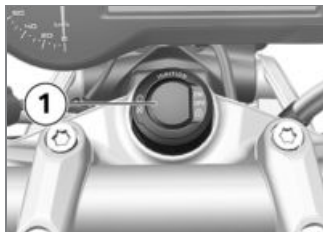
ドルバーを左に回してください。

- そうでない場合には、ハンドルバーが左方向または右方向へ回るかどうか、路面の傾きを確認してください。◀

- ボタン **1** を押し続けます。
 » ステアリングロックが音をたててロックします。
 » イグニッション、ライトとすべての電気回路が OFF になります。
- ステアリングロックをロック解除するには、ボタン **1** を短押しします。

イグニッションを ON にする

前提条件：無線キーは受信範囲内です。



- イグニッションは、以下の**2**つの方法で ON にすることができます。

バリエーション 1:

- ボタン **1** を短押しします。
 » スモールライトおよびすべての電気回路が ON になります。
- LED 補助ヘッドライト^{OA} 装備
 » LED 補助ヘッドライトは ON の状態です。◀
 » Pre-Ride-Check が実行されます。(▶ 91)
 » ABS 自己診断が実施されます。(▶ 92)

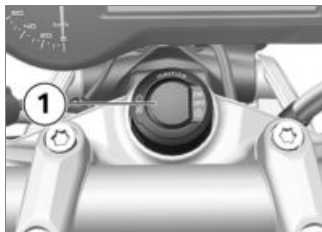
» ASC/DTC 自己診断が実施されます。(▶▶ 92)

バリエーション 2:

- ステアリングロックがロックされます。ボタン **1** を押し続けます。
- » ステアリングロックがロック解除されます。
- » パーキングライトとすべての電気回路が ON になります。
- » Pre-Ride-Check が実行されます。(▶▶ 91)
- » ABS 自己診断が実施されます。(▶▶ 92)
- » ASC/DTC 自己診断が実施されます。(▶▶ 92)

イグニッションスイッチを OFF にする

前提条件：無線キーは受信範囲内です。



- イグニッションは、以下の**2**つの方法で OFF にすることができます。

バリエーション 1:

- ボタン **1** を短押しします。
- » ライトが OFF になります。
- » ステアリングロックが解除されます。

バリエーション 2:

- ハンドルバーを左または右に回します。
- ボタン **1** を押し続けます。
- » ライトが OFF になります。
- » ステアリングロックがロックされます。

電子式エンジン始動ロックシステムEWS

モーターサイクルの電子制御システムは、リングアンテナを介して、無線キーに蓄積されているデータを確認します。無線キーが「権限あり」と認識されてはじめて、エンジンコントロールユニットが、エンジン始動を許可します。



注記

その他の車両キー（スペアキーなど）が始動用無線キーと一緒に取り付けられていると、エレクトロニクス機能に支障が生じ、エンジンの始動が許可されない場合があります。マルチファンクションディスプレイに警告がキーマークで表示されます。その他の車両キー（スペアキーなど）は必ず無線キーと別に保管してください。◀

無線キーを紛失したときなどには、BMW Motorrad ディーラーでそのキーの使用を停止することができます。そのためには、必ず、モーターサイクルに付属している他のすべてのキーもお持ちください。

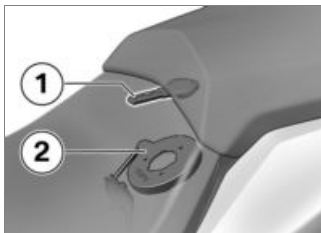
使用停止となった無線キーでエンジンを始動させることはできなくなります。しかし、使用停止となった無線キーを再度登録し直すことは可能です。

非常用および追加のスペアキーは、BMW Motorrad ディーラーからのみ入手できます。無線キーはセーフティシステムの一部ですので、ディーラーではお渡しする方の身元を確認させていただきます。

無線キーの紛失

キーを紛失した場合は、電子式エンジン始動ロックシステム (EWS) に関する注意事項を確認し、順守してください。

走行中に無線キーを紛失した場合には、スペアキーを使用して車両を始動させることができます。



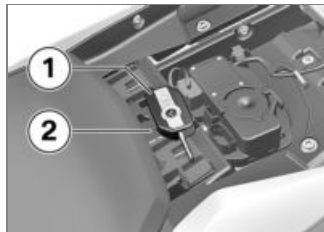
- スペアキー **1** を、スペアキーがアンテナ **2** の上に位置決めされるように、フロントシートとリヤシート間のすき間に差し込みます。

 エンジン始動をその間に行わなければならない時間。その後、再度ロック解除を行う必要があります。

30 s

- » Pre-Ride-Check が実行されます。
- スペアキーが検知されました。
- エンジンを始動することができます。
- スペアキーを外すことができます。
- エンジンを始動する(▶▶▶ 91)。

無線キーのバッテリーが空になっている



- リヤシートを取り外す(▶▶▶ 82)。
- 無線キー **1** をポジション **2** の上に置きます。

 エンジン始動をその間に行わなければならない時間。その後、再度ロック解除を行う必要があります。

30 s

- イグニッションを ON にします。
- » Pre-Ride-Check が実行されます。
- 無線キーが検知されました。
- エンジンを始動することができません。
- 無線キーを外すことができます。
- エンジンを始動する(▶ 91)。
- リヤシートを取り付ける(▶ 83)。

無線キーのバッテリーを交換する

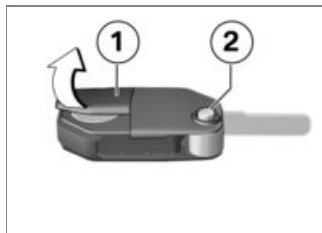
無線キーが、ボタンを短押しまたは長押ししても反応しない場合：

- バッテリーがフル充電になります。

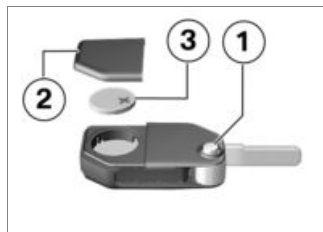
» バッテリーを交換します。



が表示されます。



- ボタン **2** を押します。
- » キーの歯部分が開きます。
- バッテリーカバー **1** を押し上げます。



- バッテリー **3** を取り外します。



バッテリータイプ

Keyless Ride 用無線キー

CR 2032

- 取り外した既存のバッテリーを法的規定に従って処分します。バッテリーは家庭ゴミの中に入れて捨てないでください。



重要事項

不適切なバッテリー、または正しくない入れ方のバッテリー。

コンポーネントの損傷

- 規定のバッテリーを使用してください。
 - バッテリーを組み込む際に、極性が正しいか確認してください。◀
 - 新品のバッテリー **3** を、プラスターミナルを上に向けて組み込みます。
 - バッテリーカバー **2** を取り付けます。
 - ボタン **1** を押し、キーの歯部分を閉じます。
- » リモートコントロールは再び待機状態になっています。

イグニッションキルスイッチ



1 イグニッションキルスイッチ



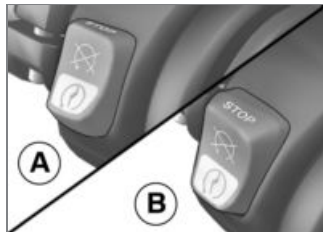
警告

走行中のイグニッションキルスイッチの操作。

リヤホイールのロックによる転倒の危険。

- 走行中はイグニッションキルスイッチを操作しないでください。◀

イグニッションキルスイッチにより、エンジンをすばやく簡単に停止することができます。



A エンジン停止

B 通常の操作ポジション

ライト

ロービームおよびポジションライト / パーキングライト

イグニッションを ON にすると、パーキングライトは自動的に ON になります。



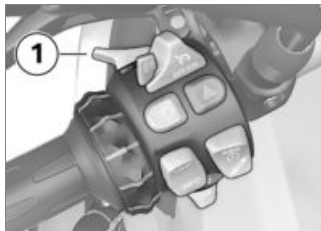
注記

ポジション / パーキングライトはバッテリーを消耗させます。必要な場合にのみ、イグニッションを ON にしてください。◀

エンジンの始動後、ロービームは自動的に ON になります。

ハイビームヘッドライトとパッシングライト

- イグニッションを ON にする(▶▶ 49)。



- スイッチ **1** を前方へ押し、ハイビームヘッドライトを ON にします。
- スイッチ **1** を後方へ引き、パッシングライトを操作します。

パーキングライト

- イグニッションスイッチを OFF にする(▶▶ 49)。



- イグニッションを OFF にした直後、パーキングライトが ON になるまで、ボタン **1** を左方向へ押した状態で保ちます。
- パーキングライトを OFF にするため、イグニッションを ON にしてから再び OFF にします。

LED 補助ヘッドライト

— LED 補助ヘッドライト^{OA} 装備

前提条件：LED 補助ヘッドライトが ON になるのは、ロービームが ON のときのみです；デイルイトが ON の場合には、LED 補

助ヘッドライトは ON になりません。



注記

補助ヘッドライトはフォグライトとして使用することができ、悪天候の場合にのみ、設定することが認められています。それぞれの国における道路交通規則を必ず遵守してください。◀

- エンジンを開始する(▶▶ 91)。



- ボタン **1** を押し、LED 補助ヘッドライトを ON にします。



補助ヘッドライトの表示灯が点灯します。

- ボタン **1** を再び押し、LED 補助ヘッドライトを OFF にします。

ハザードランプ

ハザードランプを操作する

- イグニッションを ON にする(▶▶ 49)。



注記

ハザードランプはバッテリーを消耗させます。ハザードランプは必要な場合にだけ使用するようにしてください。◀



注記

ハザードランプ機能を ON にした状態で片方のウインカースイッチを押すと、押している間はウインカー機能はハザードランプ機能に代わります。ウインカースイッチを押すのをやめると、再び

ハザードランプ機能が作動します。◀

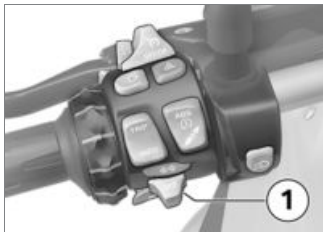


- ハザードランプを ON にするには、ボタン **1** を押します。
» イグニッションを OFF にすることができます。
- ハザードランプを OFF にするには、イグニッションを ON にし、ボタン **1** を再度押します。

ウインカー

ウインカーを操作する

- イグニッションを ON にする(▶▶ 49)。



- 左側ウインカーを ON にするには、ボタン **1** を左方向へ押します。
- 右側ウインカーを ON にするには、ボタン **1** を右方向へ押します。
- ウインカーを OFF にするには、ボタン **1** を中間の位置に押します。

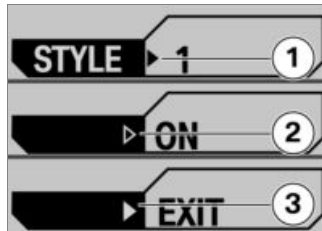


注記

ウインカーは、一定の走行時間および走行距離に達すると自動的に OFF になります。指定の走行時間および走行距離はBMW Motorrad ディーラーで調整することができます。◀

マルチファンクションディスプレイ

メニューガイドにおけるサポート



ディスプレイ内の矢印の表示の意味は、以下のとおりです：

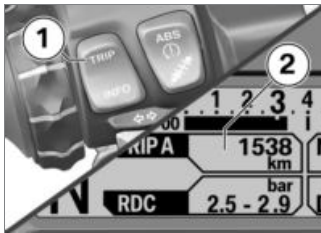
- 矢印 **1** および **3**：各ボタンを押し続けます。
- 矢印 **2**：各ボタンを短押しします。

個別のディスプレイ表示を設定する

- イグニッションを ON にする(▶▶ 49)。

オンボードコンピューター内の表示を選択する

- イグニッションを ON にする(▶▶▶ 49)。



- ボタン **1** を短押しし、上側ディスプレイ行 **2** の表示を選択します。

標準装備では以下の値が表示され、ボタン操作により選択することができます：

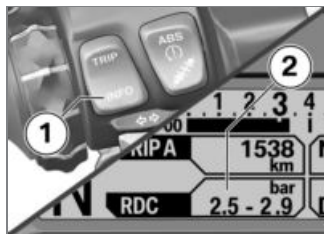
- －トリップメーター距離 1 (TRIP 1)
- －トリップメーター距離 2 (TRIP 2)
- －走行可能距離 (RANGE)

- －総走行距離 (ODO)
- －SETUP メニュー (SETUP)、停車時のみ

- －オンボードコンピューター
- －Pro^{OE} 装備

以下のインフォメーションはオンボードコンピューター Pro と補足として表示されます：

- －自動トリップメーター距離 (TRIP A)
- －瞬間燃料消費量 (CONS.) <



- ボタン **1** を短押しし、下側ディスプレイ行 **2** の表示を選択します。



- ボタン **1** を繰り返し短押しし、下側ディスプレイ行 **2** にSTYLE を表示させます。
- ボタン **1** を押し続けることにより、Display 表示を変更させます。数字の意味は下記のとおりです：
 - －**0**: Full 表示
 - －**1**: Sport 表示
 - －**2**: Touring 表示
- » **2** のエリア内では、選択されたDisplay 表示が表示されます。

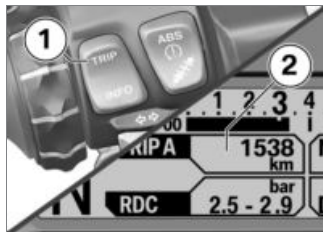
標準装備では以下の値が表示され、ボタン操作により選択することができます：

- 外気温度 (TEMP.)
- エンジン温度 (ENG. T.)
- 走行可能距離 (RANGE)
- 平均燃費 1 (CONS 1)
- 平均燃費 2 (CONS 2)
- 平均速度 (SPEED)
- タイヤ圧コントロール (RDC) OE 装備
- タイヤ充填圧 (RDC) <
- 日付 (DATE)
- オイルレベル注意 (OIL LVL)
- オンボードコンピュータ
- Pro^{OE} 装備
- ボードエレクトリック電源電圧 (VOLTG.)<
- オンボードコンピュータ
- Pro^{OE} 装備
- ストップウォッチの合計時間 (T. TOT.)<

- オンボードコンピュータ
- Pro^{OE} 装備
- ストップウォッチの走行時間 (T. RIDE)<

トリップメーターをリセットする

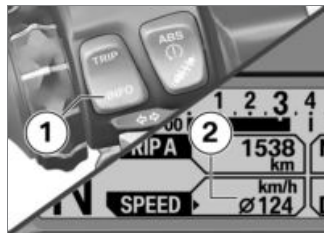
- イグニッションを ON にする(➡ 49)。



- ボタン **1** を繰り返し短押しし、リセットするトリップメーターを上側ディスプレイ行 **2** に表示させます。
- 表示されている値がリセットされるまで、ボタン **1** を押し続けます。

平均値をリセットする

- イグニッションを ON にする(➡ 49)。

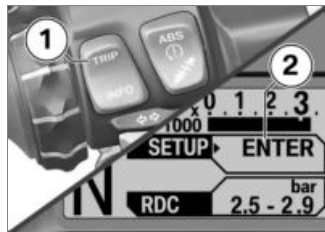


- ボタン **1** を繰り返し短押しし、リセットする平均値を下側ディスプレイ行 **2** に表示させます。
- 表示されている値がリセットされるまで、ボタン **1** を押し続けます。

オンボードコンピュータを調整する

車両を立てます。

- イグニッションを ON にする(49)。



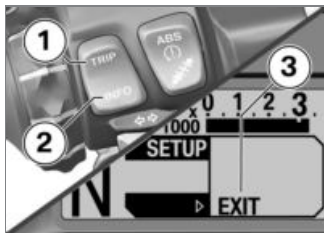
- ボタン 1 を繰り返し短押しし、上側ディスプレイ行 2 にSETUP ENTER を表示させます。
- ボタン 1 を押し続けることにより、SETUP メニューを開始します。
- » ディスプレイの以下の表示は選択した装備に応じて異なります。



- 次のメニュー項目に切り替えるには、ボタン 1 をその都度、短押しします。
- » 上側ディスプレイ欄 2 にメニューオプションが表示されます。
- » 下側ディスプレイ行 3 に設定した値が表示されます。
- 設定した値を変更するには、ボタン 4 を短押しします。
- 以下のメニューオプションを選択することができます：
- 盗難警報装置 (DWA)^{OE} 装備
- Auto. Alarm: 盗難警報装置を ON にする (ON) または OFF にする (OFF) <

- ナビゲーションシステム用取り付けキット^{OE} 装備
- GPS Time: ナビゲーションシステムが取り付けられている場合：GPS 時間およびGPS 日付を引き継ぐ (ON) または引き継がない (OFF) <
- 走行モードPro^{OE} 装備
- User Mode: ユーザー専用の走行モード設定。<
- Clock: 時計の調整
- Date: 日付の設定
- Shift Indicator: シフトアップ推奨をディスプレイに表示する (ON) または表示しない (OFF)
- Brightn.: ディスプレイ輝度を設定する、ノーマル (0) からブライト (5)
- Clock Format: 時刻表示用フォーマットの調整
- Date Format: 日付表示用フォーマットの調整

- オンボードコンピュータ
—Pro^{OE} 装備
- BC: BC Pro と BC Basic の
切替◀
- RESET!: すべての設定をリ
セットする。
- EXIT SETUP メニューを終了
する



- SETUP メニューを終了するには、メニュー項目EXIT 3 でボタン 2 を短押しします。
- SETUP メニューを任意の位置でキャンセルするには、ボタン 1 を押し続けます。

時計を調整する

- イグニッションを ON にする(▶ 49)。

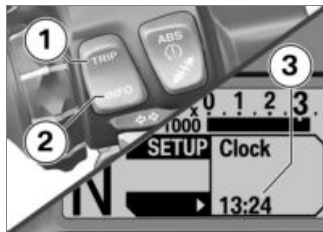


警告

走行中の時計の調整。

事故の危険

- 時計の調整は、必ずモーターサイクルを停止させた状態で行ってください。◀
- SETUP メニューでメニューオプションCLOCK を選択します。



- ボタン 2 を押し続けることにより、下側ディスプレイ行 3 に時間を点滅させます。



注記

クロックディスプレイの代わりに「—:—」が表示されると、メーターパネルの電源供給が中断されています (例えば、バッテリーの接続が外れたことによる)。◀

- 点滅している値をボタン 1 で上昇させ、ボタン 2 で下降させます。
- ボタン 2 を押し続けることにより、下側ディスプレイ行 3 に分を点滅させます。

- 点滅している値をボタン **1** で上昇させ、ボタン **2** で下降させます。
- 分が点滅しなくなるまで、ボタン **2** を押し続けます。
- » 設定は終了しています。
- 調整を任意の位置で中止するには、初期値が再度表示されるまで、ボタン **1** を押し続けます。

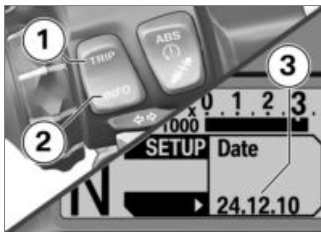


注記

設定を終える前にスタートすると、設定は中止されます。◀

日付設定

- イグニッションを ON にする(▶ 49)。
- SETUP メニューでメニューオプションDATE を選択します。



- ボタン **2** を押し続けることにより、下側ディスプレイ行 **3** の日付を点滅させます。



注記

日付の代わりに「—.—.—」が表示されると、メーターパネルの電源供給が中断されています(例えば、バッテリーの接続が外れたことによる)。◀

- 点滅している値をボタン **1** で上昇させ、ボタン **2** で下降させます。
- ボタン **2** を押し続けることにより、下側ディスプレイ行 **3** の月を点滅させます。

- 点滅している値をボタン **1** で上昇させ、ボタン **2** で下降させます。
- ボタン **2** を押し続けることにより、下側ディスプレイ行 **3** の年を点滅させます。
- 点滅している値をボタン **1** で上昇させ、ボタン **2** で下降させます。
- 年が点滅しなくなるまで、ボタン **2** を押し続けます。
- » 設定は終了しています。
- 調整を任意の位置で中止するには、初期値が再度表示されるまで、ボタン **1** を押し続けます。



注記

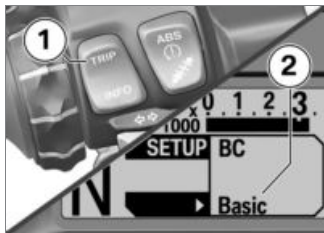
設定を終える前にスタートすると、設定は中止されます。◀

ディスプレイをパーソナライズする

－オンボードコンピュータ
－Pro^{OE} 装備

パーソナライズメニューでは、どのインフォメーションをどのディスプレイ行に表示させるのかを調整することができます。

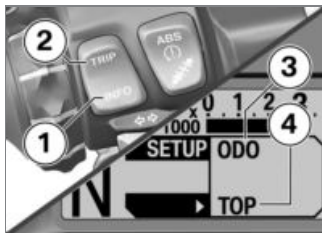
- イグニッションを ON にする(▶ 49)。



- SETUP メニュー内でボタン **1** によりメニュー項目BC **2** を選択します。



- ボタン **1** を短押しし、BC Pro **2** (個別化メニュー) に切り替えます。



- 最初のメニュー項目を表示させるには、ボタン **1** を押し続けます。

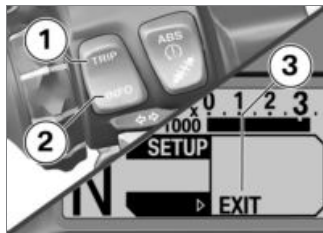
- » ODOが表示されます。
- 次のメニュー項目に切り替えるには、ボタン **2** をその都度、短押しします。
- » 上側ディスプレイ欄 **3** にメニューオプションが表示されます。
- » 下側ディスプレイ行 **4** に設定した値が表示されます。以下の値を調整することができます。
- － TOP: 値が上側ディスプレイ欄に表示されます。
- － BOTTOM: 値が下側ディスプレイ欄に表示されます。
- － BOTH: 値は両方のディスプレイ行に表示されます。
- － OFF: 値は表示されません。
- 設定した値を変更するには、ボタン **1** を短押しします。

以下のメニューオプションを選択することができます。括弧の中には初期設定が書かれています。メニューオプションの中には、オプション装備品がある場

合のみ表示されるものもあります。

- ODO: オドメーター (TOP、設定OFF は不可)
- TRIP 1: トリップメーター 1 (TOP)
- TRIP 2: トリップメーター 2 (TOP)
- TRIP A: 自動トリップメーター (TOP)
- TEMP.: 外気温度 (BOTTOM)
- ENG.T.: エンジン温度 (BOTTOM)
- RANGE: 走行可能距離 (TOP)
- CONS. 1: 平均燃費 1 (BOTTOM)
- CONS. 2: 平均燃費 2 (BOTTOM)
- CONS.: 瞬間燃料消費量 (TOP)
- SPEED: 平均速度 (BOTTOM)
- RDC: タイヤ充填圧 (BOTTOM)
- VOLTG.: ボードエレクトリック電源電圧 (BOTTOM)

- T. TOT.: ストップウォッチの合計時間 (BOTTOM)
- T. RIDE: ストップウォッチの走行時間 (BOTTOM)
- DATE: 日付 (BOTTOM)
- SRV. 1: 次回サービスの日付 (OFF)
- SRV. 2: 次回サービスまでの残余走行距離 (OFF)
- OIL LVL: オイルレベル注意 (BOTTOM)
- EXIT: 個別化メニューを終了する。



- 個別化メニューを終了するには、メニュー項目EXIT **3** でボタン **2** を短押しします。

- 個別化メニューを任意の位置で終了するには、ボタン **1** を押し続けます。
 » これまで行った設定はすべて保存されます。

盗難警報装置

- 盗難警報装置 (DWA)^{OE} 装備

アラームの発報についての注意事項

アラームの発報は、以下によっても引き起こされることがあります：

- モーションセンサー
- 不正なキーによるイグニッション ON
- DWA の車両バッテリーからの取り外し (DWA バッテリーが電源供給。アラーム音のみ、ウインカーの点灯なし)。

DWA バッテリーが放電している場合、車両バッテリーからの取り外し時のアラームの発報が行われなくなる以外は、全機能が保持されたままになります。



アラームの作動時間

26 s (発報中は、アラーム音が鳴り、ウインカーが点滅します。アラーム音の種類はBMW Motorrad ディーラーで調整することができます。)

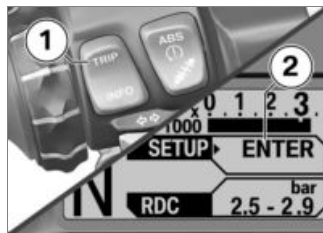
ライダー不在時にアラームが発報していた場合には、イグニッションを ON にした時にアラーム音が 1 回鳴ってそれを知らせます。引き続き、DWA 表示灯がアラーム原因について 1 分間、信号を発信します。

点滅信号数の意味：

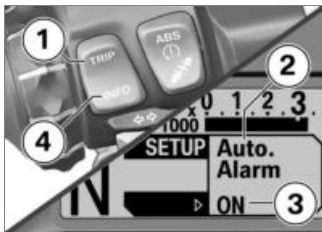
- 1 回点滅： モーションセンサー 1
- 2 回点滅： モーションセンサー 2
- 3 回点滅： 不正なキーを使用して、イグニッションが ON にされた
- 4 回点滅： 車両バッテリーから DWA が取り外されている
- 5 回点滅： モーションセンサー 3

DWA 調整する Chowseis ル

- イグニッションを ON にする(➡ 49)。



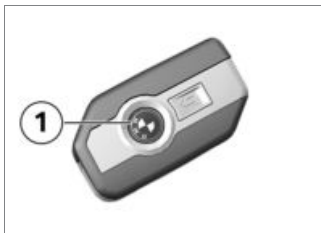
- ボタン 1 を繰り返し短押しし、上側ディスプレイ行 2 に ENTER を表示させます。
- ボタン 1 を押し続けることにより、SETUP メニューを開始します。



DWA を ON にする

- イグニッションを ON にする(▶▶ 49)。
- DWA 調整するチョウセイスル(▶▶ 66)。
- イグニッションを OFF にします。
- » DWA が ON の場合には、イグニッション OFF の後にDWA は自動的に ON になります。
- » 作動状態にするには約 30 秒かかります。

– Keyless Ride^{OE}装備

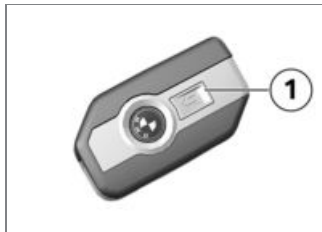


- ボタン **1** を短押しします。
- » ウインカーが 2 回点灯します。

- » 操作音が 2 回鳴ります (プログラミングされている場合)。
- » DWA は ON の状態です。

DWA 作動解除するサドウカイジョスル

- イグニッションを ON にします。
- Keyless Ride^{OE}装備



- ボタン **1** を短押しします。
- » ウインカーが 1 回点灯します。
- » 操作音が 1 回鳴ります (プログラミングされている場合)。
- » DWA は OFF の状態です。

- ボタン **1** を短押しし、メニュー項目 Auto. Alarm を選択します。
- » 上側ディスプレイ欄 **2** に、Auto. Alarm と表示されます。
- » 下側ディスプレイ行 **3** に、設定した値 ON/OFF が表示されます。
- 設定した値を変更するため、ボタン **4** を短押しします。

以下の設定が可能です：

- ON: DWA は ON の状態、またはイグニッション OFF の後に自動的に ON になります。
- OFF: DWA は OFF の状態です。

アンチロックブレーキシステム

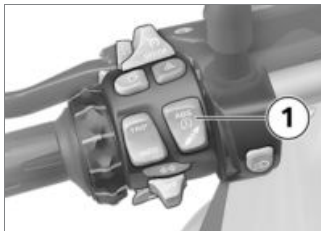
ABS OFF にする OFF ニスル



注記

BMW Motorrad Integral ABS 装備ブレーキシステムに関する詳細な情報については、「技術情報」の章をご覧ください。◀

- イグニッションを ON にする(▶ 49)。



- ABS 警告灯の表示が変わるまで、ボタン **1** を押し続けます。



注記

ABS 機能は走行中も OFF にすることができます。◀

- » 次に、ASC/DTC アイコンの表示が変化します。ABS 警告灯が反応するまで、ボタン **1** を押し続けます。この場合、ASC/DTC の設定は変わりません。



点灯します。

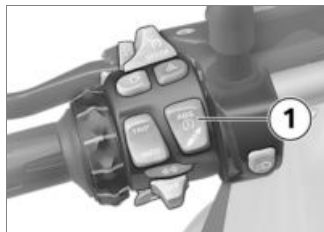
- ボタン **1** を 2 秒以内に放します。



点灯し続けます。

- » ABS は OFF の状態で、インテグラル機能は ON のままです。

ABS ON にする ON ニスル



- ABS 警告灯の表示が変わるまで、ボタン **1** を押し続けます。



注記

ABS 機能は走行中も ON にすることができます。◀



消灯します。自己診断が終了していない場合には、警告灯が点滅し始めます。

- ボタン **1** を 2 秒以内に放します。



消灯したままか、または点滅し続けます。

- » ABS は ON になっています。
- 代わりに、イグニッションを OFF にしてから再び ON にすることでも可能です。



ABS 故障

イグニッションを OFF / ON にして、さらに最低速度以上で走行した後に ABS 警告灯が点灯する場合には、ABS が故障しています。(最低速度：5 km/h)

オートマチックスタビリティコントロール

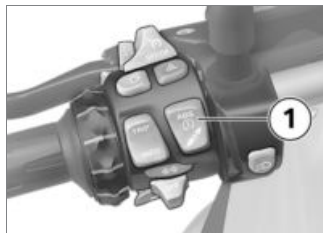
ASC/DTC を OFF にする



注記

ASC/DTC に関する詳しい情報については、「技術情報」の章を参照してください。◀

- イグニッションを ON にする(▶▶ 49)。



- ASC/DTC 警告灯の表示が変わるまで、ボタン **1** を押し続けます。



注記

ASC/DTC 機能は走行中でも OFF にすることができます。◀



点灯します。

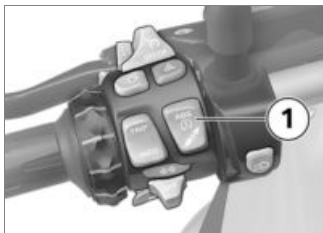
- ボタン **1** を 2 秒以内に放します。



点灯し続けます。

- » ASC/DTC は OFF の状態です。

ASC/DTC を ON にする



- ASC/DTC 警告灯の表示が変わるまで、ボタン **1** を押し続けます。



注記

ASC/DTC 機能は走行中も ON にすることができます。◀



消灯します。自己診断が終了していない場合には、警告灯が点滅し始めます。

- ボタン **1** を 2 秒以内に放します。



消灯したままか、または点滅し続けます。

- » ASC/DTC は ON の状態です。
- 代わりに、イグニッションを OFF にしてから再び ON にすることでも可能です。



ASC/DTC の故障

イグニッションを OFF / ON にして、さらに最低速度以上で走行した後に ASC / DTC 警告灯が点灯する場合には、ASC/DTC が故障しています。(最低速度：5 km/h)

電子調整式サスペンション (ESA)

– Dynamic ESA^{OE} 装備

調整

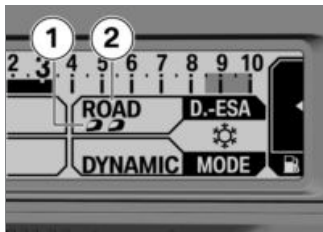
電子調整式サスペンション Dynamic ESA を使用して、モーターサイクルを積載条件や道路状況に快適に適合させることができます。

Dynamic ESA は車高レベルセンサーを介してフレームの動きを検知し、それに反応してショックアブソーバーバルブを調整します。これにより、サスペンションは路面状況に適合するように調整されます。

基本設定 (ROAD) からダンピングをよりハード (DYNAMIC) に調整することができます。

フレームを調整する

- イグニッションを ON にする(➡ 49)。



スプリングプリロードはマルチファンクションディスプレイのエリア **1** に表示され、ダンピングはエリア **2** に表示されます。



ショックアブソーバーを設定するには：

- ご希望の設定が表示されるまで、ボタン **1** を繰り返し短押しします。



注記

ダンピングの調整は、走行中もできます。◀

以下の設定が可能です：

- － ROAD: 快適なダンピング
- － DYNAMIC: スポーティなダンピング

スプリングプリロードを設定するには：

- エンジンを開始する(▶▶▶ 91)。
- ご希望の設定が表示されるまで、ボタン **1** を押し続けます。



注記

走行中は、スプリングプリロードを調整することはできません。◀

以下の設定が可能です：



1 名乗車時



1 名乗車 + 荷物積載時



2 名乗車 (+ 荷物積載) 時

- 走行を続行する前に、調整作業が終了するのを待ちます。
- » ボタン **1** をしばらく操作しないでおくと、そのとき表示されていたショックアブソーバーおよびスプリングプリロードが設

定されます。設定中は、ESA 表示が点滅します。

- 温度が低い場合には、スプリングプリロードを高くする前に、モーターサイクルの負荷を軽減してください。必要に応じて、パッセンジャーに降りてもらってください。

走行モード

走行モードの使用



注記

選択可能な走行モードの詳細な情報については、「技術情報」の章をご覧ください。◀

BMW Motorrad は、お客様がご自身の状況に合わせて選択できるように、モーターサイクルに 3 種類のシナリオを開発しました：

- － 雨で濡れた路面での走行
- － 乾いた路面での走行

- － 走行モード Pro^{OE} 装備
- － 乾いた路面でのスポーティな走行

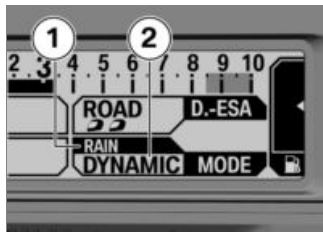
これらの 3 つのシナリオには、それぞれに最適なエンジントルク、スロットルレスポンス、ASC/DTC 制御の組み合わせが用意されています。

走行モードを設定する

- イグニッションを ON にする(▶ 49)。



- ボタン 1 を押します。



ポジション 2 に現在の設定が表示されます。各ボタン操作により、可能な走行モードのうちの 1 つのポジション 1 が表示されます。



- 希望する走行モードが表示されるまで、ボタン **1** を繰り返し押します。

以下の走行モードから選択することができます：

- － RAIN: 雨で濡れた路面での走行。
- － ROAD: 乾いた路面での走行。

- － 走行モードPro^{OE}装備

» さらに、以下の走行モードを選択することができます：

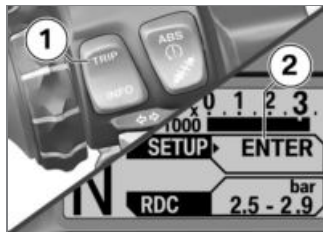
- － DYNAMIC: 乾いた路面でのダイナミックな走行。
- － USER: ユーザー専用の走行モード設定。◁

- 走行モードを選択します。
- » 停車している場合には、選択した走行モードは約 2 秒後に ON になります。
- » 走行中に新しい走行モードを ON にすることができるのは、スロットルグリップがアイドル位置にあり、かつブレーキが操作されない場合のみです。
- » エンジン特性曲線、ABS、ASC/DTC、Dynamic ESA について適切に調整が行われ、設定された走行モードは、イグニッションを OFF にした後も維持されます。

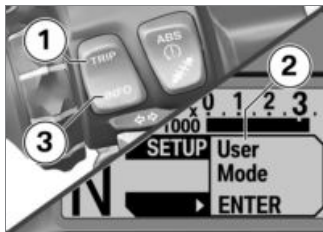
走行モードを個別化する

- － 走行モードPro^{OE}装備

- 走行モードUSER を選択します。



- ボタン **1** を繰り返し短押しし、上側ディスプレイ行 **2** にSETUP ENTER を表示させます。
- ボタン **1** を押し続けることにより、SETUP メニューを開始します。



- ボタン **1** を繰り返し短押しし、**2** のエリアに User Mode ENTER を表示させます。
- ボタン **3** を押し続けることにより、User モードを調整します。



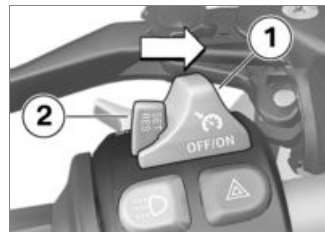
- 次のメニュー項目に切り替えるには、ボタン **1** をその都度、短押しします。
 - » 上側ディスプレイ行 **2** では、以下のメニュー項目から選択することができます。
- ENGINE
- DTC
- ボタン **4** を繰り返し短押しし、希望する値を下側ディスプレイ行 **3** に表示させます。
- ボタン **1** を繰り返し短押しし、User EXIT を表示させます。

- ボタン **4** を押し続けることにより、User メニューを終了します。

クルーズコントロール

ー クルーズコントロール^{OE}装備

クルーズコントロールを ON にする



- スイッチ **1** を右方向へずらします。
- » ボタン **2** の操作がロック解除されています。

車速をセットする



- ボタン **1** を前方向へ短時間押します。



クルーズコントロール
の調整範囲

20...210 km/h



クルーズコントロールインジケーターが点灯します。

- » その時の車速を維持し、記憶します。

加速する



- ボタン **1** を前方向へ短時間押します。
 - » 押すたびに速度が約 2 km/h ずつ加速します。
- ボタン **1** を前方へ押したまま保ちます。
 - » 車速が無段階に加速します。
 - » ボタン **1** がそれ以上操作されないと、到達した車速が維持され、保存されます。

減速する



- ボタン **1** を後方へ短時間押します。
 - » 押すたびに速度が約 2 km/h ずつ減速します。
- ボタン **1** を後方へ押したまま保ちます。
 - » 車速が無段階に減速します。
 - » ボタン **1** がそれ以上操作されないと、到達した車速が維持され、保存されます。

クルーズコントロールを OFF にする

- ブレーキ、クラッチまたはスロットルグリップ（スロットル

を基本位置よりさらに戻し、完全に閉じる) を操作し、クルーズコントロールを作動解除します。

注記

ギヤシフトアシストPro を使用してギヤシフトを行う場合には、安全上の理由から、クルーズコントロールは自動的に OFF になります。◀

注記

ASC およびDTC の介入時には、安全上の理由から、クルーズコントロールは自動的に OFF になります。◀

» クルーズコントロールインジケーターが消灯します。

前回の速度を再設定する



- ボタン 1 を短時間後方へ押し、再び、メモリーされている車速にします。

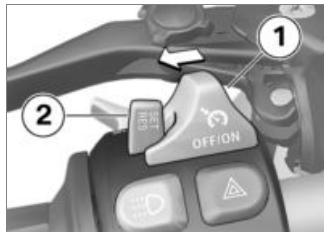
注記

スロットルを操作することでは、クルーズコントロールは作動解除されません。たとえ登録速度以下に減速するつもりでも、スロットルグリップから手を放した後、速度は登録速度までしか下がりません。◀



クルーズコントロールインジケーターが点灯します。

クルーズコントロールを OFF にする



- スイッチ 1 を左方向へずらし、
- » システムが OFF になります。
- » ボタン 2 が機能していません。

グリップヒーター

— グリップヒーターOE 装備

グリップヒーターの操作



注記

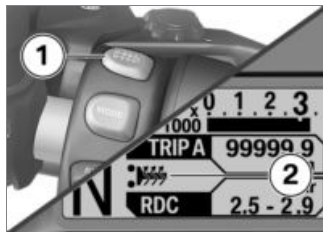
グリップヒーターは、エンジン作動時にのみ作動させることができます。◀



注記

低回転域では、グリップヒーターによって電力消費が増すことによりバッテリーの放電に至ることがあります。バッテリーの充電が十分でない場合、始動性能を保持するために、グリップヒーターが OFF になります。◀

- エンジンを始動する(▶▶ 91)。



- ボタン **1** を繰り返し押すことにより、ご希望のヒーターレベル **2** を表示させます。

グリップを 2 段階で暖めることができます。



ヒーター出力、第 1 レベル 50 %ヒーター出力



ヒーター出力、第 2 レベル 100 %ヒーター出力

» 2 段階目ではグリップを急速に温めることができます。その後、1 段階目に切り替えてください。

» それ以上変更が行われないと、選択した暖房レベルが設定されます。

- グリップヒーターを OFF にするには、ボタン **1** を、グリップヒーターのアイコン **2** がディスプレイに表示されなくなるまで押します。

調整

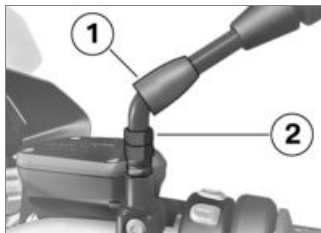
ミラー	80
ヘッドライト	80
クラッチ	81
ブレーキ	82
フロントおよびリヤシート	82
スプリングプリロード	83
ショックアブソーバー	84

ミラー ミラーを調整する



- ミラーを回してご希望の位置に調整します。

ミラーアームを調整する



- ミラーアーム接続部にかぶせてある保護キャップ **1** を上へずらします。
- ナット **2** を外します。
- ミラーアームをご希望の位置に回します。
- ミラーアームを保持しながら、ナットを締め付けトルクで締め付けます。



ミラー (ロックナット) と
アダプター

22 Nm

- 保護キャップ **1** をボルトの上へずらします。

ヘッドライト

光軸およびスプリングプリロード

通常、積載条件に応じてスプリングプリロードを調整することにより、光軸は常に一定になります。

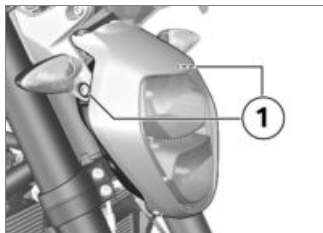
ただし、負荷が非常に高い場合には、スプリングプリロードを適切に調整することができません。その場合は、光軸を重量に応じて調整してください。



注記

光軸が正しく調整されているか疑わしい場合には、できればBMW Motorrad、もしくは専門の整備工場に調整状態を確認するよう依頼してください。◀

光軸を調整する



負荷が非常に高い場合には、対向車の目をくらませないように、スプリングプリロードを適切に調整することができません：

- ボルト **1** をツールキットを使用して緩めます。



注記

モーターサイクルをセンタースタンドやサイドスタンドで立てないでください。◀

- ヘッドライトを下げるため、ヘッドライトをやや下方向へ旋回させるように動かします（積載負荷に応じて）。

モーターサイクルを再度、積載を少なくして走行する場合：

- ヘッドライトの基本調整を専門の整備工場に、できれば、BMW Motorrad パートナーに依頼してください。
- ボルト **1** をツールキットを使用して締め付けます。

クラッチ

クラッチレバーを調整する

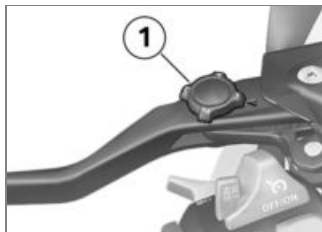


警告

走行中のクラッチレバーの調整。

事故の危険

- クラッチレバーの調整は、必ずモーターサイクルを停止させた状態で行ってください。◀



- アジャストホイール **1** をご希望の位置に回します。



注記

その際、クラッチレバーを前へ押すとアジャストホイールを簡単に回すことができます。◀

» 4 種類の設定が可能です：

- **ポジション 1:** ハンドルグリップとクラッチレバー間の距離は最小
- **ポジション 4:** ハンドルグリップとクラッチレバー間の距離は最大

ブレーキ

ブレーキレバーを調整する

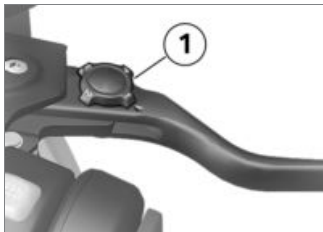


警告

走行中のブレーキレバーの調整。

事故の危険

- ブレーキレバーの調整は、必ずモーターサイクルを停止させた状態で行ってください。◀



- アジャストホイール **1** をご希望の位置に回します。



注記

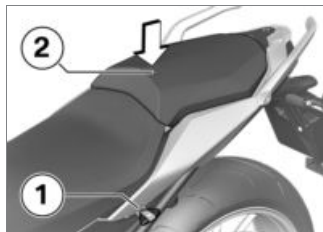
その際、ブレーキレバーを前へ押すとアジャストホイールを簡単に回すことができます。◀

» 4 種類の設定が可能です：

- **ポジション 1:** ハンドルグリップとブレーキレバー間の距離は最小
- **ポジション 4:** ハンドルグリップとブレーキレバー間の距離は最大

フロントおよびリヤシート リヤシートを取り外す

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。



- リヤシート **2** の前部を支えながら押し下げます。その際、シートロック **1** を車両キーを使用して左へ回して保持しておきます。
- リヤシート **2** の前部を持ち上げ、車両キーから手を放します。
- リヤシート **2** を取り外し、シートのカバー側を下にして、平坦で清潔な場所に置きます。

リヤシートを取り付ける



- 最初に、リヤシート **1** の後部をサポートの中にずらしします。
- リヤシート **1** 前部を力を込めて押し下げます。
- » リヤシートが音をたててかみ合います。

フロントシートを取り外す

- リヤシートを取り外す(▶▶▶ 82)。

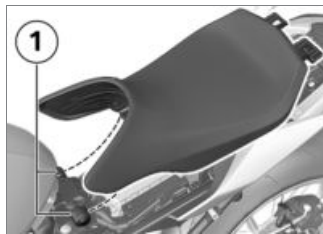
フロントシートはロック解除されています。

- フロントシート後部を取り外し、シートのカバー側を下にし

て、平坦で清潔な場所に置きます。

フロントシートを取り付ける

- リヤシートを取り外す(▶▶▶ 82)。



- フロントシートをフロント側サポート **1** にストップ位置まで押し込んでから、後部をのせます。

スプリングプリロード

– Dynamic ESA^{OE}非装備

調整

リヤホイールのスプリングプリロードを、モーターサイクルの積載荷重に合わせて調整してください。積載荷重が重くなれば、スプリングプリロードを高く調整し、重量が軽くなれば、それに合わせてスプリングプリロードも低く調整する必要があります。

スプリングプリロードを調整する（リヤホイール）

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。



⚠ 警告

スプリングプリロードとスプリングストラットダンピングの調整が適合していない。

走行特性の低下。

- スプリングストラットダンピングをスプリングプリロードに合わせて調整します。◀

⚠ 警告

走行中のスプリングプリロードの調整。

事故の危険

- スプリングプリロードの調整は、必ずモーターサイクルを停

止させた状態で行ってください。◀

- スプリングプリロードを低くするには、アジャストノブ **1** をLOW の矢印の方向へ回します。
- スプリングプリロードを高くするには、アジャストノブ **1** をHIGH の矢印の方向へ回します。

リヤスプリングプリロード基本調整

アジャストノブを「LOW」方向にストップ位置まで回します。(1 名乗車時、荷物積載なし)

アジャストノブを「LOW」方向にストップ位置まで回してから、「HIGH」方向に 15 回転回します。(1 名乗車時、荷物積載あり)



リヤスプリングプリロード基本調整

アジャストノブを「HIGH」方向にストップ位置まで回します。(後席乗車時、および荷物積載あり)

ショックアブソーバー

– Dynamic ESA^{OE}非装備

調整

ショックアブソーバーは、必ず路面状態およびスプリングプリロードに合わせて、調整してください。

- 凸凹のある路面では、平坦な路面の場合よりも、ショックアブソーバーはソフトに設定されている方が効果的です。
- スプリングプリロードが高い場合は、ショックアブソーバーもハードに調整し、スプリングプリロードが低い場合は、ショッ

クアブソーバーもソフトに調整する必要があります。

ショックアブソーバーを調整する（リヤホイール）

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。
- ショックアブソーバーの設定を車両の左側面から実行します。



- アジャストノブ **1** を時計回りに回し、ダンピングを高くします。

- アジャストノブ **1** を反時計回りに回し、ダンピングを低くします。 .

 リヤショックアブソーバーの基本調整

アジャストノブをストップ位置まで時計回りに回してから、反時計回りに 6 クリック分回します。(1 名乗車時、荷物積載なし)

アジャストノブをストップ位置まで時計回りに回してから、反時計回りに 4 クリック分回します。(1 名乗車時、荷物積載あり)

アジャストノブをストップ位置まで時計回りに回します。(後席乗車時、荷物積載あり)

走行

安全に関する注意事項.....	88
チェックリストを確認し、遵守 する	90
始動	91
慣らし走行	93
ギヤチェンジ	94
ブレーキ	95
駐車する	96
給油	97
モーターサイクルを搬送用に固定 します	101

安全に関する注意事項

ライダーエクイップメント

正しい装備品を装着 / 着用しない
でモーターサイクルに乗ることは、
極めて危険です。次のアイテムを、
必ず装着 / 着用してください。

- ヘルメット
- ライディングスーツ
- グローブ
- ブーツ

走行距離の長短や天候にかかわらず、
これらのアイテムは必ず装着 / 着用しな
ければなりません。BMW Motorrad デー
ラーは喜んでご相談に応じます。また、
それぞれの目的に合わせた、適切なア
イテムをご用意しています。

荷物の積み込み



警告

**積載超過や不均等な積載により、
走行安定性が損なわれる。**

転倒の危険

- 許容総重量を超えないようにし、
積載に関する注意をお守りください。◀
- スプリングプリロードおよび
ショックアブソーバーの設定を車両
重量に合わせて調整します。
- ケースの容量が左右均等になっ
ているか確認します。
- 重量が左右均等になっているか
確認します。
- 重いものはバッグの下部の内側
に入れます。
- ケース内の注意ラベルに記載され
ている最大積載荷重および最高速度
を遵守してください（「アクセサリ」
の章も参照）。

- トップケース^{OA}装備

- トップケース内の注意ラベルに記
載されている最大積載荷重および最
高速度を遵守してください（「アクセ
サリー」の章も参照）。◀

- スモールタンクバッグ^{OA} 装備

- スモールタンクバッグの最大積載
荷重および装着時の最高速度を確
認し、遵守してください。



タンクバッグ（スモ
ール）の積載荷重

max 5 kg



タンクバッグ（スモ
ール）を装着して走行
する場合の速度制限

max 180 km/h<

車速

高速走行時には、さまざまな周辺状況が、モーターサイクルの走行特性に悪影響を及ぼす可能性があります：

- － スプリングシステムおよびダンパーシステムの間違った調整
- － 荷物積載のアンバランス
- － 不適切な服装
- － タイヤ充填圧が低すぎる
- － タイヤトレッドの摩耗
- － その他

最高速度

危険

モーターサイクルの最高速度が、タイヤの許容最高速度を上回っている。

高速すぎる場合、タイヤの損傷による事故の危険。

- タイヤの許容最高速度を遵守してください。◀

許容最高速度を表示したステッカーを、見える位置に貼ってください。

有毒物質

排気ガスは無色無臭ですが、たいへん有毒な一酸化炭素を含有しています。

警告

健康を害するおそれのある排ガス。

窒息の危険

- 排ガスを吸い込まないようにしてください。
- 閉め切った場所で、エンジンを作動させないでください。◀

火傷の危険

注意

走行中、エンジンおよびエキゾーストシステムは極めて高温になります。

火傷の危険

- 車両を駐車した後、誰も、何も、エンジンやエキゾーストシステムに触れないように注意してください。◀

触媒コンバーター

ミスファイアーにより触媒コンバーターに未燃焼のガソリンが流入した場合、オーバーヒートや損傷が生じるおそれがあります。そのため、次の項目を守ってください。

- － フューエルタンクが空の状態で行かない。
- － スパークプラグコネクターを外したままエンジンを作動させない。
- － ミスファイアが発生した場合は、ただちにエンジンを停止させる。
- － 無鉛ガソリンのみを使用する。
- － 指定されているメンテナンススケジュールを遵守する。

**重要事項**

触媒コンバーター内の未燃焼燃料。

触媒コンバーターの損傷。

- 触媒コンバーターの保護のため、作動ポイントに注意してください。◀

オーバーヒート**重要事項**

長時間のアイドリング。

冷却が十分に行われないことによるオーバーヒート。極端なケースでは、車両火災が発生するおそれもあります。

- エンジンを不必要にアイドリングしたままにしないでください。
- エンジンを始動したら、ただちに発進してください。◀

改造**重要事項**

モーターサイクルの改造（例：エンジンマネジメントシステム、スロットルバタフライ、クラッチ）。

関連するコンポーネントの損傷、安全に関わる機能の故障。改造に起因する損傷の場合、保証は適用されません。

- いかなる改造も行わないでください。◀

チェックリストを確認し、遵守する

- モーターサイクルを定期的に点検するため、以下のチェックリストを使用してください。

走行開始のたびに：

- ブレーキシステムの機能
- 照明および信号装置の機能
- クラッチの機能を点検する(125)。

- タイヤのトレッド溝の深さを点検する(126)。
- ケースおよび荷物の確実な固定

燃料補給 3 回目ごと：

- Dynamic ESA^{OE}非装備
- スプリングプリロードを調整する（リヤホイール）(83)。◀
- Dynamic ESA^{OE}非装備
- ショックアブソーバーを調整する（リヤホイール）(85)。◀
- Dynamic ESA^{OE}装備
- フレームを調整する(70)。◀
- エンジンオイルレベルを点検する(119)。
- フロントブレーキパッド厚を点検します(121)。
- リヤブレーキパッド厚を点検します(122)。
- フロントブレーキフルードレベルを点検する(123)。
- リヤブレーキフルードレベルを点検する(124)。

- クーラントレベルを点検する(111 125)。

始動

エンジンを始動する

- イグニッションを ON にします。
- » Pre-Ride-Check が実行されます。(111 91)
- » ABS 自己診断が実施されます。(111 92)
- » ASC/DTC 自己診断が実施されます。(111 92)
- ニュートラルに設定するか、ギヤを入れた状態でクラッチを切ります。



注記

サイドスタンドを立てている状態でもギヤを入れることはできませんが、モーターサイクルを発進させることはできません。モーターサイクルをニュートラルで始動させ、サイドスタンドを

出した状態で 1 速に入れると、エンジンは停止します。◀

- コールドスタートおよび温度が低い場合：クラッチを引きます。



- スターターボタン 1 を押します。



注記

バッテリー電圧が十分でない場合、始動動作は自動的に中断されます。始動操作を続ける前に、バッテリーを充電するか、ジャンプスタートを行ってください。

詳細については、「メンテナンス」の章の「ジャンプスタート」を参照してください。◀

- » エンジンが始動します。
- » エンジンが始動しない場合は、「仕様 (諸元)」の章のトラブルシューティングをご覧ください。(111 176)

Pre-Ride-Check (走行前点検)

イグニッションを ON にすると、メーターパネルによって、メーターおよびインジケーター / 警告灯のテスト、いわゆる Pre-Ride-Check (走行前点検) が行われます。その終了前にエンジンを始動すると、テストは中断されます。

ステップ 1

速度表示の指針がストップ位置まで動きます。同時にすべてのインジケーター / 警告灯が順に点灯します。ジェネラル警告灯 (赤) が点灯します。

ステップ 2

速度表示の指針が初期位置まで動きます。同時にすべての作動しているインジケーター / 警告灯が次々と逆の順序で消灯します。ジェネラル警告灯が赤から黄に変わります。

速度表示の指針が動かない、または、インジケーター / 警告灯が ON にならない場合：



警告

警告灯の故障。

機能障害の表示が出ない。

- すべての警告灯およびインジケーターの表示に注意します。◀
- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

ABS 自己診断

BMW Motorrad Integral ABS の作動可能状態が自己診断によって点検されます。自己診断は、イグニッションを ON にすると自動的に始まります。

ステップ 1

- » 診断可能なシステムコンポーネントを停止状態で点検します。



点滅します。

ステップ 2

- » 発進時のホイール回転数センサーの点検。



点滅します。

ABS 自己診断が終了

- » ABS 警告灯が消灯します。
- すべての警告灯およびインジケーターの表示に注意します。



ABS 自己診断が終了して
いません

ABS は、自己診断が終了しなかったため、使用できません。(ホイール回転数センサーを点検するには、モーターサイクルが最低速度に達する必要があります：5 km/h)

ABS 自己診断の終了後に、ABS の故障が表示される場合：

- 走行を続けることは可能です。ABS もインテグラル機能も使用できないことに注意してください。
- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

ASC/DTC 自己診断

BMW Motorrad ASC/DTC が作動可能状態にあるかどうか、自己診断により点検されます。自己診

断は、イグニッションを ON にすると自動的に始まります。

ステップ 1

- » 診断可能なシステムコンポーネントを停止状態で点検します。



ゆっくりと点滅します。

ステップ 2

- » 走行中に診断可能なシステムコンポーネントを点検します。



ゆっくりと点滅します。

ASC/DTC 自己診断が終了

- » ASC/DTC 警告灯が消灯。
- すべての警告灯およびインジケーターの表示に注意します。



ASC/DTC 自己診断が終了していません

ASC/DTC は、自己診断が終了しなかったため、使用できません。(ホイール回転数センサーを点検するには、モーターサイクルが最低速度に達する必要があります: 5 km/h)

ASC/DTC 自己診断の終了後に、ASC/DTC の故障が表示される場合:

- 走行を続行することは可能です。ASC/DTC 機能が使用できないことに注意してください。
- できる限り早く、BMW Motorrad ディーラーに故障の修理を依頼してください。

慣らし走行

エンジン

- 最初の慣らし運転までは、負荷範囲とエンジン回転数域を頻繁に変化させてください。一定の回転数での長時間の走行は避けてください。
- カーブが多く、なだらかな坂のある道を選び、十分に慎重な走行をするようにしてください。
- 慣らし走行中のエンジン回転数を遵守してください。



慣らし走行中のエンジン回転数

<5000 min⁻¹ (走行距離 0...1000 km)

フルロードなし (走行距離 0...1000 km)

- 慣らし運転を行う際に従うべき走行距離を守ってください。



慣らし運転までの走行
距離

500...1200 km

ブレーキパッド

新品のブレーキパッドは、最適な摩擦력에達するまで、慣らし走行が必要です。この段階のブレーキの効きの弱さは、ブレーキレバーを強く握ることで補うことができます。



警告

新しいブレーキパッド。
制動距離の延長。事故の危険。

- 早めにブレーキングしてください。◀

タイヤ

新しいタイヤの表面はきわめてなめらかな状態です。したがって、表面が適度に荒れるまで、慎重に慣らし走行を行う必要があります。タイヤの持つ最大のグ

リップ力を引き出すためには、この慣らし手順を必ず実行してください。



警告

路面が濡れている場合や著しく傾斜している場所で新しいタイヤのグリップが失われる。

事故の危険

- よく前方に注意して走行し、急な傾斜のある場所は回避してください。◀

ギヤチェンジ

ーギヤシフトアシストPro^{OE} 装備

シフトアシストPro

ギヤシフトアシスト Pro はシフトアップ/シフトダウンにおいてライダーをサポートするものです。シフトアップ/シフトダウンの際に、クラッチやスロットルグリップを操作する必要があります。オートマチックは関係がありません。ライダーがシステ

ムの重要な構成要素であり、シフトを行う時点を決めます。



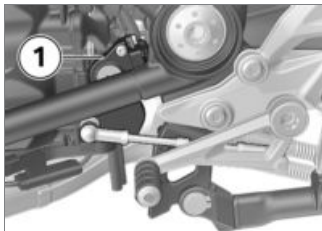
注記

ギヤシフトアシストPro に関する詳しい情報については、「技術情報」の章を参照してください。◀



注記

ギヤシフトアシストPro を使用してギヤシフトを行う場合には、安全上の理由から、クルーズコントロールは自動的に OFF になります。◀



- ギヤ入れは従来どおりシフトレバーを踏み込んで行います。
- » シフトシャフトのセンサー **1** がシフトの希望を検知し、シフトサポートを介入させます。
- » 定速走行時にローギヤのまま高回転域に達している場合、クラッチ操作なしでのギヤシフトは過度な荷重移動による反応を招くおそれがあります。BMW Motorrad は、このような走行条件においてはクラッチ操作を伴うシフト切替のみをお勧めします。限度回転域におけるシフトアシストProの使用は避けてください。

» 以下の状況では、シフトアシストは作動しません：

- － クラッチが操作されている場合
- － シフトレバーが初期位置にない場合
- － スロットルバタフライを閉じた状態（惰性走行）または減速時のシフトアップ。
- ギヤシフトアシストPro を使用してさらにギヤ切替を行えるようにするには、シフト動作後に、シフトレバーにかかる負荷を完全に解除しなければなりません。

ブレーキ

制動距離を最短にするには？

フロント / リヤホイール間の力学的な負荷配分は、ブレーキングによって変わります。ブレーキングが強くなるほど、フロントホイールにはより大きな負荷がかかります。そしてホイールにかかる負荷が大きくなるほど、よ

り大きなブレーキフォースが伝達されます。

制動距離を最短にするには、徐々に強くなるようフロントブレーキをかける必要があります。それにより、フロントホイールにかかる負荷の力学的な増加が、最も効果的に利用されます。同時に、クラッチは切っておく必要があります。しばしばトレーニングされる極端なフルブレーキでは、ブレーキ圧ができるかぎり早急に最大の力で生成されます。力学的な負荷配分が減速に追いつけなくなり、制動力を完全には路面に伝達できなくなります。

フロントホイールのロックは、BMW Motorrad Integral ABS によって回避されます。

下り坂



警告

山道や狭い通路などを抜けるときにリヤブレーキのみをかける。

ブレーキが効かなくなる。オーバーヒートによるブレーキの破損。

- フロントおよびリヤブレーキを作動させて、エンジンブレーキを使用してください。◀

濡れて汚れたブレーキ

ブレーキディスクやブレーキパッドが濡れていたり汚れていたりすると、ブレーキの効きが悪くなります。

以下の状況では、ブレーキの効きが遅れたり悪くなったりすることを、必ず考慮してください：

- －雨天走行時や、水たまりの中を走行した場合。
- －洗車の後。
- －塩が撒かれた路面を走行したとき。
- －ブレーキ関連作業の後で、オイルやグリースの残留物による。
- －汚れた路面を走行したとき。



警告

水分や汚れの付着。

ブレーキの効きの低下。

- ブレーキを乾燥させて汚れをとり、必要に応じて清掃します。
- 再び制動力を完全に発揮できるようになるまでは、ブレーキを早めに操作してください。◀

駐車する

サイドスタンド

- エンジン进行停止させます。



重要事項

スタンドを使用している路面の状態が悪い。

転倒によるコンポーネントの損傷。

- スタンドを立てる路面が、平坦で固くしっかりとしているか確認してください。◀



重要事項

追加重量によるサイドスタンドの負荷。

転倒によるコンポーネントの損傷。

- 車両がサイドスタンドで立てられている状態のときには、着座しないでください。◀
- サイドスタンドを出し、モーターサイクルを立てます。
- 路面の傾斜に無理がなければ、ハンドルバーを左へ回しておきます。
- 下り坂では、モーターサイクルを上る方向に向けて、1速に入れます。

センタースタンド

- －センタースタンド^{OE}装備
- エンジン进行停止させます。



重要事項

スタンドを使用している路面の状態が悪い。

転倒によるコンポーネントの損傷。

- スタンドを立てる路面が、平坦で固くしっかりとしているか確認してください。◀



重要事項

急な動きが加えられるとメイン（センター）スタンドが折りたたまれる。

転倒によるコンポーネントの損傷。

- メイン（センター）スタンドを立てた状態で、車両に着座しないでください。◀
- メイン（センター）スタンドを出し、モーターサイクルを立てます。

- 下り坂では、モーターサイクルを上る方向に向けて、1 速に入れます。

給油

燃料品質

最適な燃費となるよう、硫黄フリーの、またはできる限り硫黄が少ない燃料を使用してください。



重要事項

有鉛ガソリン。

触媒コンバーターの損傷。

- 有鉛ガソリンやマンガン / 鉄などの金属添加物を含む燃料は決して給油しないでください。◀
- エタノールの割合が最大で 10%、つまり E10 燃料を使用することができます。



推奨フューエルグレード

無鉛プレミアムガソリン（ハイオク）（最大 10%エタノール、E10）

95 ROZ/RON

89 AKI

給油手順



警告

燃料は容易に引火します。

火災および爆発の危険。

- 燃料タンクですべての操作を行うときは禁煙かつ裸火は禁止です。◀



警告

燃料タンクの充填量が多すぎると、熱の影響で燃料が膨張した場合に漏れる。

転倒の危険

- フューエルタンクを充填しすぎないでください。◀

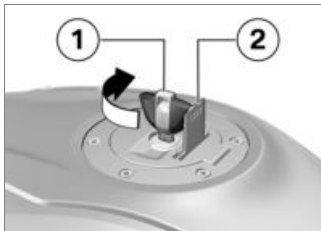


重要事項

燃料がプラスチック製の表面に触れる。

表面が見苦しくなる、またはつやのない状態になる。

- プラスチック部品が燃料に触れた場合は、ただちに清掃します。◀
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをサイドスタンドで立てます。



- 保護キャップ **2** を開きます。
- フューエルタンクのキャップを、車両キー **1** を時計回りに回してロック解除し、開きます。



- 前述のグレードのフューエルをフィラーネックの下端 (MAX 位置) まで補給します。



注記

フューエルリザーブ容量を下回った後に給油を行う場合、給油後の総容量がフューエルリザーブ容量を上回る必要があります。これにより新たな充填レベルが検知され、燃料残量警告灯が消灯します。◀



注記

仕様（諸元）に記載されている「フューエル容量」は、フューエ

ルタンクが空になっているとき、すなわち燃料不足でエンジンが停止したときに給油できる燃料の量です。◀

 フューエル容量
約 18 l
 フューエルリザーブ容量
約 4 l

- フューエルタンクキャップを強く押して閉めます。
- 車両キーを抜き取り、保護キャップを閉めます。

給油手順

－ Keyless Ride^{OE}装備

ステアリングロックはロック解除された状態です。



警告

燃料は容易に引火します。

火災および爆発の危険。

- 燃料タンクですべての操作を行うときは禁煙かつ裸火は禁止です。◀



警告

燃料タンクの充填量が多すぎると、熱の影響で燃料が膨張した場合に漏れる。

転倒の危険

- フューエルタンクを充填しすぎないでください。◀



重要事項

燃料がプラスチック製の表面に触れる。

表面が見苦しくなる、またはつやのない状態になる。

- プラスチック部品が燃料に触れた場合は、ただちに清掃します。◀

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをサイドスタンドで立てます。
- イグニッションスイッチを OFF にする(➡ 49)。



注記

イグニッションを OFF にした後、無線キーが受信範囲内にならない場合でも、タンクキャップを特定のアフターランニング時間以内に開くことができます。◀



タンクキャップを開くためのアフターランニング時間

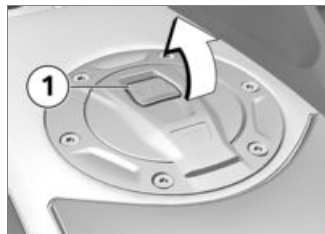
2 min

- » タンクキャップは、以下の**2 つの方法**で開くことができます：
- － アフターランニング時間内
 - － アフターランニング時間の経過後

バリエーション 1

－ Keyless Ride^{OE}装備

アフターランニング時間内：



- タンクキャップのタブ **1** をゆっくりと引き上げます。
- » タンクキャップはロック解除されています。
- タンクキャップを完全に開きます。

バリエーション 2

－ Keyless Ride^{OE}装備

アフターランニング時間の経過後：

- 無線キーを受信範囲内に持ち込みます。
- タブ **1** をゆっくりと引き上げます。
- » 無線キーを検索している間は、無線キー用表示灯が点滅します。
- タンクキャップのタブ **1** を再びゆっくりと引き上げます。
- » タンクキャップはロック解除されています。
- タンクキャップを完全に開きます。



- 前述のグレードのフューエルリザーブ容量をフィラーネックの下端 (MAX 位置) まで補給します。



注記

フューエルリザーブ容量を下回った後に給油を行う場合、給油後の総容量がフューエルリザーブ容量を上回る必要があります。これにより新たな充填レベルが検知され、燃料残量警告灯が消灯します。◀



注記

仕様（諸元）に記載されている「フューエル容量」は、フューエ

ルタンクが空になっているとき、すなわち燃料不足でエンジンが停止したときに給油できる燃料の量です。◀

 フューエル容量
約 18 l
 フューエルリザーブ容量
約 4 l

- フューエルタンクのタンクキャップを、力を込めて下へ押します。
- » タンクキャップが音とたててはまります。
- » アフターランニング時間の経過後、タンクキャップが自動的にロックします。
- » しっかりとかみ合ったタンクキャップは、ハンドルロックのロックまたはイグニッション

ON に伴い、ただちにロックがかかります。

モーターサイクルを搬送用に固定します

- テンションストラップが取り回されているすべてのコンポーネントを、損傷しないように保護します（接着テープや柔らかなウエスなどを使用してください）。

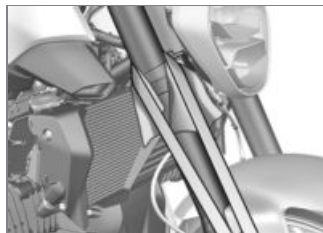


重要事項

リフトアップのときに車両が左右に傾く。

転倒によるコンポーネントの損傷。

- 車両が倒れないよう、サポートする方と一緒に作業するようにしてください。◀
- モーターサイクルを搬送用プレートの上へ移動させます。サイドスタンドやメイン（セクター）スタンドで立てないでください。

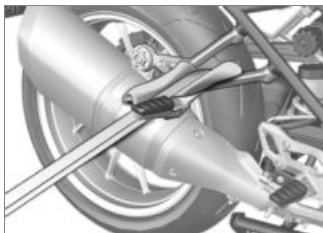


重要事項

コンポーネントの挟み込み。
コンポーネントの損傷

- ブレーキラインやケーブルなどのコンポーネントを挟み込まないようにしてください。◀
- フロント側テンションストラップをロワフォークブリッジ左右に取り付けます。
- テンションストラップを下方向にピンと張ります。

ぎりしっかりと固定されるようにします。



- リヤ側テンションストラップをパッセンジャー用フットレスト部分に取り付けて固定し、ピンと張ります。
- すべてのテンションストラップを均等に張り、車両ができるか

技術情報

一般的な情報	104
アンチロックブレーキシステム	104
オートマチックスタビリティコントロール	106
ダイナミックトラクションコントロール	108
Dynamic ESA	109
走行モード	110
タイヤ空気圧コントロール	111
シフトアシストPro	112

一般的な情報

技術に関するさらに詳しい情報については、以下を参照してください：

**bmw-motorrad.com/
technology**

アンチロックブレーキシステム

パーシャリーインテグラルブレーキ

このモーターサイクルには、パーシャリーインテグラルブレーキが装備されています。このブレーキシステムでは、ブレーキレバーを操作するとフロント / リアホイールのブレーキが一緒に作動します。ブレーキペダルを操作した場合は、リヤブレーキのみの作動となります。

BMW Motorrad Integral ABS は、できるかぎり制動距離を短くするため、ABS 制御によるブレーキング中のフロント / リヤブレー

キ間の制動力配分を、モーターサイクルの荷重条件に合わせて行います。



重要事項

フロントブレーキをかけたときの後輪の空転 (Burn Out) が、インテグラル機能によりできない。

リヤブレーキおよびクラッチの損傷。

- Burn Out を行わないでください。◀

ABS はどのように機能するのでしょうか？

路面に伝達される最大ブレーキフォースは、様々な要因の中でも、路面の摩擦係数に依存しています。砂利、凍結、雪、水に覆われた路面の摩擦係数は、乾いた、クリーンなアスファルトの路面に比べてはるかに低いものになります。路面の摩擦係数が低く

なるほど、制動距離は長くなります。

ライダーがブレーキ圧を上げたときに、路面にかかる最大ブレーキフォースが限界を越えると、ホイールがロックし、方向安定性が失われます。そのため、転倒するおそれがあります。この状況が発生する前に、ABS が作動して、ブレーキ圧が最大制動力に調整されます。そのためホイールは回転し続け、走行安定性は路面状態にかかわらず保持されます。

凸凹のある路面で起こることは？

起伏や凸凹のある路面によって、タイヤと路面のコンタクトが一時的に失われ、その結果、伝達されるブレーキフォースがゼロに落ち込むということが起こります。このような状況でブレーキングが行われる場合、路面とのコンタクトが復活したときに走行安定性を確保するため、ABS は

ABS はどのように設計されているのでしょうか？

ABS は、物理的限界内で、さまざまな路面における走行安定性を確保するためのものです。このシステムは、レーストラックの過酷な状況で生じるような、特別な要求を満たすために設計されたものではありません。走行の仕方は、走行能力および路面状態に基づいて調整する必要があります。

特殊な状況

ホイールのロックを検知するために、特にフロントホイールとリヤホイールの回転数が比較されます。比較的長時間にわたり、正常でない値が検知されると、安全のためにABS が停止し、ABS の故障が表示されます。エラーメッセージの表示には、自己診断が終了していることが前提となります。

すでに生成されているブレーキ圧が背圧として感じられます。

リヤホイールの浮き上がり

減速力が著しく強く、かつ、減速が迅速な場合、状況によってはABS はリヤホイールの浮き上がりを回避できないことがあります。このような場合、モーターサイクルの横転もありえます。



警告

急激なブレーキによるリヤホイールの浮き上がり。

転倒の危険

- 急ブレーキの際には、ABS 制御は、必ずしも常にリヤホイールの浮き上がりを防ぐものではないことに注意してください。◀

ブレーキ圧を下げる必要があります。このときABS は、想定しうるいかなる状況においてもホイールが回転し、それによりモーターサイクルの安定性が確実になるよう、摩擦係数（砂利、凍結、雪の場合）をかなり低く見積もっています。実際の状況が明らかになった後、システムはブレーキ圧を最適な値にセットしなおします。

ABS の作動は、ライダーにとってどのように感じられるのでしょうか？

前述の状況により、ABS システムが制動力を制限する必要がある場合、ブレーキレバーに振動が感じられます。

ブレーキレバーを操作すると、インテグラル機能によりリヤホイールでもブレーキ圧が生成されます。その後ブレーキペダルを操作すると、ブレーキペダルをブレーキレバー操作の前または同時に操作したかのように、

ABS の問題の他にも、特殊な走行状態が原因でエラーメッセージが表示される場合があります：

- ーメイン（センター）スタンドで立てたまま、ニュートラル位置またはギヤを入れた状態でウォームアップ
- ーエンジンブレーキによる長時間のリヤホイールのロック（オフロード走行時の滑りやすい路面においてなど）

通常とは異なる走行状態によりエラーメッセージが表示された場合には、イグニッションを OFF / ON にすることにより、ABS を再び作動させることができます。

定期的なメンテナンスの役割りとは？



警告

定期的にメンテナンスされていないブレーキシステム。

事故の危険

- ABS を確実に最適な整備状態にしておくために、規定の定期点検時期を必ず遵守してください。◀

安全を確保するための予防措置

ABS により制動距離が短くなるからといって、不用意にブレーキングすることは避けなければなりません。あくまでも緊急事態においてより高い安全性を確保するためのものなのです。



警告

コーナーにおけるブレーキング。

ABS を装備していても事故の危険性はあります。

- どのような走行スタイルを適切とするか、ライダーの責任が問われます。
- 安全のためのサポート機能を、リスクな走行により制限しないでください。◀

オートマチックスタビリティコントロール

ASC はどのように機能するのでしょうか？

ASC は、フロントホイールとリヤホイールのホイールスピードを比較します。スピードの差からスリップを、さらにリヤホイールの安定性レベルを算出します。スリップ限界値を超えると、エンジンマネジメントシステムがエンジントルクを調整します。

ASC はどのように設計されているのでしょうか？

ASC は、公道走行時にライダーをサポートするアシストシステムとして設計されています。特に物理的制限領域では、ライダーがASC の制御性能に大きな影響を与えます（コーナーでの荷重移動、積載状態など）。このシステムは、レーストラックの過酷な状況で生じるような、特

別な要求を満たすために設計されたものではありません。このような場合は、ASC を OFF にできます。



警告

リスクな走行。

ASC を装備していても事故の危険性があります。

- どのような走行スタイルを適切とするか、ライダーの責任が問われます。
- 安全のためのサポートを、リスクな走行により制限しないでください。◀

特殊な状況

車体の傾きが増すにつれ、物理的法則に従って、加速はますます強く制限されます。このため、非常にタイトなコーナーでは加速が遅れる場合があります。

リヤホイールの回転（空転）やスリップを検知するため、特にフロントおよびリヤホイールの回転数が比較されます。比較的長時間にわたり、正常でない値が検知されると、安全のためにASC機能が停止し、ASCの故障が表示されます。エラーメッセージの表示には、自己診断が終了していることが前提となります。

以下のような特殊な走行状態では、ASCが自動的にOFFになる場合があります：

- ー 長時間の後輪走行（ウィーリー）
- ー フロントブレーキをかけた際、その場で後輪が回転（空転）（バーンアウト）
- ー センタースタンドまたは補助スタンドで車両を立てた状態で、ニュートラルでまたはギヤを入れて暖機運転する

イグニッション OFF / ON を行い、最低速度で走行すると、ASC は再び ON の状態になります。



ASC を ON にするための最低速度

min 10 km/h

極端な加速によってフロントホイールの接地が失われた場合には、フロントホイールが路面を再び確実に捉えるようになるまで、ASC がエンジントルクを抑えます。

このような場合、BMW Motorrad は、スロットルグリップを少し戻して車両をできるだけ早く安定した運転 / 走行状態に戻すよう、お勧めします。

滑りやすい路面で、クラッチを切らずに突然スロットルグリップを完全に戻すことは決してしないでください。エンジンブレーキトルクによりリヤホイールがロックされ、不安定な運転 / 走行状

態に陥る場合があります。このような状態では、ASC による補正を行うことはできません。

ダイナミックトラクションコントロール

ーダイナミックトラクションコントロール (DTC)^{OE}装備

DTC はどのように機能するのでしょうか？

DTC は、フロントホイールとリヤホイールのホイールスピードを比較します。スピードの差からスリップを、さらにリヤホイールの安定性レベルを算出します。スリップ限界値を超えると、エンジンマネジメントシステムがエンジントルクを調整します。

DTC はバンクセンサーを備えており、コーナーにおいてホイールスリップを高精度で制御することができます。それにより、同じ安定性を維持したままで、

ダイナミックな運転 / 走行状態が可能です。DYNAMIC モードでは、DTC のサポートにより、軽いウィーリー走行を行うことができます。

DTC はどのように設計されているのでしょうか？

DTC は、公道走行時にライダーをサポートするアシストシステムとして設計されています。特に物理的制限領域では、ライダーがDTC の制御性能に大きな影響を与えます（コーナーでの荷重移動、積載状態など）。

このシステムは、レーストラックの過酷な状況で生じるような、特別な要求を満たすために設計されたものではありません。このような場合には、DTC を OFF にすることができます。



警告

リスクな走行。

DTC を装備していても事故の危険性はあります。

- どのような走行スタイルを適切とするか、ライダーの責任が問われます。
- 安全のためのサポートを、リスクな走行により制限しないでください。◀

特殊な状況

車体の傾きが増すにつれ、物理的法則に従って、加速はますます強く制限されます。このため、非常にタイトなコーナーでは加速が低減される場合があります。

リヤホイールの回転（空転）やスリップを検知するため、特にフロントホイールとリヤホイールの回転数が比較され、バンク角が考慮されます。一定の時間以上、検出される値が正常でない場合には、バンク角用に代替値が使用されるか、DTC 機能が OFF になります。この場合には、DTC の不具合が表示されま

す。エラーメッセージの表示には、自己診断が終了していることが前提となります。

走行モードがRAIN やROAD の場合にはフロントホイールが浮き上がったときにDTC がエンジントルクを低減させるとともにフロントホイールを迅速に路面に再び接地させる一方、DYNAMIC モードではDTC のサポートにより軽くウィーリー走行を行うことができます。

次のような、通常とは異なる運転 / 走行状態では、DTC のエラーメッセージが出ることがあります。

特殊な運転 / 走行状態：

- ー 長時間の後輪走行（ウィーリー）。
- ー フロントブレーキをかけた際、その場で後輪が回転（空転）（バーンアウト）。
- ー 補助スタンドを立てたまま、ニュートラル位置またはギヤ

を入れた状態でウォームアップ。

イグニッション OFF / ON を行い、最低速度で走行すると、DTC は再び ON の状態になります。

	DTC を ON にするため の最低速度
min 10 km/h	

極端な加速によってフロントホイールの接地が失われた場合には、フロントホイールが路面を再び確実に捉えるようになるまで、DTC がエンジントルクを抑えます。

このような場合、BMW Motorrad は、スロットルグリップを少し戻して車両をできるだけ早く安定した運転 / 走行状態に戻すよう、お勧めします。

滑りやすい路面で、クラッチを切らずに突然スロットルグリップを完全に戻すことは決してしないでください。エンジンブレーキトルクによりリヤホイールが滑り、不安定な運転 / 走行状態に陥場合があります。このような状態では、DTC による補正を行うことはできません。

Dynamic ESA

ー Dynamic ESA^{OE}装備

調整

電子調整式サスペンションDynamic ESA を使用して、モーターサイクルを積載条件や道路状況に快適に適合させることができます。

Dynamic ESA は車高レベルセンサーを介してフレームの動きを検知し、それに反応してショックアブソーバーバルブを調整します。これにより、サスペンションは路面状況に適合するように調整されます。

基本設定 (ROAD) からダンピングをよりハード (DYNAMIC) に調整することができます。

走行モード

選択

モーターサイクルを路面状態に合わせるため、4 つの走行モードから選択することができます：

RAIN

ROAD (標準モード)

ー 走行モードPro^{OE}装備

DYNAMIC

USER

それぞれの走行モードは、モーターサイクルの挙動にさまざまな方法で影響を及ぼします。走行モードRAIN、ROAD、DYNAMIC用に、ASC/DTC およびENGINE (スロットルレスポンス) のシステムについて調整されている設定があります。最後に選択された走行モードは、イグニッション

ンをOFF / ONにした後、自動的に再び作動状態になります。基本的には、選択されたモードがよりダイナミックになるほど、ASC/DTC によるサポートはより控えめになります。そのため、走行モードを選択する際には、設定をよりダイナミックにするほど、より高度なライディング能力が必要となることを考慮してください。

スロットルレスポンス

ー RAIN モード：控えめ

ー ROAD モード：ダイレクト

ー モードDYNAMIC：ダイナミック

RAIN モード

ASC/DTC システムの介入は、リヤホイールの空転を避けられるように早めに行われます。車両は、摩擦係数が大から中程度 (乾燥した、および濡れたアスファルトから乾燥した敷石舗装まで) の路面上では、極めて安定して

います。滑りやすい路面 (濡れたビチューメンや濡れた敷石舗装) でのみ、リヤの動きがはっきりと感じ取れます。

ROAD モード

ASC/DTC システムの介入は、RAIN モードの場合よりも遅くなります。車両は、摩擦係数が大から中程度 (乾燥した、および濡れたアスファルトから乾燥した敷石舗装まで) の路面上では、安定しています。リヤホイールで軽いドリフトの動きが感じられます。滑りやすい路面 (濡れたビチューメンや濡れた敷石舗装) では、リヤの動きがはっきりと感じ取れます。

ー 走行モードPro^{OE}装備

DYNAMIC モード

DYNAMIC モードは最もスポーティなモードです。ASC/DTC システムの介入はさらに遅く、それにより乾いたアスファルト上でも、コーナーにおける著しい加

速によるドリフトが可能となります。

USER モード

USER モードでは、DTC とENGINE を個別に調整することができます。

- ENGINE: RAIN、ROAD、DYNAMIC 間で選択可能
 - DTC: RAIN、ROAD、DYNAMIC 間で選択可能
- 変更されたUSER 設定は次回の変更まで保存されます。

切替

走行中の走行モードの変更は、以下の前提条件においてのみ可能です：

- リヤホイールにドライビングトルクがかかっていない
- ブレーキシステム内でブレーキ圧が生成されていない

この作動状態は、車両がイグニッション ON の状態のときのみです。またはその代わりに、以

下のステップを実行する必要があります：

- スロットルグリップを回し戻す
- ブレーキレバーを操作しない

ご希望の走行モードをまず事前に選択します。該当するシステムが必要とされる状態になって初めて、切替が行われます。

タイヤ空気圧コントロール

- タイヤ圧コントロール (RDC) OE 装備

機能

タイヤにはセンサーが各ひとつずつ装備されており、このセンサーがタイヤ内部のエア温度と充填圧を測定してコントロールユニットに伝送します。センサーには遠心ガバナールが装備されており、これにより最初に最低速度を越えた時点で測定値の伝送が行われ始めます。



RDC 測定値の伝送のための最低速度：

min 30 km/h

タイヤ充填圧が最初に受信される前は、ディスプレイにはタイヤごとに-- が表示されます。停車後、センサーはさらに一定の時間、測定値を伝送します。



車両停止後、測定値の伝送にかかる時間：

min 15 min

RDC コントロールユニットが装備されているが、ホイールにセンサーが取り付けられていないという場合には、エラーメッセージが出ます。

タイヤ充填圧の領域

RDC コントロールユニットは、車両に適合した 3 つの充填圧領域を識別します：

- 充填圧が許容範囲内にある
- 充填圧が許容限界域にある
- 充填圧が許容範囲外にある

温度補正

タイヤ充填圧は温度に依存しています。すなわち、タイヤ温度が上昇するとタイヤ充填圧は増加し、タイヤ温度が下がると減少します。タイヤ温度は外気温度、ドライビングスタイルおよび走行時間に応じて変化します。

	タイヤ充填圧は、マルチファンクションディスプレイ内で温度校正して表示されます。また、常に以下のタイヤ内の空気温度と関連しています：
	20 °C

ガソリンスタンドの空気圧テスターでは温度補正は行われず、測定されたタイヤ充填圧はタイヤ温度に左右されます。そのため、そこで表示される値は、大抵の場合、マルチファンクション

ディスプレイに表示された値とは一致していません。

充填圧の調整

マルチファンクションディスプレイのRDC 値と Rider's Manual の裏表紙に記載されている値とを比較してください。これらの値の偏差は、ガソリンスタンドの空気圧テスターで補正する必要があります。

	例
	Rider's Manual によれば、タイヤ充填圧は以下の数値になるはずです：
	2.5 bar
	マルチファンクションディスプレイには以下の数値が表示されています：
	2.3 bar

	例
	すなわち不足しています：
	0.2 bar
	ガソリンスタンドのテスターでは次の表示になっています：
	2.4 bar
	正しいタイヤ充填圧にするため、これを以下の数値にまで上げなければなりません。
	2.6 bar

シフトアシストPro

- ギヤシフトアシストPro^{OE} 装備

この車両には、もともとレンシュポルト（レーシングスポーツ）において開発されたギヤシフトアシスト Pro が装備されています。これにより、全負荷域および全回転域において、シフトアップ/シフトダウンをクラッチ操

作およびスロットル操作なしで行うことができます。

利点

- ー 走行時における全シフト動作の 70～80 %をクラッチ操作なしで行うことができます。
- ー シフト待ち時間が短くなり、ライダーとパッセンジャー間の動きが少なくてすみます。
- ー 加速時にスロットルバタフライを閉じる必要がありません。
- ー 減速およびシフトダウン（スロットルバタフライは閉じた状態）の際には、ダブルクラッチにより回転数の調整を行います。
- ー 切替時間はクラッチ操作に伴うシフト動作と比べて短くなります。

希望のシフトが検知されるように、シフトレバーを事前に操作しない状態からアクムレーターのスプリングの抵抗を感じる「切替位置」に向かって操作しま

す。この操作は通常、素早く希望の方向に行い、シフト動作が終了するまで保持している必要があります。シフト動作中にシフト力をさらに高める必要はありません。ギヤシフトアシストProを使用してさらにギヤ切替を行えるようにするには、シフト動作後に、シフトレバーにかかる負荷を完全に解除する必要があります。ギヤシフトアシストProを使用してのシフト動作では、シフト動作前およびシフト動作中の負荷の状態（スロットルグリップ位置）を、その都度、一定に保つ必要があります。シフト動作中にスロットルグリップ位置が変わると、機能の中断および/またはミスシフトを招くおそれがあります。クラッチ操作を伴うシフト動作では、ギヤシフトアシストProによるサポートは行われません。

シフトダウン

シフトダウンは、ターゲットギヤにおける最高回転数に達するまでサポートされます。これにより、過回転も避けられます。



最高回転数

max 9000 min⁻¹

シフトアップ

シフトアップ時にアイドルリング回転数が下がることにより、ギヤシフトアシストProによるサポートは行われません。



アイドルリング回転数

1150 min⁻¹ (エンジン作動温度時)

メインテナンス

一般的な情報	116
ツールキット	116
フロントホイールスタンド	116
リヤホイールスタンド	118
エンジンオイル	119
ブレーキシステム	120
クラッチ	125
クーラント	125
リムとタイヤ	126
ホイール	127
マフラー	134
バルブ	135
始動補助	146
バッテリー	148
ヒューズ	152

一般的な情報

「メインテナンス」の章では、簡単に実施できる消耗部品の点検および交換作業について説明します。

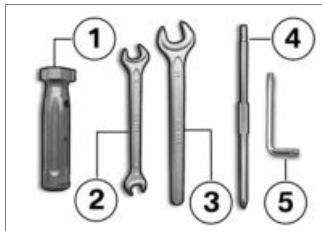
取り付ける際に専用の締め付けトルクがある場合には、規定締め付けトルクも記載されています。必要なすべての締め付けトルクを記した一覧表が「仕様（諸元）」の章にあります。

メインテナンスおよび修理作業に関するさらに詳しい情報については、BMW Motorrad ディーラーにてDVD で入手することができます。

いくつかの作業の実施にあたっては、スペシャルツールと確かな専門知識が必要です。疑問に思われることが生じた場合には、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

ツールキット

標準スペシャルツールキット



- 1 ドライバーグリップ
- 六角レンチの使用。
- エンジンオイルを補充する (▶▶ 120)。
- 2 オープンエンドレンチ
口径 8/10
- バッテリーを取り外す (▶▶ 150)。
- 3 オープンエンドレンチ
口径 14
- ミラーアームを調整する (▶▶ 80)。

- 4 リバーシブルブレードドライバースターター
プラス溝 PH1 およびトルクス T25
- フロント / リヤウインカー用バルブを取り外す (▶▶ 143)。
- バッテリーカバーを取り外す (▶▶ 150)。
- 5 トルクスレンチ T40
- 光軸を調整する (▶▶ 81)。

フロントホイールスタンド フロントホイールスタンドを取り付けます

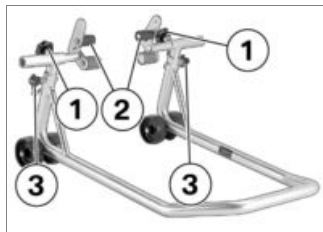


重要事項

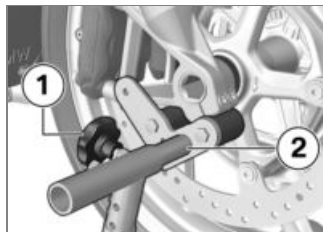
追加のメイン（センター）スタンドまたは補助スタンドなしでのBMW Motorrad フロントホイールスタンドの使用。

転倒によるコンポーネントの損傷。

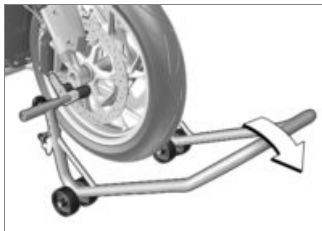
- モーターサイクルは、BMW Motorrad フロントホイールスタンドでリフトアップする前に、メイン（センター）スタンドまたは補助スタンドで立ててください。◀
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをメイン（センター）スタンドで立てます。
- ベーススタンドを、フロントホイールサポートと共に使用します。ベーススタンドおよびその備品はBMW Motorrad ディーラーから入手できます。



- ボルト固定部 **1** をゆるめま
- 両方のサポート部 **2** を外側へ押して、フロントサスペンションが間に収まるようにします。
- フロントホイールスタンドを、固定ピン **3** を使用してご希望の高さに調整します。
- フロントホイールスタンドをフロントホイールのセンターに合わせ、フロントアクスルに押し込みます。



- 両方の支持部 **2** を、フロントホイールガイドが確実に取り付けられるように調整します。
- 固定ボルト **1** を締め付けます。



重要事項

モーターサイクルをリフトアップし過ぎるとメイン（センター）スタンドが外れる。

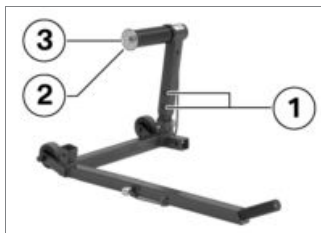
転倒によるコンポーネントの損傷。

- リフトアップの際には、メイン（センター）スタンドが常に接地しているように注意してください。◀
- フロントホイールスタンドを左右均等に押し下げ、モーターサイクルを持ち上げます。

リヤホイールスタンド

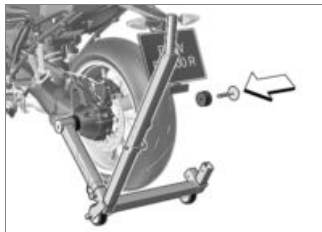
リヤホイールスタンドを取り付ける

- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルを駐車します。
- ベーススタンドをリアアクスルアダプターと共に使用します。ベーススタンドとその備品は、BMW Motorrad ディーラーで入手できます。



- リヤホイールスタンドを、ボルト **1** を使用して希望の高さに調整します。

- ロック解除用ボタン **3** を押して、ロックワッシャー **2** を外します。



- リヤホイールスタンドを右側からリアアクスルに押し込みます。
- ロック解除ボタンを押して、ロックワッシャーを左側から取り付けます。



- モーターサイクルをまっすぐに立てると共に、スタンドのグリップを後ろへ押して、スタンドの両方のローラーが地面に着くようにします。
- 続いてグリップを地面まで押しします。

エンジンオイル

エンジンオイルレベルを点検する



重要事項

オイルレベルはオイル温度により変化します。温度が高くなる

につれて、オイルパン内のオイルレベルも上昇します。

オイル容量の誤った確認

- オイルレベルの点検は、長距離走行後またはエンジン温間時のみ、行います。◀

- 通常の作動温度のエンジンを停止させます。

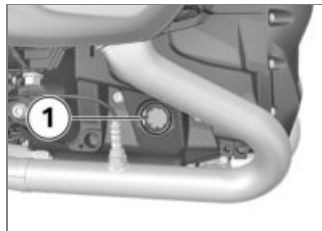
- サイドスタンドを開き、モーターサイクルの右側に出して立てます。

- モーターサイクルをまっすぐに保持します。

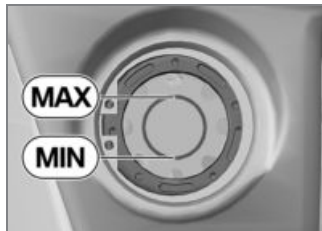
— センタースタンド OE 装備

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをメイン（センター）スタンドで立てます。◁

- オイルがオイルパンに集まるまで、5 分間待ちます。



- オイルレベルを表示 **1** で読み取ります。



エンジンオイル規定レベル

MIN と MAX の間のマーク

オイルレベルがMIN マークを下回っている場合：

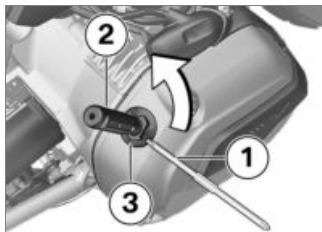
- エンジンオイルを補充する(➡ 120)。

オイルレベルがMAX マークを上回っている場合：

- BMW Motorrad ディーラーにオイルレベルの点検を依頼してください。

エンジンオイルを補充する

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。



- オイル注入口周辺を清掃します。
- 動力伝達を容易にするため、リバーシブルブレードのドライバーインサート **1** を、トルクス側を前にして、ドライバーのグリップ **2** (ツールキット) に差し込みます。
- ドライバーのグリップをキャップ **3** に差し込みます。
- キャップ **3** を反時計回りに回して取り外します。
- エンジンオイルレベルを点検する(➡ 119)。



重要事項

エンジンオイルが少なすぎる、または多すぎる。

エンジンの損傷

- エンジンオイルレベルが正しいか確認してください。◀
- エンジンオイルを規定レベルまで補充します。



エンジンオイル補充量

max 0.95 l (MIN とMAX 間の偏差)

- エンジンオイルレベルを点検する(➡ 119)。
- オイル注入口のキャップ **3** を取り付けます。

ブレーキシステム

ブレーキの作動を点検する

- ブレーキレバーを操作します。

» はっきりと抵抗が感じられる必要があります。

- ブレーキペダルを操作します。

» はっきりと抵抗が感じられる必要があります。

はっきりした抵抗が感じられない場合：



重要事項

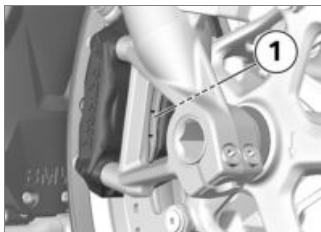
ブレーキシステムにおける不適切な作業。

ブレーキシステムの動作信頼性が危険にさらされる。

- ブレーキシステムに関するすべての作業は、専門スタッフに実行を依頼してください。◀
- BMW Motorrad ディーラーにブレーキシステムの点検を依頼してください。

フロントブレーキパッド厚を点検します

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。



- 左右ブレーキパッド厚を目視点検します。目視点検方向：ホイールとフロントホイールガイドの間を通して、ブレーキパッド **1**。



 フロントブレーキパッドの摩耗限度

1.0 mm (ライニングのみ (キャリアプレートなし)。摩耗インジケーター (溝) がはっきりと確認できなければなりません。)

摩耗インジケーターがはっきりと見えない場合：



警告

パッドの使用限度厚を下回る。

ブレーキの効きの低減。ブレーキの損傷。

- ブレーキシステムの動作信頼性を確実にするため、パッドの使用限度厚を下回らないようにしてください。◀
- BMW Motorrad ディーラーにブレーキパッドの交換を依頼してください。

リヤブレーキパッド厚を点検します

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。



- ブレーキパッド厚を目視点検します。目視点検方向：後方からブレーキパッド **1** の内側。



 リヤブレーキパッドの摩
耗限度

1.0 mm (ライニングのみ (キャリアプレートなし))

摩耗限度に達している場合：



警告

パッドの使用限度厚を下回る。

ブレーキの効きの低減。ブレーキの損傷。

- ブレーキシステムの動作信頼性を確実にするため、パッドの使用限度厚を下回らないようにしてください。◀

- BMW Motorrad ディーラーにブレーキパッドの交換を依頼してください。

フロントブレーキフルードレベルを点検する



警告

ブレーキフルードリザーバタンク内のブレーキフルードが少なすぎる。

ブレーキシステム内のエアによるブレーキ性能の著しい低下。

- ブレーキフルードレベルを定期的に点検します。◀

ー センタースタンド OE 装備

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをメイン (センター) スタンドで立てます。◀

ー センタースタンド OE 非装備

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをまっすぐに立てます。◀

- ハンドルバーを、ブレーキフルードリザーバタンクが水平になるように調整します。



- フロントブレーキフルードリザーバタンク 1 のブレーキフルードレベルを読み取ります。



注記

ブレーキパッドが徐々に摩耗してゆくことによって、リザーバタンクのブレーキフルードレベルは下がってきます。◀



 フロントブレーキフルードレベル

ブレーキフルード、DOT4

ブレーキフルードレベルが MIN マークを下回らないようにしてください。(ブレーキフルードリザーバタンクが水平になるように、車両をまっすぐに立てます)

ブレーキフルードレベルが規定値を下回った場合：

- BMW Motorrad ディーラーにできるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

リヤブレーキフルードレベルを点検する



警告

ブレーキフルードリザーバタンク内のブレーキフルードが少なすぎる。

ブレーキシステム内のエアによるブレーキ性能の著しい低下。

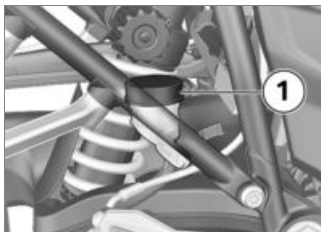
- ブレーキフルードレベルを定期的に点検します。◀

ー センタースタンド OE 装備

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをメイン（センター）スタンドで立てます。◀

ー センタースタンド OE 非装備

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをまっすぐに立てます。◀



- リヤブレーキフルードリザーバタンク 1 のブレーキフルードレベルを読み取ります。



注記

ブレーキパッドが徐々に摩耗してゆくことによって、リザーバタンクのブレーキフルードレベルは下がってきます。◀



リヤブレーキフルードレベル

ブレーキフルード、DOT4

ブレーキフルードレベルが MIN マークを下回らないようにしてください。(ブレーキフルードリザーバタンクが水平になるように、車両をまっすぐに立てます)

ブレーキフルードレベルが規定値を下回った場合：

- BMW Motorrad ディーラーにできるかぎり早く故障の修理を依頼してください。

クラッチ

クラッチの機能を点検する

- クラッチレバーを操作します。
- » はっきりと抵抗が感じられる必要があります。
- 抵抗がはっきりと感じられない場合：
- BMW Motorrad ディーラーにクラッチシステムの点検を依頼してください。

ン（センター）スタンドで立てます。◀



注意

高温のエンジン。

火傷の危険

- 熱くなっているエンジンからは離れていてください。
- 熱くなっているエンジンには触れないでください。◀
- リザーバータンク **1** のクーラントレベルを読み取ります。
- » クーラントレベルはMIN マークとMAX マーク間にあります。

クーラントレベルがMIN マークを下回っている場合：

- クーラントを補充します。

クーラントを補充します

- クーラントレベルを点検する(125)。



- クーラントリザーバータンクのキャップ **1** を開き、クーラントを規定レベルまで補充します。
- クーラントレベルを点検する(125)。
- クーラントリザーバータンクのキャップ **1** を閉じます。

クーラント

クーラントレベルを点検する

- サイドスタンドを開き、モーターサイクルの右側に出て立てます。
- モーターサイクルをまっすぐに保持します。
- ー センタースタンド ^{OE} 装備
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをメイ

リムとタイヤ タイヤ充填圧を点検する



警告

タイヤ充填圧が不適切。

モーターサイクルの走行特性の低下。タイヤの耐用年数の低減。

- タイヤ充填圧が正しいか確認してください。◀



警告

高速走行時に垂直に取り付けられているバルブコアが勝手に開く。

突然のタイヤ充填圧の損失。

- ラバーシール付きバルブキャップを使用し、しっかりと締め付けます。◀
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。

- タイヤ充填圧を、以下のデータを使用して点検します。



タイヤ充填圧（フロント）

2.5 bar (タイヤ冷間時)



タイヤ充填圧（リヤ）

2.9 bar (タイヤ冷間時)

タイヤ充填圧が不十分な場合：

- タイヤ充填圧を調整します。

ホイールリムを点検する

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。
- ホイールリムに不良な部分がないか目視点検します。
- ホイールリムが損傷した場合は、BMW Motorrad ディーラーに点検を依頼し、必要に応じて交換してください。

タイヤのトレッド溝の深さを点検する



警告

著しく摩耗したタイヤでの走行
走行特性の悪化により、事故に至る危険

- 必要に応じて、法的に規定されているトレッドの最小残溝量に達する前にタイヤを交換してください。◀
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。
- タイヤのトレッド溝の深さを、メインのトレッド溝で、摩耗インジケーターを使用して点検します。



注記

摩耗インジケーターはタイヤごとにメインのトレッド溝に設けられています。タイヤのトレッド溝がインジケーターレベルにまで達している場合は、タイヤ

が完全に摩耗しています。インジケーターの位置は、タイヤの縁に TI、TWI などのアルファベットや矢印で示されています。◀

トレッドが最小残溝量に達している場合：

- 当該タイヤを交換します。

ホイール 承認タイヤ

すべてのタイヤサイズに関して、特定のタイヤ製品がBMW Motorradにより検査され、走行安全性に優れていると位置付けされています。その他のタイヤに関しては、BMW Motorradではその適合性を評価できず、走行安全性を保証できません。

BMW Motorrad

は、BMW Motorradによる検査済タイヤのみの使用を推奨します。

詳細についてはBMW Motorradディーラーにお問い合わせいた

だくか、下記ウェブサイトを参照してください：

bmw-motorrad.com

ホイールサイズがフレーム制御システムに与える影響

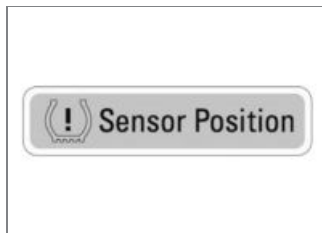
ホイールサイズは、フレーム制御システムABS およびASC/DTCにおいて、重要な役割を果たします。特にホイールの直径および幅は、必要となるすべての計算のベースとしてコントロールユニットにメモリーされています。標準装備ホイール以外のホイールへの変更によりこのサイズが変わると、これらのシステムの制御性に重大な影響が及ぶおそれがあります。

ホイール回転数検知に必要なセンサーリングも、取り付けられている制御システムに適合させる必要があります。交換はできません。ご使用のモーターサイクルに他のホイールを装着なさりたい場合には、事前にBMW Motorradディーラーにご相談ください。コント

ロールユニットにメモリーされているデータを、新しいホイールサイズに適應させることができる場合もあります。

RDC ラベル

ータイヤ圧コントロール (RDC) OE 装備



重要事項

不適切なタイヤの取り外し。

RDC センサーの損傷。

- 専門の整備工場またはBMW Motorrad ディーラーに、ホイールにRDC センサー

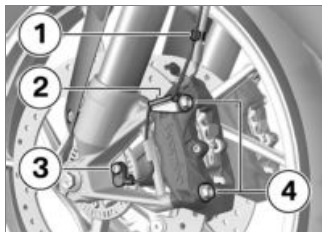
が装着されていることをお伝えください。◀

RDC 装備のモーターサイクルには、ホイールリム上のRDC センサーの位置に該当するステッカーがあります。タイヤ交換の際には、RDC センサーを損傷しないように注意してください。BMW Motorrad ディーラーまたは専門の整備工場に、RDC センサーを装備していることをお知らせください。

フロントホイールを取り外す

- モーターサイクルを補助スタンドで立てます。BMW Motorrad は、BMW Motorrad リヤホイールスタンドの使用をお勧めします。
- リヤホイールスタンドを取り付ける(▶ 118)。
- センタースタンド OE 装備
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをメイ

ン (センター) スタンドで立てます。◀



- ホイール回転数センサー用ケーブルをクランプ **1** および **2** から外します。
- ボルト **3** を外し、ホイール回転数センサーをボアから取り外します。
- リム周辺をマスキングテープなどで保護し、ブレーキキャリパーを取り外す際に、傷が付かないようにします。

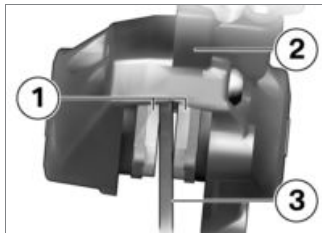


重要事項

ブレーキキャリパーを取り外した状態でブレーキパッドを押しつけ合わせる。

ブレーキディスクの上にブレーキキャリパーを取り付けることができない。

- ブレーキキャリパーを取り外した状態で、ブレーキレバーを操作しないでください。◀
- 左右ブレーキキャリパーの固定ボルト **4** を取り外します。



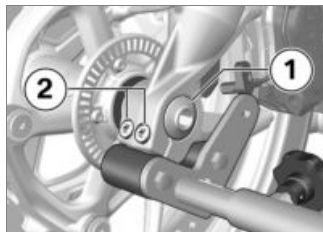
- ブレーキパッド **1** を、ブレーキキャリパー **2** を回転させ

て、ブレーキディスク **3** に少し押しつけます。

- ブレーキキャリパーを後方外側へ慎重に引いて、ブレーキディスクから取り外します。
- モーターサイクルを持ち上げ、フロントホイールが妨げなく回転できるようにします。それには、BMW Motorrad フロントホイールスタンドを使用するのが最も良い方法です。
- フロントホイールスタンドを取り付けます(▶▶ 116)。



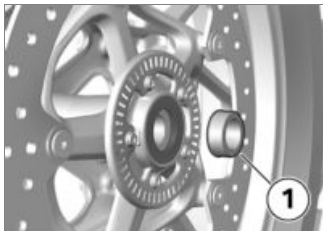
- アクスルクランプボルト **1** を外します。



- ボルト **1** を取り外します。
- アクスルクランプボルト **2** を外します。
- アクスルシャフトをわずかに内側に押し、アクスルシャフト右側から手が届きやすいようにします。



- フロントホイールを保持しながら、アクスルシャフト **1** を引き出します。
- フロントホイールを下に置き、フロントサスペンションから前方へ転がして取り出します。



- スペーサーブッシュ **1** をホイールハブから取り出します。

フロントホイールを取り付ける



警告

当該シリーズに適合しないホイールの使用。

ABS およびASC/DTC による制御介入時の機能障害。

- この章のはじめにある、ホイールサイズがフレーム制御システムABS およびASC/DTC に与え

る影響についての注意事項を確認し、遵守してください。◀

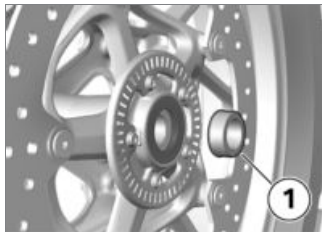


重要事項

ボルト締め付け部を誤った締め付けトルクで締め付ける。

ボルト締め付け部の損傷または緩み。

- 締め付けトルクの点検は、必ずBMW Motorrad ディーラーに依頼してください。◀



- ホイールハブ左側スペーサーブッシュ **1** を取り付けます。



重要事項

フロントホイールの取り付けが回転方向と逆。

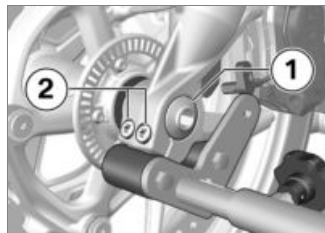
事故の危険

- タイヤまたはリム上にある回転方向を示す矢印を確認し、遵守してください。◀
- フロントホイールをフロントホイールロケーションへ転がし入れます。



- フロントホイールを持ち上げて、アクスルシャフト **1** を取り付けます。

- フロントホイールスタンドを外し、フロントフォークを数回、強く圧縮します。その際、ブレーキレバーを操作してはいけません。
- フロントホイールスタンドを取り付けます(116)。



- ボルト **1** を規定の締付けトルクで取り付けます。その際、アクスルシャフトを右側に保持します。

 テレスコピックフォーク内のアクスルシャフト

50 Nm

- アクスルクランプボルト **2** を締付けトルクで締め付けます。



 アクスルホルダー内の固定ボルト

締付け順序: 切換え中にボルトを 6 回締め付ける

19 Nm



- アクスルクランプボルト **1** を締付けトルクで締め付けます。

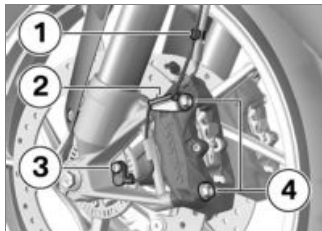


 アクスルホルダー内の固定ボルト

締付け順序: 切換え中にボルトを 6 回締め付ける

19 Nm

- フロントホイールスタンドを取り外します。
- 左右ブレーキキャリパーをブレーキディスクに取り付けます。



- 左右の固定ボルト **4** を規定トルクで締め付け、取り付けます。

 テレスコピックフォークのブレーキキャリパー

38 Nm

- ホイールリムに貼られているマスキングテープなどをはがします。



警告

ブレーキパッドがブレーキディスクに密着していない。
ブレーキの効きが遅れる。

- 走行開始前に、ブレーキの効きに遅れがないことを確認します。◀
- ブレーキパッドが密着するまで、ブレーキを何度か操作します。
- ホイール回転数センサー用ケーブルをクランプ **1** および **2** に組み込みます。
- ホイール回転数センサーをボアに組み込み、ボルト **3** を取り付けます。

 ホイール回転数センサーとフォーク

接合剤: マイクロカプセル加工済またはボルト固定剤 (中強度) 使用

8 Nm

リヤホイールを取り外す

- マフラーを動かす(▶▶ 134)。



- ギヤを1速に入れます。
- リヤホイールのボルト **1** を取り外します。その際、ホイールを保持します。
- リヤホイールを後方へ転がして取り外します。

リヤホイールを取り付ける



警告

当該シリーズに適合しないホイールの使用。

ABS およびASC/DTC による制御介入時の機能障害。

- この章のはじめにある、ホイールサイズがフレーム制御システ

ムABS およびASC/DTC に与える影響についての注意事項を確認し、遵守してください。◀



重要事項

ボルト締め付け部を誤った締め付けトルクで締め付ける。

ボルト締め付け部の損傷または緩み。

- 締め付けトルクの点検は、必ずBMW Motorrad ディーラーに依頼してください。◀
- リヤホイールをリヤホイールサポートの上に載せます。



- ホイールボルト **1** を規定の締め付けトルクで取り付けます。



リヤホイールとホイールフランジ

締め付け順序: 対角の順に締め付けます

60 Nm

- マフラーを取り付ける(135)。

マフラー

マフラーを動かす



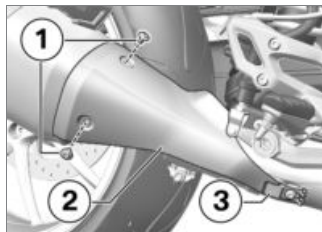
注意

高温のエキゾーストシステム。

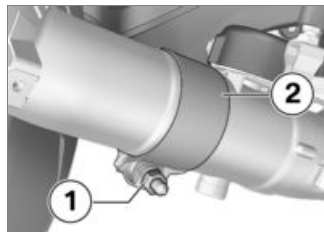
火傷の危険

- 高温になっているエキゾーストシステムに触れないでください。◀
- エンドマフラーを冷却します。
- モーターサイクルを適切なメイン(センター)スタンドで立てます。その際、路面が平坦で固くしっかりとしているか確認してください。BMW Motorrad はBMW Motorrad リヤホイールスタンドをお勧めします。
- リヤホイールスタンドを取り付ける(▶ 118)。
- センタースタンド OE 装備
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをメイ

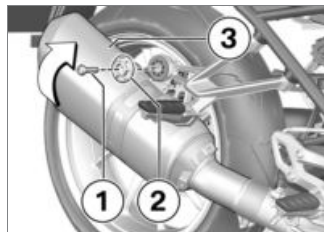
ン (センター) スタンドで立てます。◀



- ボルト 1 を取り外します。
- カバー 2 をホルダー 3 から引き出し、取り外します。



- ナット 1 を外し、クランプ 2 を少し緩めます。



- ボルト 1 とワッシャー 2 を取り外します。
- マフラー 3 を反時計方向に回します。

マフラーを取り付ける

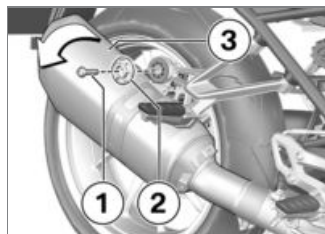


重要事項

ボルト締め付け部を誤った締め付けトルクで締め付ける。

ボルト締め付け部の損傷または緩み。

- 締め付けトルクの点検は、必ずBMW Motorrad ディーラーに依頼してください。◀

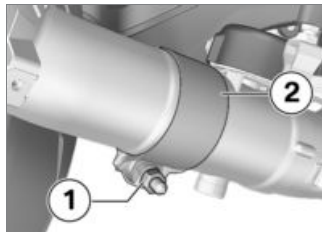


- マフラー **3** を時計回りに回し、リヤフットレストホルダーに密着させます。
- ボルト **1** およびクランプ **2** を取り付けます。



マフラーとリヤフレーム

19 Nm

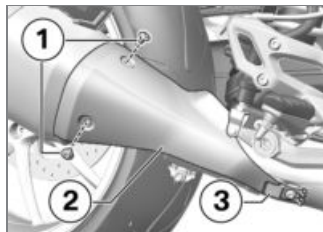


- ナット **1** (クランプ **2** の) を締め付けます。



クランプとマフラーおよびエキゾーストマニホールド

22 Nm



- カバー **2** をホルダー **3** に取り付けて組み込みます。
- ボルト **1** を取り付けます。

バルブ

ロービーム / ハイビーム用バルブを交換する



注記

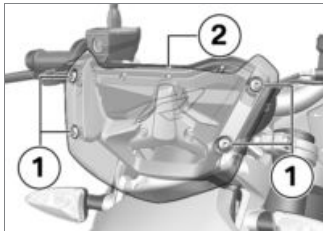
コネクターやライトバルブの向きは下記の図とは異なることがあります。◀



注記

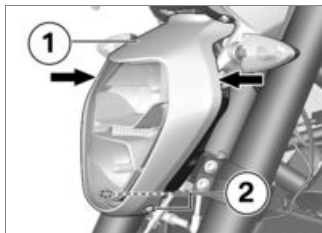
ここでロービームの交換について記載されている作業手順は、ハイビームに関して同様に適用されます。◀

- 平坦で、固くしっかりとした路面上に、モーターサイクルを駐車します。
- イグニッションを OFF にします。
- ー ウインドシールドPure^{OE} 装備



- ボルト **1** を取り外します。その際、グロメット内のフランジブッシュを紛失しないように注意してください。

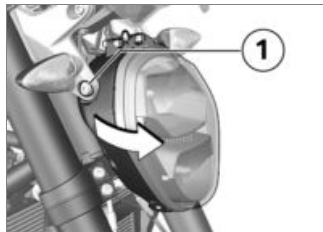
- ウインドシールド **2** を取り外します。◀



- ボルト **2** を取り外し、カバー **1** の上部を少し引き出してから取り外します。



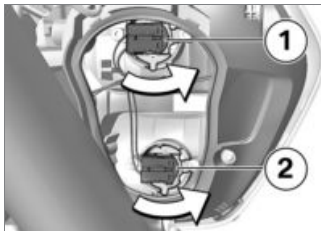
- ボルト **1** を 2 回転させて緩めます。



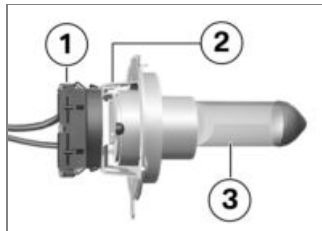
- ボルト **1** を取り外し、ヘッドライトを横方向へ旋回させるように動かします。



- キャッチフック **2** を少し押し下げ、カバー **1** をキャッチフック **2** から引いて取り外します。



- ロービーム用バルブ付きコネクター **1** を反時計回りに回して取り外します。
- ハイビーム用バルブ付きコネクター **2** を反時計回りに回して取り外します。



- ガラス面に汚れが付かないようにするため、バルブは乾いているきれいなウエスを使用して取り扱います。
- バルブを持つときには、ガラス面が汚れないように、必ずソケット部分を持ちます。
- バルブ **3** をコネクター **1** から引き出します。その際、ホルダー **2** がコネクターの上にとどまっているように注意してください。
- 故障しているバルブを交換します。



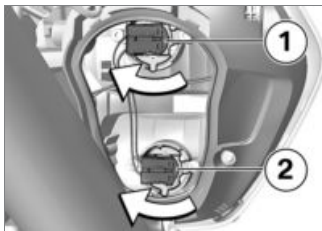
ロービームのバルブ

H7 / 12 V / 55 W



ハイビーム用バルブ

H7 / 12 V / 55 W

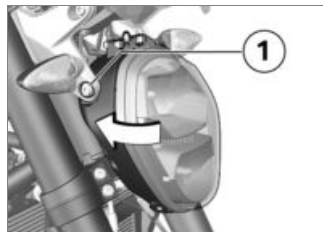


- ロービーム用バルブ付きコネクター **1** をライトハウジング内に組み込み、時計回りに回します。
- ハイビーム用バルブ付きコネクター **2** をライトハウジング内

に組み込み、時計回りに回します。



- カバーを接続部 **2** の下に組み込み、キャッチフック **1** の上側を固定します。



- ヘッドライトを元の位置に動かし戻し、ボルト **1** を取り付けます。

ヘッドライトとフロント
キャリア

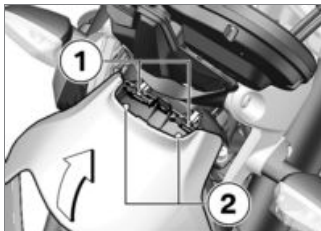
19 Nm



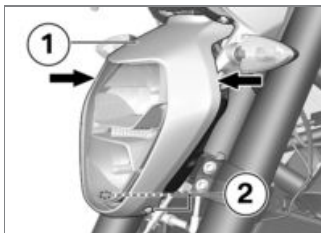
- ボルト **1** を締め付けます。

 ヘッドライトの調整エレメント

8 Nm

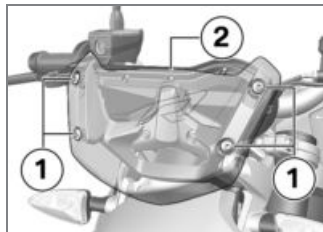


- 両キャッチフック **2** をホルダー **1** にクランプ留めします。



- カバー **1** 下側をはめ、ボルト **2** を取り付けます。

ー ウィンドシールドPure^{OE} 装備



- ウィンドシールド **2** をセットします。
- ボルト **1** を取り付けます。

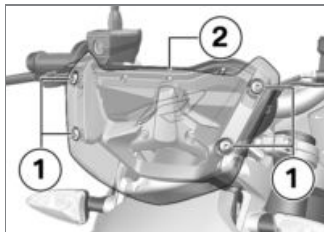
 ウィンドシールドとホルダー

4 Nm<

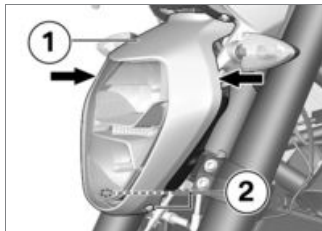
ポジションライト / パーキングライト用バルブを交換する

- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。
- イグニッションを OFF にします。

ー ウインドシールドPure^{OE} 装備



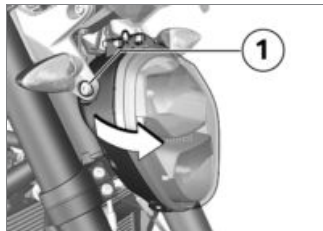
- ボルト **1** を取り外します。その際、グロメット内のフランジブッシュを紛失しないように注意してください。
- ウインドシールド **2** を取り外します。◁



- ボルト **2** を取り外し、カバー **1** を取り外します。



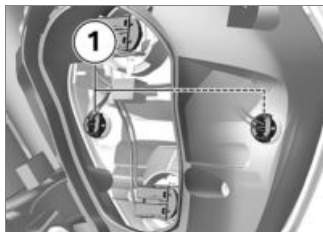
- ボルト **1** を 2 回転させて緩めます。



- ボルト **1** を取り外し、ヘッドライトを横方向へ回転させるように動かします。



- カバー **1** を引いて、キャッチフック **2** から取り外します。



- ソケット **1** をヘッドライトハウジングから引き出します。
- ガラス面に汚れが付かないようにするため、バルブは乾いているきれいなウエスを使用して取り扱います。



- バルブ **1** をソケットから引き出します。
- 故障しているバルブを交換します。

ポジションライト / パーキングライトバルブ

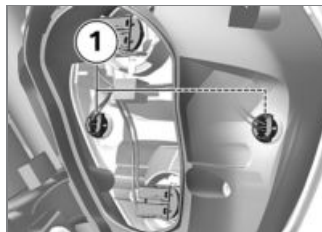
W5W / 12 V / 5 W

– Headlight Pro^{OE}装備

LED<1



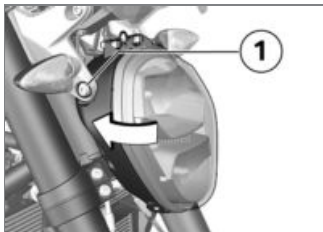
- バルブ **1** をソケットにセットします。



- ソケット **1** をヘッドライトハウジングにセットします。



- カバーを接続部 **2** の下に組み込み、キャッチフック **1** の上側を固定します。



- ヘッドライトを元の位置に動かし戻し、ボルト **1** を取り付けます。



ヘッドライトとフロント
キャリア

19 Nm

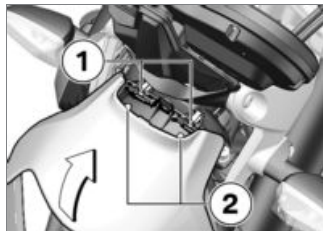


- ボルト **1** を締め付けます。

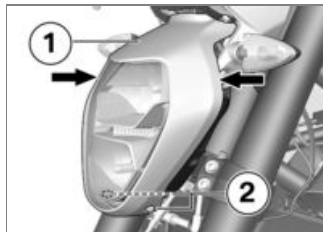


ヘッドライトの調整エレ
メント

8 Nm

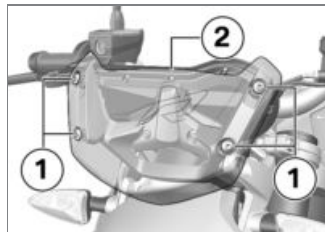


- 両キャッチフック **2** をホルダー **1** にクランプ留めします。



- カバー **1** 下側をはめ、ボルト **2** を取り付けます。

ー ウィンドシールドPure^{OE} 装備



- ウィンドシールド **2** をセットします。
- ボルト **1** を取り付けます。

 ウィンドシールドとホルダー

4 Nm<

フロント / リヤのウインカー用バルブを交換する

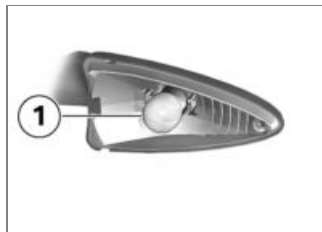
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。
- イグニッションを OFF にします。



- ボルト **1** を取り外します。



- レンズのボルト固定側をライトハウジングから引いて外します。



- ガラス面に汚れが付かないようにするため、バルブは乾いているきれいなウエスを使用して取り扱います。
- バルブ **1** を反時計回りに回してライトハウジングから取り外します。
- 故障しているバルブを交換します。

 フロントウインカー用バルブ

RY10W / 12 V / 10 W

ー LED ウインカー^{OE} 装備

LED<

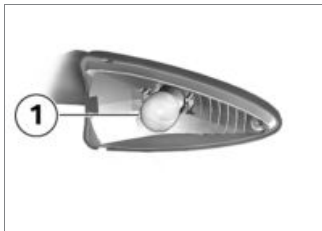


リヤウインカー用バルブ

RY10W / 12 V / 10 W

－ LED ウインカー OE 装備

LED<



- バルブ **1** を時計回りに回して、ライトハウジングに取り付けます。



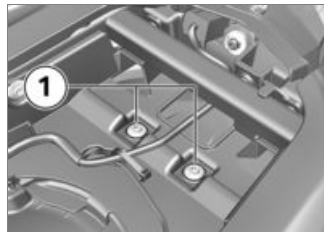
- レンズ（車両側）をライトハウジングにセットし、閉じます。



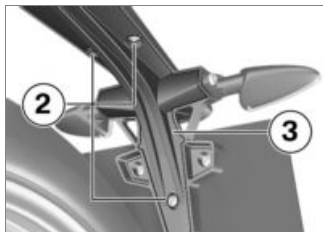
- ボルト **1** を取り付けます。

ライセンスプレートライト用バルブを交換する

- フロントシートを取り外す(▶ 83)。
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルをメイン（センター）スタンドで立てます。



- ボルト **1** を取り外します。



- ボルト **2** を外し、ライセンスプレートベース用カバー **3** を取り外します。



- ライセンスプレートライト **4** をライトハウジングから引き出します。



- バルブ **5** をソケットから引き出します。
- 故障しているバルブを交換します。

 ライセンスプレートライトバルブ

W5W / 12 V / 5 W

- ガラス面に汚れが付かないようにするため、バルブは乾いているきれいなウエスを使用して取り扱います。



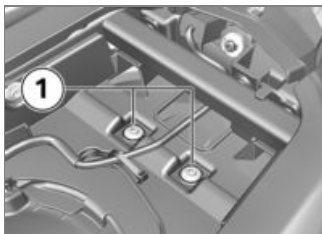
- バルブ **5** をソケットに押し込みます。



- ライセンスプレートライト **4** をライトハウジングに押し込みます。



- ライセンスプレートベース用カバー **3** を組み込み、ボルト **2** を取り付けます。



- ボルト **1** を取り付けます。
- フロントシートを取り付ける(▶ 83)。

LED テールライトを交換する

LED テールライトは、アセンブリーでのみ交換することができます。

- この件につきましては、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

LED ウインカーを交換する

– LED ウインカー^{OE} 装備

LED ウインカーはアセンブリーでのみ交換可能です。

- この件につきましては、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

LED 補助ヘッドライトを交換する

– LED 補助ヘッドライト^{OA} 装備

LED 補助ヘッドライトはアセンブリーでのみ交換可能です。

- この件につきましては、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

始動補助



重要事項

モーターサイクルでジャンプスタートを行う際の強すぎる電流、車両電装系の損傷やケーブルの燃焼

- モーターサイクルのジャンプスタートは電源ソケットからではなく、必ずバッテリーターミナルから行ってください。◀



重要事項

ジャンパーコードのターミナルクランプと車両間の接触。

ショートのおそれ

- ジャンパーコードは完全に絶縁されているターミナルクランプとともに使用してください。◀

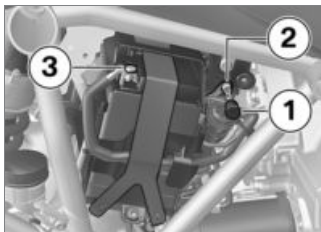


重要事項

ジャンプスタートを 12 V より高い電圧で行う。

車両電装系の損傷。

- 供給側車両のバッテリー電圧が、12 V であることを確認してください。◀
- 平坦で、固くしっかりとした路面に、モーターサイクルを駐車します。
- バッテリーカバーを取り外す(▶ 150)。
- ジャンプスタートを行う際、バッテリーを車両電装システムから外さないでください。



- 保護キャップ **1** を取り除きません。
- 始動補助ケーブル（赤）の一方の先端を、放電したバッテリーのプラス極 **2** に接続し、もう一方の先端を供給側バッテリーのプラス極に接続します。



注記

12 V バッテリーが誤って取り付けられている場合、または極性に誤りがある場合（ジャンプスタートの場合など）、オルタネーターレギュレーター（電圧調整

器）のヒューズが溶断するおそれがあります。◀

- ジャンパーコード（黒）の一方の先端を供給側バッテリーのマイナスターミナルに接続します。その後、もう一方の先端を放電したバッテリーのマイナスターミナル **3** に接続します。
- ジャンプスタートを行っている間、供給側バッテリー車両のエンジンを作動させておきます。
- 放電したバッテリー側の車両のエンジンを、通常の方法で始動させます。正常に始動しなかった場合は、スターターと供給側バッテリーの保護のため、数分経ってから再始動させてください。
- 接続を外す前に、両車両のエンジンをそのまま数分間作動させておいてください。
- ジャンパーコードは、まずマイナスターミナルから外し、その

後プラスターミナルから外します。



注記

エンジンを始動するために、スタートアシストスプレーや類いの補助剤は使用しないでください。◀

- 保護キャップを取り付けます。
- バッテリーカバーを取り付ける(▶ 151)。

バッテリー

メインテナンスに関する注意

正しいメインテナンス、充電、保管は、バッテリーの寿命を延ばし、また、保証のための前提条件となります。

バッテリーの寿命を延ばすために、以下のことに注意してください：

- バッテリーの表面を、清潔で乾いた状態に保つ。
- バッテリーを開けない。
- バッテリーに水を補充しない。
- バッテリーの充電を行う場合は、必ず、次ページ以降の注意事項に従う。
- バッテリーを逆さまにしない。



重要事項

車両エレクトロニクス（時計など）により、接続されているバッテリーが放電する。

過放電、それによる保証要件からの除外。

- 4 週間以上、走行しない場合：トリクルチャージャーをバッテリーに接続してください。◀



注記

BMW Motorrad では、ご使用のモーターサイクルの電子機器専

用にトリクルチャージャーを開発しました。このチャージャーを使用すれば、車両を長期間使用しない場合でも、バッテリーを接続した状態で充電しておくことができます。詳しい情報につきましては、BMW Motorrad ディーラーにお問合せください。◀

接続しているバッテリーを充電する



重要事項

バッテリーターミナルに接続されているバッテリーの充電。

車両電装系の損傷。

- 充電前にバッテリーをバッテリーターミナルから接続を外してください。◀



重要事項

電源ソケットまたは補助コネクタを使用して、完全に放電したバッテリーを充電する。

車両電装系の損傷。

- 完全に放電したバッテリー（バッテリー電圧 < 9 V、イグニッション ON の状態でインジケーターおよびマルチファンクションディスプレイが OFF のまま）は、常に、直接、**接続を外した** バッテリーのターミナルで充電してください。◀



重要事項

電源ソケットに接続されている、不適切なバッテリーチャージャー。

チャージャーおよびフレーム電装系の損傷。

- 適切なBMW チャージャーを使用します。対応する適切なチャージャーはBMW Motorradディーラーで入手することができます。◀
- 接続しているバッテリーに電源ソケットから充電します。



注記

バッテリーがフル充電されると、車両の電子機器が検知します。この場合、電源ソケットの回路は遮断されます。◀

- チャージャーの取扱説明書に従ってください。



注記

電源ソケットからバッテリーの充電ができない場合、使用されたチャージャーがモーターサイクルの電子機器に適合していない可能性があります。この場合は、接続を外したバッテリーのターミナルから、直接バッテリーを充電してください。◀

外したバッテリーを充電する

- 適切なチャージャーを使用して、バッテリーを充電します。
- チャージャーの取扱説明書に従ってください。

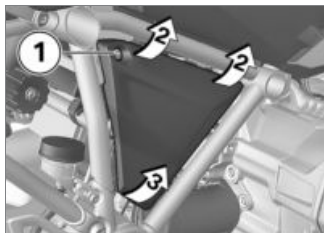
- 充電が終了したら、チャージャーのターミナルクランプをバッテリーターミナルから外します。



注記

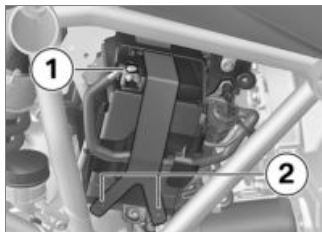
長期間車両を使用しない場合は、バッテリーを定期的に充電する必要があります。その場合には、そのバッテリーの取扱い規定に従ってください。また、再使用する前に必ずバッテリーをフル充電してください。◀

バッテリーを取り外す



- イグニッションを OFF にします。
- ボルト **1** を取り外します。
- バッテリーカバー上部を **2** の位置のところで、少し引っ張り出します。
- バッテリーカバーおよびサポートを損傷しないようにするため、バッテリーカバーを **3** の位置のところで上方へ取り外します。

- ー 盗難警報装置 (DWA)^{OE} 装備
- 必要に応じて、盗難警報装置を OFF にします。◀



- バッテリーマイナス配線 **1** およびラバーバンド **2** を外します。



- ホールドプレートのポジション **1** を外側へ引いてから、上方へ取り外します。

- バッテリーを少し持ち上げて、プラスターミナルに手が届くようになるまで、ホルダーから外します。



- バッテリープラス配線 **1** を外し、バッテリーを引き出します。

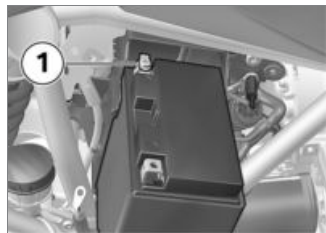
バッテリーを取り付ける



注記

12 V バッテリーが誤って取り付けられている場合、または極性に誤りがある場合 (ジャンプスタートの場合など)、オルタネーターレギュレーター (電圧調整

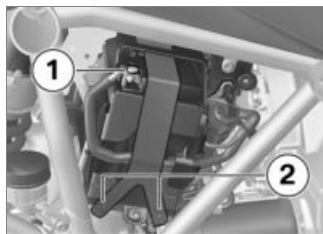
器) のヒューズが溶断するおそれがあります。◀



- バッテリープラス配線 **1** を取り付けます。
- バッテリーを止め具にスライドして入れます。

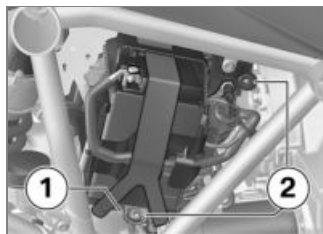


- ホールドプレートをまずホルダー **1** に組み込み、引き続きポジション **2** をバッテリーの下に押し込みます。

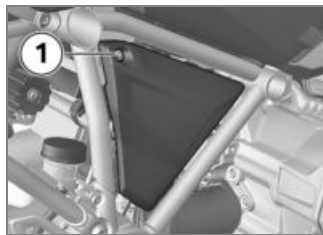


- バッテリーマイナス配線 **1** を取り付けます。

- バッテリーをラバーバンド **2** で固定します。



- バッテリーカバーをホルダー **1** に組み込み、ホルダー **2** に押し入れます。

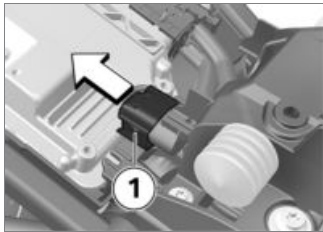


- ボルト **1** を取り付けます。

- 時計を調整する(▶▶▶ 62)。
- 日付設定(▶▶▶ 63)。

ヒューズ

ヒューズを交換する



- イグニッションを OFF にします。
- フロントシートを取り外す(▶▶▶ 83)。
- コネクター **1** を外します。



重要事項

故障しているヒューズのバイパス。

ショートや火災の危険。

- 故障ヒューズは新品のヒューズと交換してください。◀
- 故障しているヒューズをフューズ一覧に従って交換します。

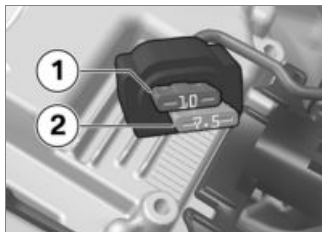


注記

ヒューズが頻繁に故障する場合には、電装システムの点検を専門の整備工場またはBMW Motorradディーラーに依頼してください。◀

- コネクター **1** を取り付けます。
- フロントシートを取り付ける(▶▶▶ 83)。

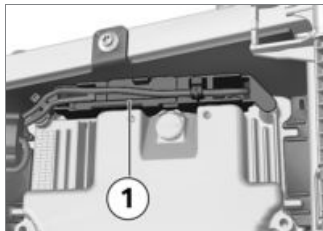
ヒューズ割当て



ヒューズホルダー 1

10 A (取り付け位置 1: メーターパネル、盗難警報装置 (DWA)、イグニッションスイッチ、メインリレー、診断コネクター)

7.5 A (取り付け位置 2: 左コンビネーションスイッチ、タイヤ圧コントロール (RDC)、ヨーレートセンサー)



 ヒューズホルダー

50 A (ヒューズ 1: 電圧レギュレーター)

アクセサリ

一般的な情報	156
電源ソケット	156
ケース	157
トップケース	159
ナビゲーションシステム	162

一般的な情報

**注意**

他社製品の使用。

安全に関わる危険

- BMW Motorrad では、すべての他社製品について、BMW 車両において安全性の問題なく使用できるかどうか判定することはできません。国別仕様により公的な許可が与えられている場合にも、これは認められていません。それらのようなテスト / 点検では、常にBMW 車両におけるすべての使用条件を考慮に入れるということができず、そのため部分的に十分でないところがあります。
- 必ず、BMW が BMW 車両用に承認している部品およびアクセサリ製品のみご利用ください。◀

部品およびアクセサリは、BMW により、その安全性、機能、適性に関する試験が実施され

ています。これらの製品については、BMW が製造責任を保証いたします。承認されていない部品やアクセサリにつきましては、いかなる種類であれ、BMW は責任を負いません。

変更を加える場合にはすべて、必ず法規制に従ってください。各国の道路交通法を遵守してください。

BMW Motorrad ディーラーは、皆様がBMW 純正部品、アクセサリ、その他の製品を選択されるにあたり、専門的なアドバイスをいたします。

アクセサリに関する詳しい情報については、以下を参照してください：

**[bmw-motorrad.com/
accessories](http://bmw-motorrad.com/accessories)**

電源ソケット

電装系機器の接続

- － 電源ソケットに接続されている機器は、イグニッション ON の状態でのみ、作動させることができます。

ケーブルの取り回し

- － 電源ソケットから追加装備機器までのケーブルは、ライダーの邪魔にならないように取り回してください。
- － ケーブルの取回しによって、ステアリングアングルや走行特性が制限されてはなりません。
- － ケーブルが挟み込まれないようにします。

自動停止

- － 電源ソケットは、始動動作中に自動的に OFF になります。
- － 車両電装システムの負荷解除のため、電源ソケットは、イグニッションを OFF にしてから

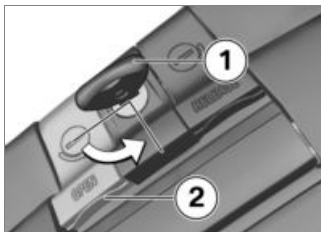
ら 15 分以内に OFF になります。電流消費の少ない補助機器は車両エレクトロニクスによって検知されない可能性があります。これらの場合、イグニッション OFF 後にしばらく経ってから電源ソケットが OFF に切り替わります。

- バッテリー電圧が低すぎる場合、電源ソケットが OFF になり、車両のスタート特性を保持します。
- テクニカルデータに示されている最大荷重容量を超過している場合、電源ソケットは OFF になります。

ケース

ケースを開きます

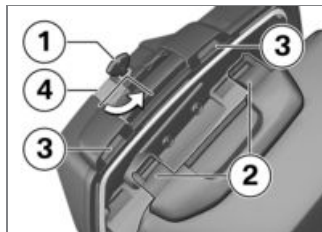
- パニアケース^{OA}装備



- キー **1** をポジション OPEN に回します。
- ロック解除レバー **2** (OPEN) (灰) を上方へ引きながら、同時にケースカバーを開けます。

ケースを閉じる

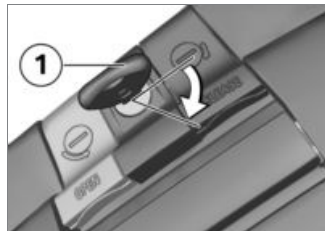
- パニアケース^{OA}装備



- キー **1** をポジション OPEN に回します。
- ケースカバーのキャッチ **2** をロック **3** の中に押し込みます。何も挟まっていないことを確認します。
- ロック解除レバー **4** (OPEN) (灰) を上方へ引きながら、同時にケースカバーを閉めます。
 - » カバーがはまる音が聞こえます。
- ケースロックのキー **1** を進行方向へ回して抜き取ります。

ケースを取り外します

－ パニアケース^{OA}装備



- キー **1** をポジションRELEASEに回します。



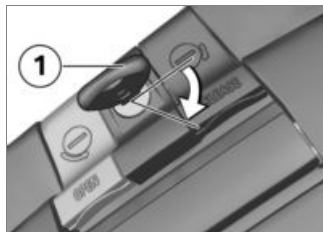
- ロック解除レバー **1** (RELEASE) (黒) を引

き上げながら、ケースを外側へ引きます。

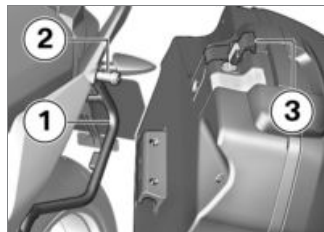
- 続いてケースを下側のマウントから持ち上げて外します。

ケースを取り付けます

－ パニアケース^{OA}装備



- キー **1** をポジションRELEASEに回します。



- ケースをケースホルダー **1** に組み込み、ストップ位置までマウントサポート **2** の方へ動かします。
- ロック解除レバー **3** (RELEASE) (黒) を引き上げながら、ケースを上側サポート **2** に押し込みます。
- ロック解除レバー **3** RELEASE (黒) を押し下げ、しっかりとかみ合わせます。
- ケースロックのキーを進行方向へ回して抜き取ります。

最大積載荷重および最高速度

ケース内の注意ラベルに記載されている最大積載荷重および最高速度を遵守してください。

車両にケースを組み合わせた場合についてステッカーに記載されていない場合には、最寄りのBMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

ここに記載されている組み合わせについては、下記の値が適用されます：



ケースを装着して走行する場合の最高速度

max 180 km/h



ケースごとの積載荷重

max 10 kg

確実な固定

ー パニアケース^{OA}装備



ケースがぐらついたり、取り付けにくい場合には、上下のマウントサポート間の間隔を調整する必要があります。



警告

不適切に取り付けられているケース。

走行安全性が損なわれる。

- ケースはぐらぐらしないよう、遊びのない状態で固定しなければなりません。長期間使用して遊びが生じた場合には、ホル

ダーフックを改めて調整してください。◀



それには、ケース内部にあるボルト **1** を使用してください。

トップケース

トップケースを開きます

ー トップケース^{OA}装備



- トップケースロックのキーをポジション **1** に回します。



- ロックシリンダー **1** を前へ押しします。
- » ロック解除レバー **2** が飛び出します。

- ロック解除レバーを完全に引き上げます。
- » トップケースカバーが開きます。

トップケースを閉じる

ー トップケース ^{OA} 装備



- ロック解除レバー **1** を完全に引き上げます。
- トップケースリッドを押したまま保持します。中身が挟まっていないか確認します。



注記

ロックがポジションLOCKにある場合、トップケースが閉じる

こともあります。この場合、車両キーがトップケースにあることを確認します。◀



- ロック解除レバー **1** を、しっかりとはまるまで押し下げます。
- トップケースロックのキーを、ポジション LOCK に回して引き抜きます。

トップケースを取り外す

ー トップケース ^{OA} 装備



- トップケースロックのキーをポジション **1** に回します。
 » キャリングハンドルが飛び出します。



- キャリングハンドル **1** を完全に引き上げます。

- トップケース後部を持ち上げ、ラゲッジロックから引いて外します。

トップケースを取り付ける

ー トップケース^{OA}装備



警告

不適切に取り付けられているトップケース。

走行安全性が損なわれる。

- トップケースにがたつきがあってはならず、遊びなしでしっかりと固定されていなければなりません。◀
- キャリングハンドルを完全に引き上げます。



- トップケースをラゲッジロックに固定します。フック **1** が、対応するサポート **2** に確実にかみ合っているか確認します。



- キャリングハンドル **1** を、はまる音がするまで押し下げます。



- トップケースロックのキーをポジション **1** に回し、引き抜きます。

最大積載荷重および最高速度

トップケース内の注意ラベルに記載されている最大積載荷重および最高速度を遵守してください。

車両にトップケースを組み合わせた場合についてステッカーに記載されていない場合には、最寄りのBMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

ここに記載されている組み合わせについては、下記の値が適用されます：



トップケースを装着している状態で走行する場合の最高速度

max 180 km/h



トップケースの積載荷重

max 5 kg

ナビゲーションシステム

ナビゲーションシステムを確実に取り付ける

- ナビゲーションシステム用取り付けキット^{OE}装備
- ナビゲーションシステム^{OA}装備



注記

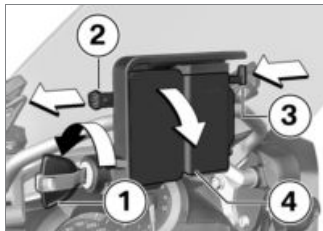
ナビゲーション取り付けキットは、BMW Motorrad Navigator IV および BMW Motorrad Navigator V に適合しています。◀



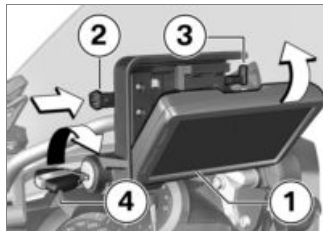
注記

Mount Cradle のロックシステムに盗難からの保護機能はありません。

走行後には毎回、ナビゲーションシステムを取り外し、安全なところに保管してください。◀



- 車両キー **1** を反時計回りに回します。
- ヒューズ **2** を左方向へ引きま
- す。
- ロック **3** を圧入します。
- » Mount Cradle (マウントクレードル) はロック解除されており、カバー **4** を回転させて前方へ取り外すことができます。



- ナビゲーションシステム **1** を下側のエリアに組み込み、回転させて後方へ動かします。
- » ナビゲーションシステムがはまる音が聞こえます。
- ヒューズ **2** を完全に右方向へずらします。
- » ロック **3** がロックしています。
- 車両キー **4** を時計回りに回します。
- » ナビゲーションシステムがロックされており、車両キーを抜き取ることができます。

ナビゲーションシステムを取り外し、カバーを取り付ける

- ナビゲーションシステム用取付けキット^{OE}装備
- ナビゲーションシステム^{OA}装備

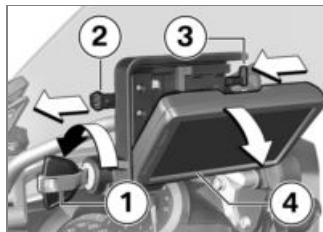


重要事項

Mount Cradle の接触部の塵埃や汚れ。

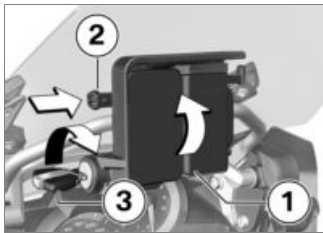
接触部の損傷。

- 走行後には毎回、カバーを再度取り付けてください。◀



- 車両キー **1** を反時計回りに回します。

- ヒューズ **2** を完全に**左**方向へ引きます。
- » ロック **3** はロック解除されています。
- ロック **3** を完全に**左**方向へずらします。
- » ナビゲーションシステム **4** がロック解除されます。
- ナビゲーションシステム **4** を傾けながら下方向へ取り外します。



- カバー **1** を下側のエリアに組み込み、回転させて上方向へ動かします。

- » カバーが音をたててはまりません。
- ヒューズ **2** を**右**方向へずらします。
- 車両キー **3** を時計回りに回します。
- » カバー **1** はロックされています。

ナビゲーションシステムを操作する

- ナビゲーションシステム用取付けキット OE 装備
- ナビゲーションシステム OA 装備



注記

以下の説明はNavigator V に関するものです。Navigator IV は記載されているすべての機能を有するものではありません。◀



注記

BMW Motorrad コミュニケーションシステムの最新バージョンのみがサポートされます。場合により、BMW Motorrad コミュニケーションシステム用のソフトウェア更新が必要です。その場合には、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。◀

BMW Motorrad Navigator が取り付けられている場合、いくつかの機能はMulti-Controller を使用してハンドルバーから直接操作することができます。



Multi-Controller の操作は、6 つの動作でできます：

- 上下に回す。
- 左右に短押しします。
- 左右に長押しします。

Multi-Controller を回すと、コンパスページおよびMediaplayer ページで、Bluetooth 経由で接続されているBMW Motorrad コミュニケーションシステムの音量が上がります / 下がります。

BMW スペシャルメニューで、Multi-Controller を回すことにより、メニュー項目を選択します。

Multi-Controller を左右に短押しすると、Navigator のメインページが切り替わります：

- 地図表示部
- コンパス
- Mediaplayer
- BMW スペシャルメニュー
- ご使用のモーターサイクルのページ

Multi-Controller を長押しするのは、Navigator ディスプレイで特定の機能を作動させるのと同じです。この機能は、該当するタッチパッドの上側に左矢印または右矢印で示されています。



この機能は右方向へ長押しすることにより起動します。



この機能は左方向へ長押しすることにより起動します。

それぞれ以下の機能が操作できます：

地図表示部

- 上方向へ回す：地図表示部を拡大する (Zoom in)。
- 下方向へ回す：地図表示部を縮小する (Zoom out)。

コンパスのページ

- 回すことにより、Bluetooth 経由で接続されているBMW Motorrad コミュニケーションシステムの音量が上がります / 下がります。

BMW スペシャルメニュー

- アナウンス：前回のナビゲーションアナウンスを繰り返します。
- ウェイポイント：現在位置をお気に入りとして保存します。
- ホーム：自宅住所へのナビゲーションを開始します (自宅住所が設定されていない場合にはグレース表示になっています)。

- ミュート：自動ナビゲーションアナウンス OFF または ON (OFF: ディスプレイ内の最上段に線で消されたリップマークが表示されます)。ナビゲーションアナウンスはその後「アナウンスする」を介してアナウンス可能になります。他のすべての音声出力は ON のままです。
- 表示を OFF にする：ディスプレイを OFF にします。
- 自宅に電話する：ナビゲーターに登録されている自宅電話番号に電話します（接続されている電話があるときにのみ作動）。
- 迂回：迂回機能を ON にします（アクティブになっているルートがあるときにのみ作動）。
- ジャンプ：次のウェイポイントをジャンプします（そのルートにウェイポイントがある場合にのみ作動）。

ご使用のモーターサイクル

- 回す：表示されているデータ数を変更します。
- ディスプレイ上のデータ欄を軽く叩く（タップする）ことにより、データの選択用メニューが開きます。
- 選択用に表示されている値は、取り付けられているオプション装備品により異なります。



注記

Medioplayer の機能は、Bluetooth 機器 (A2DP 規格準拠) の使用時にのみ利用可能です (BMW Motorrad コミュニケーションシステムなど)。

Medioplayer

- 左方向へ長押しする：前のトラックを再生します。
- 右方向へ長押しする：次のトラックを再生します。
- 回すことにより、Bluetooth 経由で接続されている

る BMW Motorrad コミュニケーションシステムの音量が上がります / 下がります。

警告メッセージおよび指示メッセージ

- ナビゲーションシステム OA 装備



モーターサイクルの警告および指示表示は、対応するマーク 1 と共に、地図表示部の左上に表示されます。



注記

BMW Motorrad コミュニケーションシステムが接続されている

る場合、警告 1 件につきさらに注意音が 1 つ鳴ります。◀

複数のアクティブな警告メッセージがある場合には、メッセージ数が三角形の警告マークの下側に表示されます。

三角形の警告マークをクリックすると、2 個以上のメッセージがある場合に、すべての警告メッセージを掲載したリストが開きます。

メッセージを 1 個選択すると、さらに詳しい情報が表示されます。



注記

すべての警告について詳細な情報を表示することはできません。◀

特別機能

ーナビゲーションシステムOA
装備

BMW Motorrad Navigator の統合により、Navigator 取扱説明書の記載に異なる箇所が出ています。

燃料残量警告

フューエルレベル表示用の設定は使用できません。燃料残量警告は車両からNavigator に伝送されるからです。メッセージがアクティブになっている場合には、メッセージの上をクリックすることにより、次のガソリンスタンドが表示されます。

時刻表示と日付

時刻表示と日付は、Navigator からモーターサイクルに伝送されます。このデータのメーターパネルへの伝送は、メーターパネルのSETUP メニューで作動します。

セキュリティ設定

BMW Motorrad Navigator V では、4 桁の PIN により、第三者による操作から保護することができます (Garmin Lock)。この機能がアクティブになると、ナビゲーターが車両に取り付けられていてイグニッションが ON の間に、ライダーに対して、この車両を保護されている車両のリストに追加するかどうか確認がなされます。この問いに対して「はい」で確定すると、Navigator が車両識別番号を登録します。車両識別番号は 5 つまで登録することができます。

これらの車両の 1 台でイグニッションを ON にすることにより、Navigator が ON になります。これで PIN 入力は必要なくなります。

Navigator が ON の状態で車両から取り外されると、安全上の理由から PIN の確認が開始されます。

画面の輝度

取り付けられている状態で、画面の輝度がモーターサイクルにより設定されます。マニュアル入力はありません。

自動設定は、ご希望に応じてNavigator 内のディスプレイ設定で OFF にすることができます。

お手入れ

ケア用品.....	170
洗車	170
損傷しやすい車両部品のお手 入れ	171
塗装のお手入れ.....	172
長期保管.....	172
保護コーティング	172
再使用	173

ケア用品

BMW Motorrad は、ご使用になる洗剤やケア用品をBMW Motorrad ディーラーでお求めになることをお勧めします。BMW CareProducts (BMW ケア製品) は、原料の点検確認および研究機関における製品のテストや試用点検が行われており、あなたの車両に使用されているマテリアルのお手入れと保護を最適に行います。



重要事項

不適切な洗剤およびケア用品の使用。

車両部品の損傷。

- ニトロ希釈液、コールドクリーナー、ガソリン、アルコールを含んだクリーナーなどを使用しないでください。◀

洗車

BMW Motorrad は、ペイントに付着している昆虫や硬化した汚れなどを、洗車の前にBMW 専用クリーナーで柔らかくして洗い流しておくことをお勧めします。

しみができるのを避けるため、強い直射日光にさらされた直後や日向での洗車は行わないでください。

特に冬季の間は、洗車をより頻繁に行ってください。

路面に散布された塩を除去するため、走行後は、直ちにモーターサイクルを冷水で洗車します。



警告

車両を水洗いしたり、水たまりの中を通過したり、雨の日に走行した後の、水分の付着したブレーキディスクおよびブレーキパッド。

ブレーキの効きの低下。

- ブレーキディスクおよびブレーキパッドが乾いた状態でブレー

キがかけられるようになるまでは、早めにブレーキングしてください。◀



重要事項

温水による塩の作用の増大。

腐食

- 散布された塩を除去するには、必ず冷水を使用してください。◀



重要事項

高圧クリーナーやスチームジェット機器の高い水圧による損傷。

ガスケット、油圧式ブレーキシステム、電装系、シートの損傷、腐食またはショート。

- 高圧ジェットやスチームクリーナーは慎重に使用してください。◀

損傷しやすい車両部品のお手入れ

プラスチック



重要事項

不適切な洗剤の使用。

プラスチック表面の損傷。

- アルコールや溶剤、研磨剤を含んだクリーナーは使用しないでください。
- 虫取りスポンジや表面の硬いスポンジは使用しないでください。◀

フェアリング部

フェアリング部は、水とBMW プラスチックケア製品とを使用し、て清掃してください。

プラスチック製ウインドシールドおよびカバーレンズ、センターフェアリングのメタルプレート

汚れや昆虫を、柔らかいスポンジと水を大量に使用して除去してください。



注記

硬化した汚れや昆虫などの付着は、湿らせた布などをかぶせて柔らかくしてください。◀



水とスポンジのみを使用した洗浄。



化学洗剤は使用しないでください。

クローム

クロームメッキ部分は、特に塩の作用を受けた際には、大量の水と BMW シャンプーで慎重に清掃してください。さらに処置を施す場合には、クロームポリッシャーを使用してください。

ラジエター

ラジエターは、定期的に清掃してください。冷却が不十分なために起こるエンジンのオーバーヒートを防ぐためです。

園芸用ホースなどを使い、低い水圧で清掃してください。



重要事項

用意に曲げられるラジエターのエッジ。

ラジエターのエッジの損傷

- 清掃の際はラジエターのエッジが湾曲しないように注意する。◀

ラバー部品

ラバー部品の清掃には、水または BMW ラバークリーナーを使用してください。



重要事項

ラバーシールのお手入れにシリコンスプレーを使用。

ラバーシールの損傷。

- シリコンスプレーやシリコンを含んだケア製品を使用しないでください。◀

塗装のお手入れ

定期的に洗車を行うことにより、塗装部分に長期間にわたって影響を与え、ペイントを損傷する原因となる物質を除去することができます。特に、大気汚染が激しい地域や、樹脂や花粉などが付着するような地域を走行した場合などに効果的です。

とくに浸食性の高い物質（例えばこぼれた燃料、オイル、グリース、ブレーキフルード、鳥のふんなど）は、塗装の変化や変色が生じるおそれがあるため、すぐに取り除く必要があります。BMW Motorrad は、除去用にBMW ポリッシャーまたはBMW ペイントクリーナーをお勧めします。

ペイントの表面仕上げに付着している汚れは、洗車後に特に見えやすくなります。このような汚れ

は、クリーニング用ベンジンまたはアルコールを清潔な布や綿球などに含ませて、直ちに除去してください。BMW Motorrad は、タール系の汚れには、BMW タールリムーバーの使用をお勧めします。その後、その箇所のペイントを保護コーティングなどで保護します。

長期保管

- 洗車します。
- モーターサイクルを満タンにします。
- バッテリーを取り外す(➡ 150)。
- ブレーキレバーおよびクラッチレバー、センタースタンドベアリングとサイドサポートベアリングに対応の潤滑油を吹き付けます。

- 金属部品やクロームめっき部品に、中性のグリース（ワセリン）を塗布し、保管します。
- モーターサイクルは、両ホイールに負荷がかかっていない状態にして、乾燥した空間に保管します（BMW Motorrad 推奨フロントホイール、リヤホイールスタンドを使用することをお勧めします）。

保護コーティング

水滴が水玉にならなくなったら、塗装の防錆処理をしなければなりません。

BMW Motorrad は、ペイント保護コーティング用に、BMW ワックス、あるいは、カルナバワックスまたは合成ワックスを含むコーティング剤をお勧めします。

再使用

- 表面に塗布されている保護用コーティングを取り除きます。
- 洗車します。
- バッテリーを取り付ける(▶▶▶ 150)。
- チェックリストを確認し、遵守する(▶▶▶ 90)。

テクニカルデータ

トラブルシューティング	176
ネジ止め部	177
エンジン	179
燃料	180
エンジンオイル	181
クラッチ	181
ギヤボックス	182
リヤホイールドライブ	183
サスペンション	183
ブレーキ	184
ホイールとタイヤ	184
電装システム	186
フレーム	188
盗難警報装置	188
寸法	189

重量	190
性能	190

トラブルシューティング

エンジンが始動しない / 始動しにくい。

原因	修理
サイドスタンドが出ていて、ギヤが入っている	サイドスタンドを格納します。
ギヤが入っていて、クラッチを切っていない	ギヤをニュートラルに入れるか、クラッチを切ります。
燃料が入っていない	給油手順 (111▶ 97)。
バッテリーが空になっている	接続しているバッテリーを充電する (111▶ 148)。

ネジ止め部

フロントホイール	数値	有効
テレスコピックフォークのブレーキキャリパー		
M10 x 65	38 Nm	
テレスコピックフォーク内のアクスルシャフト		
M20 x 1.5	50 Nm	
アクスルホルダー内の固定ボルト		
M8 x 35	切換え中にボルトを 6 回締め付ける	
	19 Nm	
リヤホイール	数値	有効
リヤホイールとホイールフランジ		
M10 x 1.25 x 40	対角の順に締め付けます	
	60 Nm	
ミラーアーム	数値	有効
ミラー (ロックナット) とアダプター		
左ネジ、M10 x 1.25	22 Nm	

ミラーアーム

数値

有効

アダプターとクランプ台

M10 x 14 - 4.8

25 Nm

ハンドルバー

数値

有効

クランプ台（ハンドルバークランプ）とフォークブリッジ

M8 x 35

進行方向でブロック前側にしっかりと取り付ける

19 Nm

M8 x 30

進行方向でブロック前側にしっかりと取り付ける

19 Nm

ーナビゲーションシステム用
取付けキット^{OE}装備

エンジン

エンジン番号位置	クランクハウジング下部右側、スターター下部
エンジン型式	空冷 / 水冷 2 気筒 4 ストロークボクサーエンジン、スパーギヤ駆動 DOHC、バランサーシャフト装備
排気量	1170 cm ³
シリンダーボア	101 mm
ピストンストローク	73 mm
圧縮比	12.5:1
最高出力	92 kW、エンジン回転数: 7750 min ⁻¹
ー 低出力仕様 ^{OE} 装備	79 kW、エンジン回転数: 7750 min ⁻¹
最大トルク	125 Nm、エンジン回転数: 6500 min ⁻¹
ー 低出力仕様 ^{OE} 装備	122 Nm、エンジン回転数: 5250 min ⁻¹
最高回転数	max 9000 min ⁻¹
アイドル回転数	1150 min ⁻¹ 、エンジン作動温度時

燃料

推奨フューエルグレード	無鉛プレミアムガソリン (ハイオク) (最大 10%エタノール、E10) 95 ROZ/RON 89 AKI
燃料品質の選択肢	無鉛レギュラーガソリン (出力および燃費の制約。エンジンに低燃料品質 91 RON を使用する国などでは、それに合わせてモーターサイクルを BMW Motorrad ディーラーで事前にプログラミングする必要があります。) 91 ROZ/RON 87 AKI
フューエル容量	約 18 l
フューエルリザーブ容量	約 4 l
排ガス基準	EU3

エンジンオイル

エンジンオイル容量	max 4 l、フィルター交換時
規格	SAE 5W-40、API SL / JASO MA2、添加剤（例えばモリブデンベースのもの）は許可されていません。コーティングされているエンジン部品が損傷するためです、BMW Motorrad では、BMW Motorrad ADVANTEC Ultimate オイルを推奨しています
エンジンオイル補充量	max 0.95 l、MIN とMAX 間の偏差

BMW recommends **ADVANTEC**
ORIGINAL BMW ENGINE OIL

クラッチ

クラッチの仕様	マルチプレート湿式クラッチ、アンチホッピング
---------	------------------------

ギヤボックス

ギヤボックスの仕様	常時噛み合い式ヘリカルギア 6 速マニュアルトランスミッション
ギヤ比	1.000 (60:60 丁)、一次減速比 1.650 (33:20 丁)、ギヤボックスインプットギヤ比 2.438 (39:16 丁)、1 速 1.714 (36:21 丁)、2 速 1.296 (35:27 丁)、3 速 1.059 (36:34 丁)、4 速 0.943 (33:35 丁)、5 速 0.848 (28:33 丁)、6 速 1.061 (35:33 丁)、トランスミッションアウトプットギヤ比

リヤホイールドライブ

リヤホイールドライブタイプ	ベベルギヤ付きシャフトドライブ
リヤサスペンション型式	BMW Motorrad パラレバー付アルミキャストシングルスイングアーム
リヤホイールドライブのギヤレシオ	2.818 (31/11 丁)

サスペンション

フロントホイール

フロントサスペンション型式	倒立テレスコピックフォーク
スプリングトラベル (フロント)	140 mm、フロントホイールのところで

リヤホイール

リヤサスペンション型式	BMW Motorrad パラレバー付アルミキャストシングルスイングアーム
リヤサスペンション型式	コイルスプリング付きセントラルスプリングストラット、調整式リバウンドダンピングおよびスプリングプリロード
- Dynamic ESA ^{OE} 装備	コイルスプリング付きセンタースプリングストラット、電子調整式ダンピングおよびスプリングプリロード
スプリングトラベル (リヤホイール)	140 mm

ブレーキ

フロントブレーキ型式	4 ピストンラジアルブレーキキャリパーを搭載した油圧式ダブルディスクブレーキ。ブレーキディスクはフローティングマウント式
フロントブレーキパッドの素材	焼結合金
リヤブレーキ型式	2 ピストンフローティングキャリパーを装備した油圧式ディスクブレーキ。ブレーキディスクは固定式。
リヤブレーキパッドの素材	有機素材

ホイールとタイヤ

承認タイヤ	最新の承認タイヤの一覧については、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせいただくか、ウェブサイト bmw-motorrad.com をご覧ください。
タイヤ速度カテゴリー (フロント / リヤ)	W、少なくとも下記の値以上が必要: 270 km/h

フロントホイール

フロントホイールの仕様	アルミニウムキャストホイール
フロントホイールリムサイズ	3.5" x 17"
タイヤサイズ (フロント)	120/70 - ZR 17
タイヤ荷重指数 (フロント)	min 49

フロントホイールのアンバランスの許容値	max 5 g
リヤホイール	
リヤホイールの仕様	アルミニウムキャストホイール
リヤホイールリムサイズ	5.5" x 17"
タイヤサイズ (リヤ)	180/55 - ZR 17
タイヤ荷重指数 (リヤ)	min 67
リヤホイールのアンバランスの許容値	max 45 g
タイヤ充填圧	
タイヤ充填圧 (フロント)	2.5 bar、タイヤ冷間時
タイヤ充填圧 (リヤ)	2.9 bar、タイヤ冷間時

電装システム

電源ソケットの定格電気負荷	max 5 A、すべての電源ソケット（合計）
ヒューズホルダー 1	10 A、取り付け位置 1: メーターパネル、盗難警報装置 (DWA)、イグニッションスイッチ、メインリレー、診断コネクター 7.5 A、取り付け位置 2: 左コンビネーションスイッチ、タイヤ圧コントロール (RDC)、ヨーレートセンサー
ヒューズホルダー	50 A、ヒューズ 1: 電圧レギュレーター
バッテリー	
バッテリー型式	AGM (Absorbent Glass Mat) バッテリー
バッテリー電圧	12 V
バッテリー容量	12 Ah
スパークプラグ	
スパークプラグのメーカーおよび名称	NGK LMAR8D-J
スパークプラグの電極ギャップ	0.8±0.1 mm、新品時の状態 1.0 mm、摩耗限度

バルブ

ハイビーム用バルブ	H7 / 12 V / 55 W
ロービームのバルブ	H7 / 12 V / 55 W
ポジションライト / パーキングライトバルブ	W5W / 12 V / 5 W
－ Headlight Pro ^{OE} 装備	LED
テールライト / ブレーキライトバルブ	LED
フロントウinker用バルブ	RY10W / 12 V / 10 W
－ LED ウinker ^{OE} 装備	LED
リヤウinker用バルブ	RY10W / 12 V / 10 W
－ LED ウinker ^{OE} 装備	LED

フレーム

フレーム型式	スチールチューブフレームとドライブユニット、スチールパイプリヤフレーム
型式プレート的位置	ステアリングヘッドの前方左フレーム
車両識別番号の位置	右フロントフレームとステアリングヘッド

盗難警報装置

再使用時に ON になるまでの時間	約 30 s
アラーム継続時間	約 26 s
バッテリータイプ	CR 123 A

寸法

全長	2165 mm、ライセンスプレートベースの上で測定
全高	1300 mm、ミラーの上で測定、DIN 空車時
全幅	880 mm、ミラー含む
フロントシート高さ	790 mm、ライダー非乗車時 (DIN 空車時)
－ ロー運転席シート ^{OE} 装備	760 mm、ライダー非乗車時 (DIN 空車時)
－ フロントハイシート ^{OE} 装備	820 mm、ライダー非乗車時 (DIN 空車時)
ライダーステップアーチレングス	1780 mm、ライダー非乗車時 (空車時)
－ ロー運転席シート ^{OE} 装備	1720 mm、ライダー非乗車時 (空車時)
－ フロントハイシート ^{OE} 装備	1835 mm、ライダー非乗車時 (空車時)

重量

車両重量	231 kg、車両重量（走行可能状態、燃料満載時の90 %、オプション非装備）
許容総重量	450 kg
最大積載荷重	219 kg

性能

登り坂における発進力（許容総重量）	20 %
最高速度	>200 km/h

サービス

リサイクリング	192
BMW Motorrad サービス	193
BMW Motorrad モバイルサー ビス	194
メンテナンス作業	194
メンテナンススケジュール	197
BMW サービス基準	198
点検記録	199
一般整備記録	204

リサイクリング

二輪車を廃棄する場合は？

最寄りの「廃棄二輪車取扱店」のBMW Motorrad ディーラーにご相談ください。

廃棄二輪車取扱店とは（社）全国軽自動車協会連合会の登録販売店で、広域廃棄物処理指定業指定店として登録されている廃棄二輪車取扱店です。廃棄二輪車を適正処理するための窓口であり、店頭に「廃棄二輪車取扱店の証」が表示されています。



廃棄二輪車取扱店の証

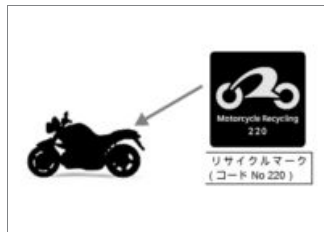
リサイクル料金と二輪車リサイクルマーク

リサイクル料金は廃棄二輪車を適正な処理を行い、再資源化する費用です。

リサイクルマーク（3 cm × 3 cm）が車体（シートの下）に貼付されているBMW Motorradは、リサイクル費用がメーカー希望小売価格に含まれておりますので、再資源化に必要なリサイクル料金はいただきません。

ただし、運搬および収集費用は含まれておりませんので、お客様から廃棄二輪車取扱店、およ

び指定引取所迄の運搬および収集費用はお客様負担となります。尚、運搬および収集費用は、依頼する廃棄二輪車取扱店にお問い合わせください。また、お客様の都合で二輪車リサイクルシステムを活用されない場合に於いても、リサイクル料金は返還いたしません。



シート下のフレーム等に貼付しています。

二輪車リサイクルマークの取扱い

二輪車を廃棄する際は、二輪車リサイクルマークが必要となります。

リサイクルマークは車体から剥がさないでください。尚、紛失、破損による再発行、部品販売の取扱いはございません。

リサイクルマークの剥がれ等により、リサイクルマーク付車両か否か不明の場合は、(財)自動車リサイクル促進センターのホームページおよび二輪車リサイクルコールセンターでご確認ください。

廃棄二輪車に関するお問合せについて

廃棄二輪車に関するお問い合わせは、最寄りの「廃棄二輪車取扱店」のBMW Motorrad ディーラーまたは下記の二輪車コールセンターまでお問合せください。

(財) 自動車リサイクル促進センター内

- ー 二輪車リサイクルコールセンター
- ー 電話番号 03-3598-8075
- ー www.jarc.or.jp

BMW Motorrad サービス

BMW Motorrad は広範囲にわたるディーラーネットワークにより、世界 100 カ国以上で、お客様およびご使用のモーターサイクルのためのサービスを提供しています。BMW Motorrad ディーラーは、ご使用のBMW モーターサイクルにおいて、あらゆるメンテナンスおよび修理作業を確実にするための技術情報および技術的ノウハウを備えています。最寄りのBMW Motorrad ディーラーは下記のインターネットサイトでご確認いただけます：

bmw-motorrad.com



警告

メンテナンス作業やリペア作業が正しく実施されなかった場合。

結果として生じる損傷による事故の危険。

- BMW Motorrad は、モーターサイクルに関する作業はBMW Motorrad ディーラーに依頼することをお勧めします。◀

ご使用のBMW モーターサイクルが常に最適な状態に保たれているようにするため、BMW Motorrad は、規定のメンテナンスインターバルを遵守することをお勧めします。

実施すべきメンテナンスおよび修理作業については、本書の「サービス」の章でご確認ください。また、保証期間が満了した後で修理や点検を依頼される場合にも、それまで定期的に整備さ

れていたことが必要条件になります。

BMW サービスの内容につきましては、BMW Motorrad ディーラーにおたずねください。

BMW Motorrad モバイルサービス

BMW Motorrad の新車は、万が一のトラブル発生時にはBMW Motorrad エマージェンシーサービスによる各種のサービスを受けることができます（モバイルサービス、現場で対応可能な範囲での応急処置、車両の回送など）。

エマージェンシーサービスの詳細につきましては、BMW Motorrad ディーラーにお問い合わせください。

メンテナンス作業

BMW 納車前点検 (PDI)

BMW 納車前点検 (PDI) は、車両をお客様にお渡しする前に、BMW Motorrad ディーラーによって実施されます。

BMW 初回点検



初回点検の実施

500...1200 km

BMW サービス

BMW サービスは 1 年に 1 度実施されます。サービス項目は車両使用年数および走行距離数に応じて異なります。BMW Motorrad ディーラーがお客様にサービスの実施を確認し、次のサービス時期を登録します。

1 年間にかなりの距離を走行する車両に関しては、場合によっては登録されている時期以前に

サービスを実施する必要がある場合があります。この場合、該当する最長走行距離が一般整備記録に追記されます。次のサービス時期の前にこの走行距離に達した場合は、予定を早めてサービスを実施する必要があります。

マルチファンクションディスプレイのサービス表示により、登録日の約 1 カ月前または登録距離の 1000 km 前に、次のサービスの時期が近づいていることが示されます。

サービスに関する詳しい情報については、以下を参照してください：

bmw-motorrad.com/service

車両に必要なサービス範囲は、下記のメンテナンススケジュールで確認できます：

[illegible]

メンテナンススケジュール

c 初回は 1 年後、その後は 2 年ごと

- 1 BMW 初回点検
 - 2 BMW サービス基準 (198)
 - 3 エンジンオイルを交換する
(フィルター交換時)
 - 4 リヤベベルギヤのオイル交換
 - 5 バルブクリアランスを点検する
 - 6 すべてのスパークプラグを交換する
 - 7 エアフィルターエレメントを交換する
 - 8 テレスコピックフォークのオイル交換
 - 9 システム全体のブレーキフルードを交換する
- a 1 年に 1 回または
10000 km ごと (どちらか
先に該当したもの)
- b 2 年ごとまたは
20000 km ごと (どちらか
先に該当したもの)

BMW サービス基準

BMW サービス基準には以下のメンテナンス作業が含まれています：

- BMW Motorrad 故障診断装置を使用して車両テストを実行します。
- 油圧式クラッチシステムの目視点検。
- ブレーキライン、ブレーキホース、接続部の目視点検。
- フロント / リヤのブレーキパッドおよびブレーキディスクについて、摩耗点検を行います。
- フロント / リヤのブレーキフルードレベルを点検します。
- ステアリングヘッドベアリングを点検します。
- クーラントレベルを点検します。
- サイドスタンドがスムーズに動くかを点検します。
- メイン（センター）スタンドがスムーズに動くかを点検しま

す（オプションのメイン（センター）スタンドの場合）。

- タイヤ充填圧およびタイヤトレッドの溝の深さを点検します。
- 照明および信号装置を点検します。
- エンジン始動抑止機能の機能を点検します。
- 最終点検および走行安全性の点検を行います。
- サービス時期およびサービス残余走行距離をセットします。
- バッテリーの充電状態を点検します。
- 車載書類に記載されているBMW サービスについて確認します。

点検記録

BMW 納車前点検 (PDI)

実施済

日付 _____

スタンプ、署名

BMW 初回点検

実施済

日付 _____

距離 (km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) _____

スタンプ、署名

BMW サービス

実施済

日付 _____

距離 (km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) _____

スタンプ、署名**BMW サービス**

実施済

日付 _____

距離 (km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) _____

スタンプ、署名**BMW サービス**

実施済

日付 _____

距離 (km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) _____

スタンプ、署名

BMW サービス

実施済

日付_____

距離 (km) _____

次回サービス

期限

日付_____

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) _____

スタンプ、署名**BMW サービス**

実施済

日付_____

距離 (km) _____

次回サービス

期限

日付_____

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) _____

スタンプ、署名**BMW サービス**

実施済

日付_____

距離 (km) _____

次回サービス

期限

日付_____

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) _____

スタンプ、署名

BMW サービス

実施済

日付 _____

距離 (km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) _____

スタンプ、署名**BMW サービス**

実施済

日付 _____

距離 (km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) _____

スタンプ、署名**BMW サービス**

実施済

日付 _____

距離 (km) _____

次回サービス

期限

日付 _____

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) _____

スタンプ、署名

BMW サービス

実施済

日付_____

距離 (km) _____

次回サービス

期限

日付_____

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) _____

スタンプ、署名**BMW サービス**

実施済

日付_____

距離 (km) _____

次回サービス

期限

日付_____

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) _____

スタンプ、署名**BMW サービス**

実施済

日付_____

距離 (km) _____

次回サービス

期限

日付_____

または、早めの実施が必要な場合

距離 (km) _____

スタンプ、署名

この表は、メインテナンスおよび修理作業、アクセサリーの取り付け、特別キャンペーンの実施についての証明となります。

[illegible]

[illegible]

付録

電子式エンジン始動ロックシステム用認証.....	208
キーレスエントリー用認証	210
タイヤ圧コントロール用認証.....	212

FCC Approval

Ring aerial in the ignition switch



To verify the authorization of the ignition key, the electronic immobilizer exchanges information with the ignition key via the ring aerial.

This device complies with Part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause harmful interference, and
- (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.



Any changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment. ◀

Approbation de la FCC

Antenne annulaire présente dans le commutateur d'allumage



Pour vérifier l'autorisation de la clé de contact, le système d'immobilisation électronique échange des

informations avec la clé de contact via l'antenne annulaire.

Le présent dispositif est conforme à la partie 15 des règles de la FCC. Son utilisation est soumise aux deux conditions suivantes :

- (1) Le dispositif ne doit pas produire d'interférences nuisibles, et
- (2) le dispositif doit pouvoir accepter toutes les interférences extérieures, y compris celles qui pourraient provoquer une activation inopportune.



Toute modification qui n'aurait pas été approuvée expressément par l'organisme responsable de l'homologation peut annuler l'autorisation accordée à l'utilisateur pour utiliser le dispositif. ◀

Certifications

BMW Keyless Ride ID Device



USA, Canada

Product name: BMW Keyless Ride ID Device
FCC ID: YGOHUF5750
IC: 4008C-HUF5750

Canada:

Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause harmful interference, and
- (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

USA:

This device complies with Part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause harmful interference, and
- (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.



Any changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Declaration Of Conformity

We declare under our responsibility that the product

BMW Keyless Ride ID Device (Model: HUF5750)

complies with the appropriate essential requirements of the article 3 of the R&TIE and the other relevant provisions, when used for its intended purpose. Applied Standards:

1. Health and safety requirements contained in article 3 (1) a)
 - EN 60950-1:2006+A11:2009+A1:2010+A12:2011; Information technology equipment- Safety
2. Protection requirements with respect to electromagnetic compatibility article 3 (1) b)
 - EN 301 489-1 (V1.9.2, 09/2011), Electromagnetic compatibility and radio spectrum matters (ERM); Electromagnetic compatibility (EMC) standard for radio equipment and services; Part 1: Common technical requirements
 - EN 301 489-3 (V1.4.1, 08/2002) Electromagnetic compatibility and radio spectrum matters (ERM); Electromagnetic compatibility (EMC) standard for radio equipment and services; Part 3: Specific conditions for short range devices (SRD) operating on frequencies between 9 kHz and 40 GHz
3. Means of the efficient use of the radio frequency spectrum article 3 (2)
 - EN 300 220-1 & -2 (V2.4.1, 05/2012), electromagnetic compatibility and radio spectrum matters (ERM); Short range devices (SRD); Radio equipment to be used in the 25 MHz to 1000 MHz frequency range with power levels ranging up to 500 mW;
Part 1: Technical characteristics and test methods.
Part 2: Harmonized EN covering essential requirements under article 3.2 of the R&TIE directive

The product is labeled with the CE marking: **CE**

Velbert, October 15th, 2013



Benjamin A. Müller
Product Development Systems
Car Access and Immobilization – Electronics
Huf Hülsbeck & Fürst GmbH & Co. KG
Steeger Straße 17, D-42551 Velbert

Certification Tire Pressure Control (TPC)

FCC ID: MRXBC54MA4
IC: 2546A-BC54MA4

FCC ID: MRXBC5A4
IC: 2546A-BC5A4

This device complies with Part 15 of the FCC Rules and with Industry Canada license-exempt RSS standard(s).

Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause harmful interference, and
- (2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes:

- (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et
- (2) l'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

WARNING: Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment. The term "IC:" before the radio certification number only signifies that Industry Canada technical specifications were met.

A**ABS**

- 技術情報, 104
- 警告表示, 39
- 自己診断, 92
- 操作する, 68
- 操作部, 15

ASC

- 技術情報, 106
- 自己診断, 92
- 操作する, 69
- 操作部, 15

D**DTC**

- 技術情報, 108

DWA

- 仕様（諸元）, 188
- 表示灯, 18

E**ESA**

- 技術情報, 109
- 操作する, 70
- 操作部, 15

K**Keyless Ride**

- イグニッションを OFF にする, 52
- イグニッションを ON にする, 51
- 警告表示, 31, 32
- ステアリングロックをロックする, 51
- タンクキャップをロック解除する, 99, 100
- 電子式エンジン始動ロックシステムEWS, 52
- 無線キーの紛失, 53
- 無線キーバッテリーが空になっている, 53

P**Pre-Ride-Check, 91****R****RDC**

- 技術情報, 111
- ホイールリムのラベル, 127

Rider's Manual

- 車両における位置, 14

あ**アクセサリ**

- 一般的な情報, 156
- 安全に関する注意事項
- ブレーキ, 95
- ライディングにあたって, 88

い**イグニッション**

- OFF にする, 49
- ON にする, 49
- イグニッションキルスイッチ, 17
- 操作する, 55
- インジケーター / 警告灯, 18
- 全体図, 20

う**ウインカー**

- 操作する, 58
- 操作部, 15

え**エアクリナー**

- 車両内の位置, 13

エンジン

エンジンコントロール警告表示, 33

エンジン電装用警告灯, 33

始動, 91

仕様 (諸元), 179

エンジンオイル

エンジンオイルレベル警告表示, 34

オイルレベル注意, 42

充填レベルを点検する, 119

仕様 (諸元), 181

注入口, 13

フルードレベル表示, 13

補充する, 120

エンジン温度

異常高温用警告表示, 32

エンジン回転数表示, 18

エンジン始動ロック

警告表示, 31

スペアキー, 49, 52

か

外気温度

表示, 43

路面凍結警告, 31

型式プレート

車両における位置, 13

き

キー, 48, 50

記号と意味, 6

ギヤチェンジ

シフトアップ推奨, 44

ギヤボックス

仕様 (諸元), 182

給油, 97, 99

Keyless Ride 装備, 100

く

クーラント

異常高温用警告表示, 32

充填レベルを点検する, 125

クラッチ

機能を点検する, 125

仕様 (諸元), 181

ハンドルレバーを調整する, 81

グリップヒーター

操作する, 76

操作部, 17

クルーズコントロール

操作する, 74

け

警告灯, 18

全体図, 20

警告表示

ABS, 39

エンジンオイルレベル, 34

エンジン温度, 32

エンジンコントロール, 33

エンジン始動ロック, 31

エンジン電装, 33

サービス, 39

電圧不足, 37

盗難警報装置, 38

バッテリー充電電圧, 38

バルブの故障, 37

表示, 26

フューエルリザーブ容量, 41

冷却水温警告灯, 32

路面凍結警告, 31

警告表示一覧, 27

ケース, 157

- こ**
コンビネーションスイッチ
左側面, 15
右側面, 17
- さ**
サービス, 193
警告表示, 39
サービス表示, 41
サスペンション
仕様 (諸元), 183
- し**
シート
高さ調整の位置, 14
脱着する, 82
ロッキングハンドル, 11
始動, 91
操作部, 17
始動補助, 146
シフトアシスト, 94, 112
車両
再使用する, 173
車両識別番号
車両における位置, 13
- 重量**
仕様 (諸元), 190
積載荷重一覧, 14
仕様 (諸元)
エンジン, 179
エンジンオイル, 181
規格, 7
ギヤボックス, 182
クラッチ, 181
サスペンション, 183
重量, 190
スパークプラグ, 186
寸法, 189
電装システム, 186
盗難警報装置, 188
燃料, 180
バッテリー, 186
バルブ, 187
ブレーキ, 184
フレーム, 188
ホイールとタイヤ, 184
リヤホイールドライブ, 183
ショックアブソーバー
調整エレメント (リヤ), 11
調整する, 84

- す**
ステアリングロック
ロックする, 48
スパークプラグ
仕様 (諸元), 186
スピードメーター, 18
スプリングプリロード
調整エレメント (リヤ), 13
調整する, 83
寸法
仕様 (諸元), 189
- せ**
全体図
警告灯 / インジケーター, 20
シート下, 14
左コンビネーションスイッチ, 15
左側面図, 11
マルチファンクションディスプレイ, 22, 24, 25
右コンビネーションスイッチ, 17
右側面図, 13
メーターパネル, 18

そ

走行距離計
リセットする, 60

走行モード
技術情報, 110
操作部, 17
調整する, 72
装備, 7

た

タイヤ
最高速度, 89
充填圧, 185
充填圧表, 14
仕様 (諸元), 184
推奨, 127
トレッドの溝の深さを点検する, 126
慣らし走行, 94
タイヤ空気圧コントロール
(RDC)
表示, 43

ち

チェックリスト, 90
駐車, 96

つ

ツールキット
車両における位置, 14
内容, 116

て

デイルイト
車両における位置, 11
点検記録, 199
電源ソケット
車両における位置, 13
使用上の注意, 156
電装システム
仕様 (諸元), 186

と

盗難警報装置
警告表示, 38
操作する, 65
時計
調整する, 62
トップケース
操作する, 159
トラブルシューティング, 176
トルク, 177

な

慣らし走行, 93

に

荷物
積載に関する注意, 88

ね

燃料
Keyless Ride 装備の場合の給油, 100
給油する, 97, 99
仕様 (諸元), 180
注入口, 11
燃料品質, 97
リザーブ容量, 42

は

パーキングライト, 56
ハザードランプ
操作する, 57
操作部, 15, 17
バッテリー
仕様 (諸元), 186
接続しているバッテリーを充電する, 148

取り付ける, 150

取り外す, 150

外したバッテリーを充電する, 149

バッテリー充電電圧警告表示, 38

バッテリー電圧不足用警告表示, 37

メンテナンスに関する注意, 148

バルブ

LED テールライトを交換する, 146

LED 補助ヘッドライトを交換する, 146

仕様 (諸元), 187

ハイビーム用バルブを交換する, 135

フロント / リヤのウインカー用バルブを交換する, 143

ポジションライト / パーキングライト用バルブを交換する, 139

ライセンスプレートライト用バルブを交換する, 144

ライトバルブの故障用警告表示, 37

ロービーム用バルブを交換する, 135

ひ

ヒューズ

交換する, 152

仕様 (諸元), 186

ふ

フォローミーホームライト, 49

フューエルリザーブ容量警告表示, 41

ブレーキ

安全に関する注意事項, 95

機能を点検する, 120

仕様 (諸元), 184

ハンドルレバーを調整する, 82

ブレーキパッド

慣らし走行, 94

フロントを点検する, 121

リヤを点検する, 122

ブレーキフルード

フロント充填レベルを点検する, 123

フロントリザーバタンク, 13
リヤ充填レベルを点検する, 124

リヤリザーバタンク, 13

フレーム

仕様 (諸元), 188

フロントホイールスタンド
取り付ける, 116

へ

平均値

リセットする, 60

ヘッドライト

光軸, 80

光軸の調整, 11

ほ

ホイール

サイズ変更, 127

仕様 (諸元), 184

フロントホイールを取り付ける, 130

フロントホイールを取り外す, 128
ホイールリムを点検する, 126
リヤホイールを取り付ける, 133
ホーン, 15
本書の記述について, 7

ま

マフラー
マフラーを動かす, 134
マフラーを取り付ける, 135
マルチファンクションディスプレイ, 18
全体図, 22, 24, 25
操作する, 59
操作部, 15
表示を選択する, 58
マルチファンクションディスプレイ表示を選択する, 58

み

ミラー
調整する, 80

め

メンテナンス
一般的な情報, 116
メンテナンススケジュール, 197
メンテナンススケジュール, 194
メーターパネル
周囲輝度センサー, 18
全体図, 18

も

モーターサイクル
お手入れ, 169
固定する, 101
清掃する, 169
駐車, 96
長期保管, 172
モバイルサービス, 194

ら

ライト
LED 補助ヘッドライトを操作する, 56
操作部, 15
パーキングライト, 55, 56

ハイビームヘッドライトを操作する, 56
パッシングライトを操作する, 56
ロービーム, 55

り

リサイクリング, 192
リモートコントロール
バッテリーを交換する, 54
リヤホイールスタンド
取り付ける, 118
リヤホイールドライブ
仕様 (諸元), 183

ご購入いただきました車両の装備、アクセサリー、仕様は、本書の説明や図と異なる場合があります。これらについてのクレームはご容赦ください。

本書に記載されている寸法、重量、燃費、性能などのデータには、一般に認められている許容誤差が含まれています。

デザイン、装備、アクセサリーなどは、製品を改良するために予告なく変更することがあります。印刷の誤りや誤字、脱字に起因するクレームはご容赦ください。

オリジナル Rider's Manual、
Printed in Germany。

©2015 Bayerische Motoren
Werke Aktiengesellschaft
80788 München, Germany

本書はその全部について、たとえ一部であっても、BMW Motorrad After Sales から書式による承諾を得た場合を除き、転載や複製することは禁じられています。

